

# Jリーグ スタジアム観戦者調査2013 サマリーレポート

J.LEAGUE™ FAN SURVEY 2013 SUMMARY REPORT



スポーツで、もっと、幸せな国へ。 **Jリーグ百年構想**

# Contents

## Summary

主な調査結果 ..... 3

## Survey Design

調査の概要 ..... 4

## J.League and the Community

Jリーグとコミュニティ

社会貢献への評価 ..... 6

## Sample Profile

観戦者のプロフィール

性別 ..... 13

年齢 ..... 16

居住地 ..... 21

自由裁量所得（おこづかい） ..... 23

観戦歴 ..... 24

サポーター歴 ..... 25

サッカー・フットサルの経験 ..... 26

## Fans' Motivation

スタジアム観戦の動機

動機やきっかけ ..... 29

チームアイデンティフィケーション ..... 34

勧誘行動 ..... 35

被勧誘行動 ..... 36

ファンコミュニティ ..... 38

## Fans' Behavior

観戦行動の特徴

観戦頻度 ..... 40

アクセス時間 ..... 49

同伴者 ..... 52

情報の入手経路 ..... 61

チケット入手方法 ..... 63

シーズンチケットの購入理由 ..... 64

## Appendix

付録 ..... 66





## 主な調査結果

# Summary

### 調査概要

調査の対象は、40クラブのホームゲーム来場者、11歳以上の男女個人、17,854名とし、17,286票の有効回答を得た(有効回収率:96.8%)。調査の時期は、2013年4月21日から10月27日であった。

### Jリーグとコミュニティ

Jリーグとコミュニティとの関係については、ホームタウンで「大きな貢献をしている」(79.1%)、「Jクラブが重要な役割を果たしている」(82.8%)、「若い人たちの生活にいい影響を与えている」(76.8%)という意見が支持されており、肯定的な評価が目立った。

### 観戦者のプロフィール

観戦者の平均年齢は39.5歳で、男性の占める割合は62.6%。クラブの活動区域(都道府県)内に居住する割合は86.1%で、自由に使えるおこづかいの平均は、1か月あたり33,300円であった。また、10年以上、特定クラブを応援している層は38.5%だった。

### 観戦の特徴

2012シーズンの年間観戦頻度の平均は、J1観戦者で10.8回、J2で13.0回。スタジアムまでの平均所要時間は53.2分で、2人で観戦する人が42.3%、家族と観戦する人が53.4%であった。

### チケット

シーズンチケット購入している割合は45.0%であり、シーズンチケット購入理由としては、「クラブに愛着があるから」(73.1%)が主なものであった。

### 観戦動機と勧誘行動

「好きなクラブの応援のために」「サッカー観戦が好きだから」などが主な観戦の動機となっていた。周囲を観戦に誘うとした割合は59.0%、周囲から観戦に誘われるとした割合は37.5%で、「スタジアムで会う応援仲間」がいる割合は54.3%、「ネット上で交流する応援仲間」がいるとする割合は21.1%であった。

### Jリーグとコミュニティ

Jクラブはホームタウンに大きく貢献している	79.1%
Jクラブはホームタウンで重要な役割を果たしている	82.8%
サッカー選手は社会の模範として重要な役割を果たしている	65.8%
サッカーは若い人たちにいい影響を与えることができる	76.8%

### 観戦者のプロフィール

性別	男性構成比	62.6%
年齢	平均年齢	39.5歳
居住地	活動区域内居住率	86.1%
自由裁量所得(おこづかい)	月額平均	33,300円
観戦歴	2003シーズン以降開始	57.3%
サポーター歴	10年以上	38.5%

### 観戦行動の特徴

観戦頻度(2012シーズン)	J1平均	10.8回/シーズン
	J2平均	13.0回/シーズン
アクセス	平均所要時間	53.2分
同伴者	同伴者数(平均)	2.9人(回答者含)
	2人で観戦する割合	42.3%
	家族と観戦する割合	53.4%

### チケット

シーズンチケット購入率	45.0%
シーズンチケット購入理由	クラブに愛着(73.1%)

### 観戦動機と勧誘行動

観戦動機	サッカー観戦が好き	平均4.56(5点満点)
	好きなクラブの応援	平均4.53(5点満点)
勧誘行動	周囲を観戦に誘う	59.0%
被勧誘行動	周囲から観戦に誘われる	37.5%

### ファンコミュニティ

リアルコミュニティ	スタジアムに応援仲間がいる	54.3%
ヴァーチャルコミュニティ	ネット上に応援仲間がいる	21.1%

# Survey Design

## 調査の概要

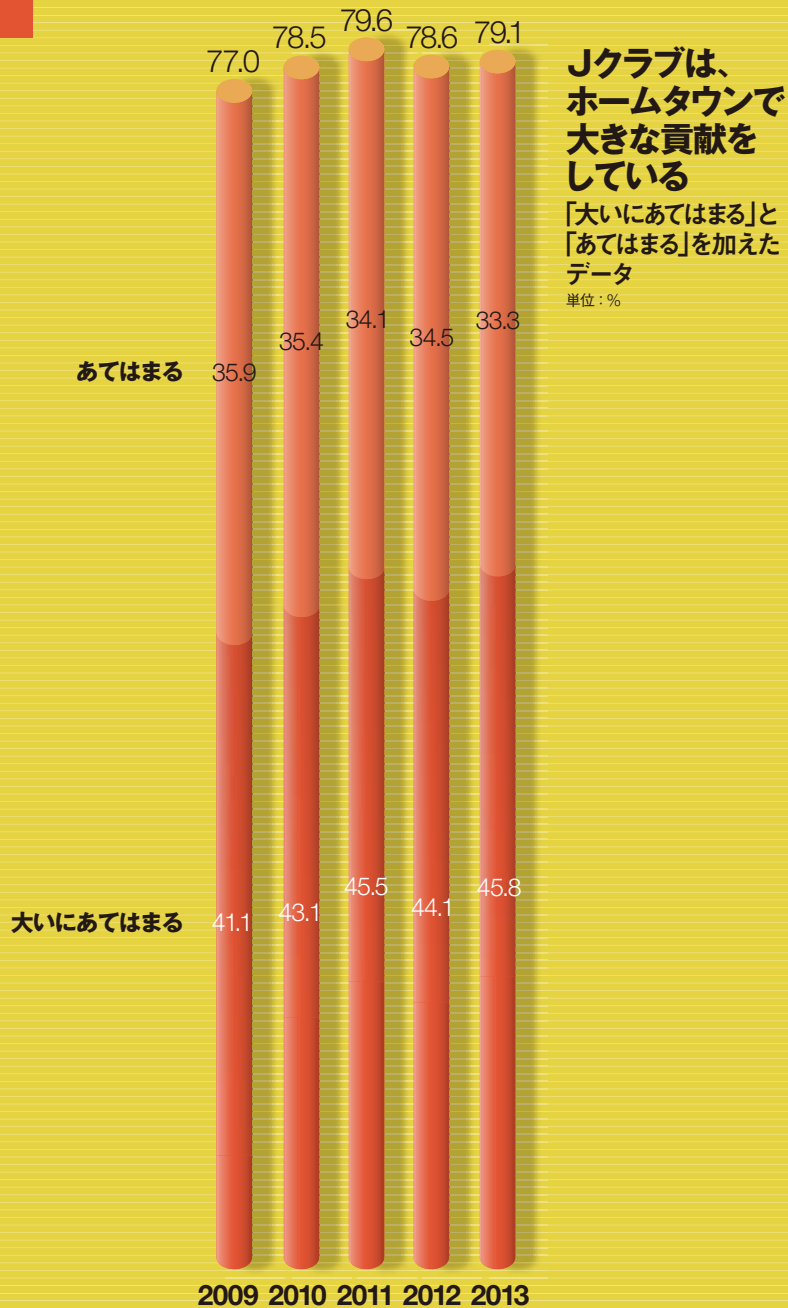
調査時期	2013年4月21日～10月27日		
調査対象	スタジアム観戦者、11歳以上の男女個人		
調査方法	スタジアム内における集合配布法を用いた質問紙調査法		
回収状況	有効回収数 17,286票 (J1:7,687票 J2:9,599票)		
協力	筑波大学体育系准教授	仲澤 眞	
	早稲田大学スポーツ科学学術院教授	原田 宗彦	
実査協力	大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科教授	藤本 淳也	
	筑波大学体育系准教授	高橋 義雄	
	東日本国際大学特任講師	岩村 聡	
	仙台大学スポーツ科学研究科准教授	永田 秀隆	
	新潟経営大学経営情報学部スポーツマネジメント学科准教授	福田 拓哉	
	法政大学スポーツ健康学部助教	井上 尊寛	
	山梨学院大学経営情報学部経営情報学科准教授	長倉 富貴	
	日本福祉大学社会福祉学部客員准教授	荒深 裕規	
	岐阜経済大学経営学部准教授	大野 貴司	
	びわこ成蹊スポーツ大学競技スポーツ学科准教授	吉田 政幸	
岡山大学スポーツ教育センター助教	高岡 敦史		
徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部准教授	行實 鉄平		
北九州市立大学都市政策研究所准教授	南 博		
佐賀大学文化教育学部教授	坂元 康成		
鹿屋体育大学スポーツ人文・応用社会科学系講師	隅野 美砂輝		
日本文理大学経営経済学部スポーツビジネスコース准教授	竹田 隆行		

対象試合	節	開催日	対戦クラブ	スタジアム	キックオフ時刻	天候	入場者数	配布数	有効回収数				
									有効回収数	ホームクラブ応援者	有効回収率		
J1	仙台	27	9月28日	横浜FM	ユアスタ	13:04	晴	17,849	410	403	383	98.3	
	鹿島	27	9月28日	大分	カシマ	15:34	晴	13,020	411	409	371	99.5	
	浦和	26	9月21日	甲府	埼玉	17:04	晴	31,077	413	412	406	99.8	
	大宮	27	9月28日	F東京	NACK5	19:04	晴	11,539	482	456	369	94.6	
	柏	25	9月13日	磐田	柏	19:03	晴	8,499	419	413	373	98.6	
	F東京	14	7月6日	広島	味スタ	18:34	晴	27,852	430	429	378	99.8	
	川崎F	18	7月31日	湘南	等々力	19:03	曇	15,934	413	413	368	100.0	
	横浜FM	18	7月31日	柏	日産ス	19:34	曇	20,294	413	404	342	97.8	
	湘南	13	5月25日	広島	BMWス	14:04	晴のち曇	10,682	500	470	443	94.0	
	甲府	21	8月17日	川崎F	中銀スタ	18:34	晴	12,657	413	412	379	99.8	
	新潟	12	5月18日	大分	東北電ス	14:03	晴	25,279	470	447	440	95.1	
	清水	16	7月13日	大分	アイスタ	18:04	雨	15,191	433	431	402	99.5	
	磐田	24	8月31日	甲府	ヤマハ	19:04	曇	9,307	416	414	386	99.5	
	名古屋	20	8月10日	浦和	豊田ス	19:04	晴	30,478	497	446	350	89.7	
	C大阪	26	9月22日	柏	長居	17:05	晴	33,174	500	470	411	94.0	
	広島	21	8月17日	名古屋	Eスタ	19:05	晴	20,879	500	468	430	93.6	
	鳥栖	21	8月17日	大宮	ヘアスタ	19:03	晴	22,530	421	409	380	97.1	
	大分	30	10月27日	横浜FM	大銀ド	16:05	晴	12,913	420	381	332	90.7	
	J1計									7,961	7,687	6,943	平均 96.6
J2	札幌	26	7月27日	鳥取	札幌ド	14:03	屋内	12,696	421	402	364	95.5	
	山形	29	8月18日	神戸	NDスタ	18:04	晴	7,553	413	405	373	98.1	
	水戸	21	6月29日	山形	Ksスタ	18:03	曇	5,746	431	428	327	99.3	
	栃木	19	6月15日	神戸	栃木グ	18:03	曇のち雨	6,114	483	455	395	94.2	
	群馬	21	6月29日	札幌	正田スタ	19:34	曇	2,723	400	373	322	93.3	
	千葉	15	5月19日	松本	フクアリ	16:03	晴のち曇	12,212	419	416	380	99.3	
	東京V	26	7月27日	G大阪	味スタ	19:04	曇のち雷雨	18,705	464	448	299	96.6	
	横浜FC	10	4月21日	神戸	ニッパ球	16:03	曇	4,328	403	402	322	99.8	
	松本	29	8月18日	千葉	松本	18:03	晴	13,044	422	422	394	100.0	
	富山	31	8月25日	山形	富山	18:04	曇のち雨	4,472	476	473	393	99.4	
	岐阜	32	9月1日	東京V	長良川	18:04	曇	4,180	424	406	311	95.8	
	京都	27	8月4日	山形	西京極	19:04	曇のち雨	6,426	500	495	432	99.0	
	G大阪	25	7月20日	神戸	万博	18:03	晴	18,193	500	485	418	97.0	
	神戸	26	7月27日	横浜FC	ノエスタ	18:04	晴	11,658	500	482	397	96.4	
	鳥取	30	8月21日	G大阪	とりスタ	19:33	晴	10,096	407	400	326	98.3	
	岡山	23	7月7日	横浜FC	カンスタ	19:03	晴	11,485	481	478	441	99.4	
	徳島	25	7月20日	群馬	鳴門大塚	18:34	晴	4,664	530	497	426	93.8	
	愛媛	28	8月11日	京都	ニスタ	19:04	晴	4,048	406	392	311	96.6	
	福岡	29	8月18日	長崎	レベスタ	18:03	晴	6,090	500	463	412	92.6	
	北九州	34	9月22日	岡山	本城	13:03	晴	3,143	430	422	287	98.1	
	長崎	26	7月27日	水戸	長崎県立	18:03	晴	3,063	403	399	367	99.0	
	熊本	26	7月27日	山形	うまスタ	19:03	曇	5,013	480	456	411	95.0	
	J2計									9,893	9,599	8,108	平均 97.0
	J1,J2計									17,854	17,286	15,051	平均 96.8

◀◀ 2013シーズンJ1・J2リーグ戦の観戦者を対象に質問調査を行い、本報告書を作成した。調査の対象は、40クラブのホームゲーム観戦者、11歳以上の男女個人、17,854名で、17,286票の有効回答を得た(有効回収率:96.8%)。調査の期間は、2013年4月21日から10月27日。調査の対象となったゲームおよび会場等については、左に示すとおりである。

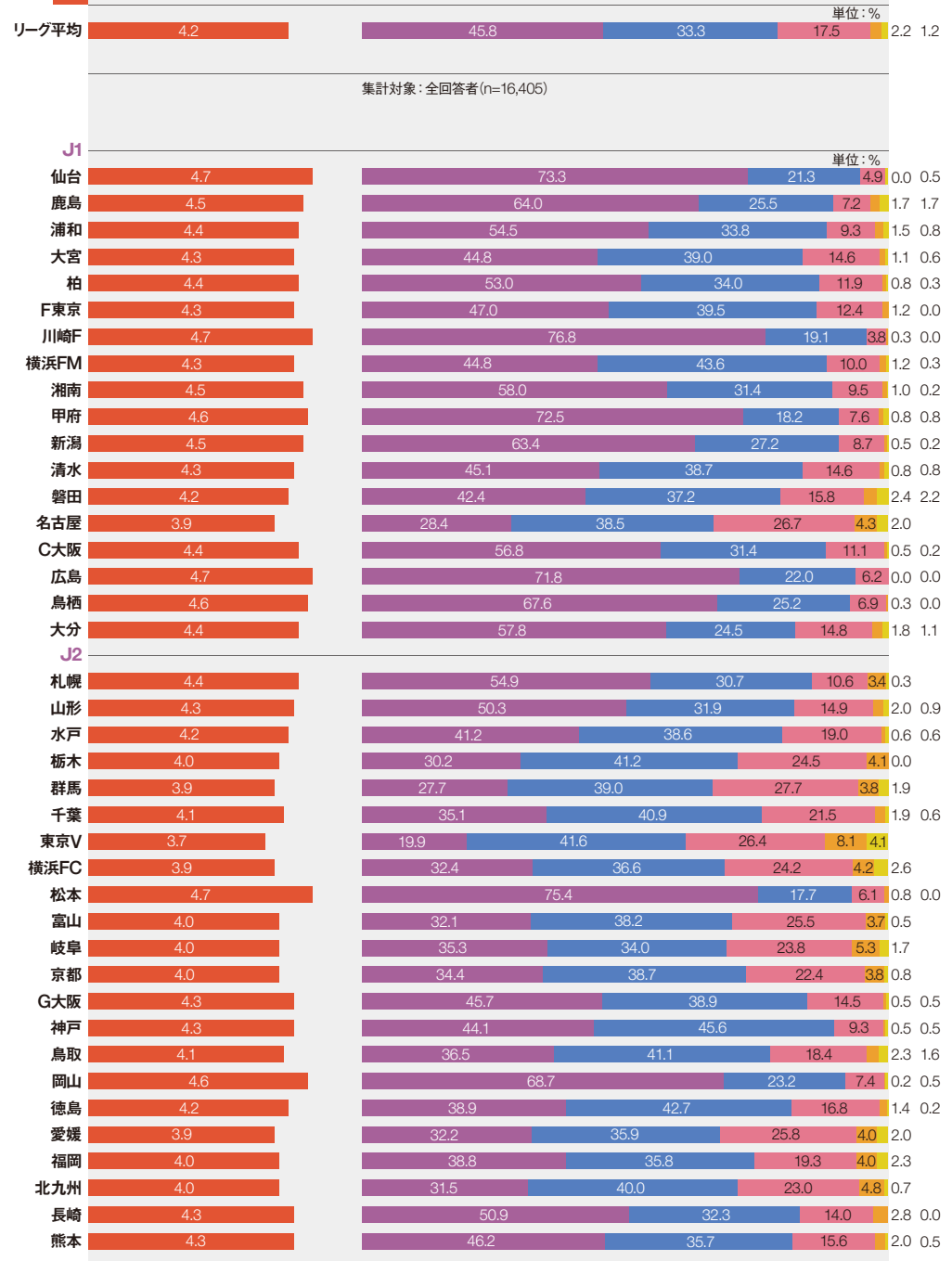


サッカー、あるいはJクラブ、サッカー選手がホームタウンや地域社会にどのような影響を与えているか、スタジアム観戦者に聞いた。



集計対象 [リーグ平均]：全回答者  
 (2013 n=16,405 / 2012 n=15,748  
 2011 n=15,633 / 2010 n=15,483  
 2009 n=15,259)

## 2 Jクラブは、ホームタウンで大きな貢献をしている



### ホームタウンへの貢献を認める割合 2012シーズンから 0.5%アップ。

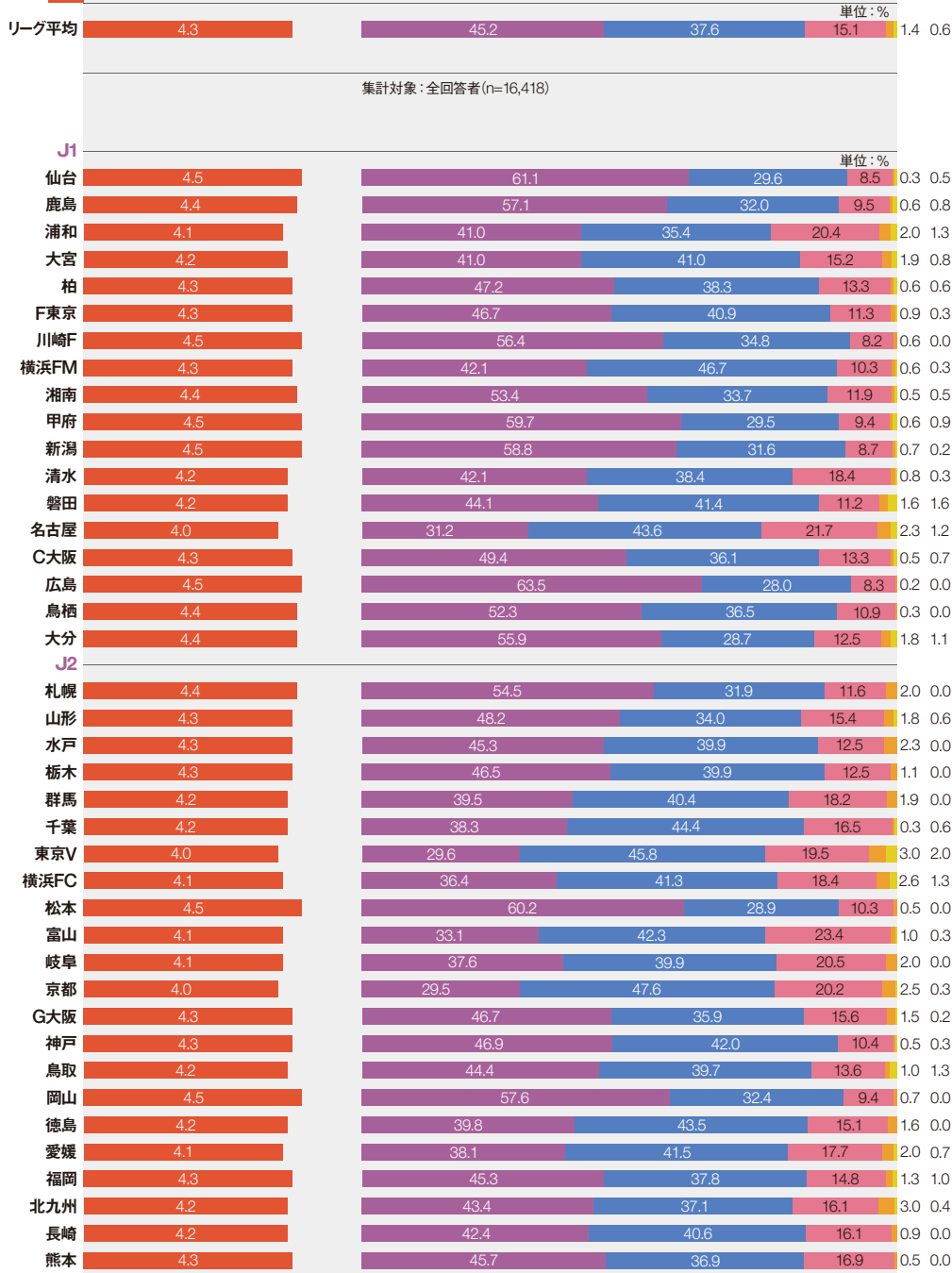
▶▶「Jクラブは、ホームタウンで大きな貢献をしている」という見解に対して、観戦者全体の79.1% (45.8%+33.3%) が肯定的であった。クラブ別にみると、仙台、川崎F、広島、松本が4.7ポイントと最も高く、ついで甲府、鳥栖、岡山(4.6)の観戦者に強く肯定する傾向がみられた。

\*平均値は、5段階評定尺度(大いにあてはまる:5~まったくあてはまらない:1)で求めたスコア

■ 大いにあてはまる ■ あてはまらない  
■ あてはまる ■ まったくあてはまらない  
■ どちらともいえない

集計対象：ホームクラブ応援者 (n=14,420)

### 3 Jクラブは、それぞれのホームタウンで重要な役割を果たしている



**82.8%**  
**(大いにあてはまる+**  
**あてはまる)が**  
**Jクラブが地域で重要な**  
**役割を果たしている**  
**と感じている。**

◀◀「Jクラブは、それぞれのホームタウンで重要な役割を果たしている」という見解に対して、観戦者全体の82.8%(45.2%+37.6%)が肯定的であった。クラブ別にみると、仙台、川崎F、甲府、新潟、広島、松本、岡山(4.5)の観戦者に強く肯定する傾向がみられた。

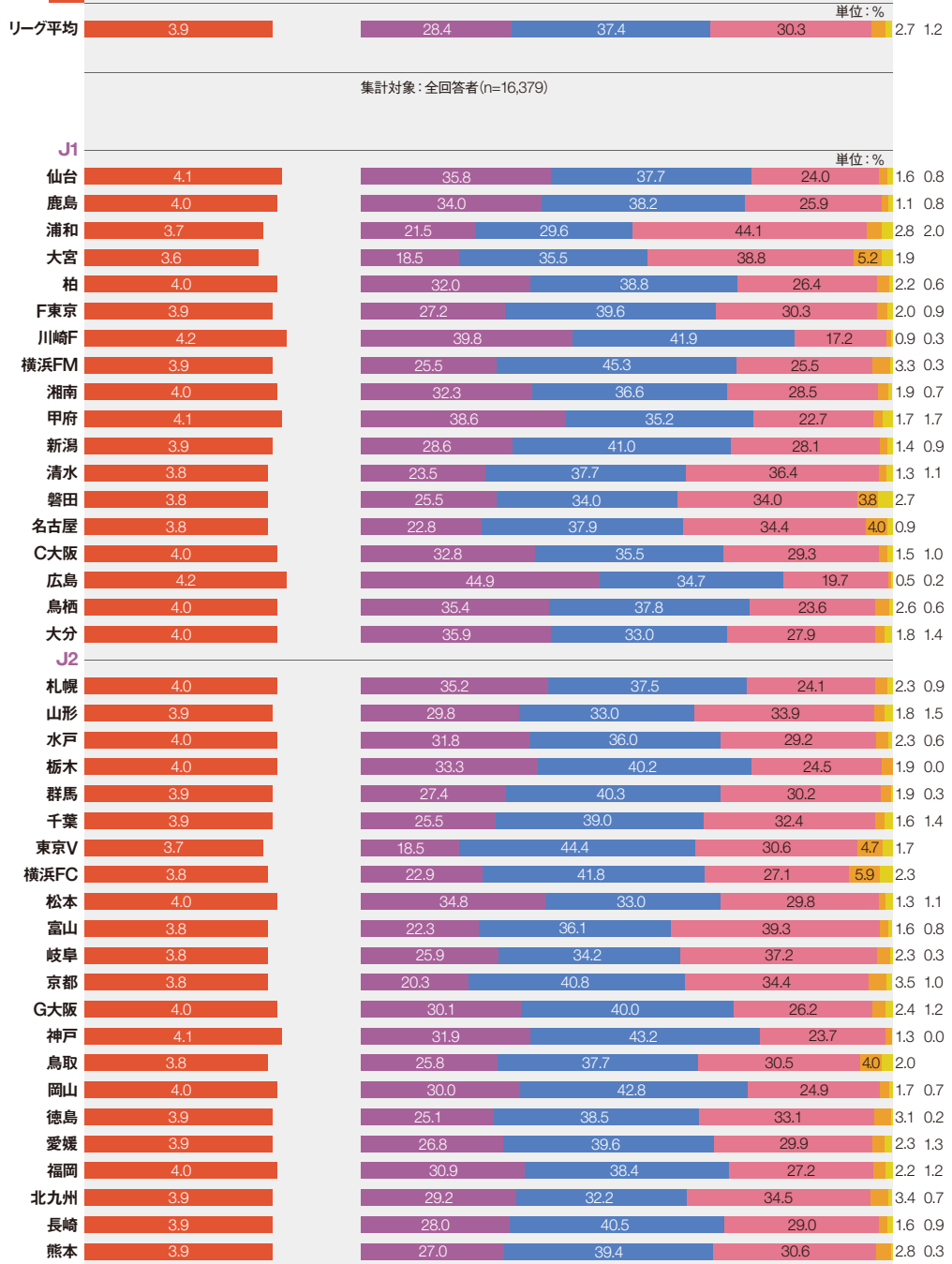
\*平均値は、5段階評定尺度(大いにあてはまる:5~まったくあてはまらない:1)で求めたスコア

■ 大いにあてはまる  
■ あてはまる  
■ あてはまらない  
■ まったくあてはまらない  
■ どちらともいえない

集計対象：ホームクラブ応援者(n=14,492)



#### 4 サッカー選手は、社会の模範として重要な役割を果たしている



65.8%  
(大いにあてはまる+  
あてはまる)が  
サッカー選手を  
社会の模範として  
重要だと感じている。

▶▶「サッカー選手は社会の模範として重要な役割を果たしている」という見解に対して、観戦者全体の65.8%(28.4%+37.4%)が肯定的であった。クラブ別にみると、川崎F、広島(4.2)の観戦者に強く肯定する傾向がみられた。

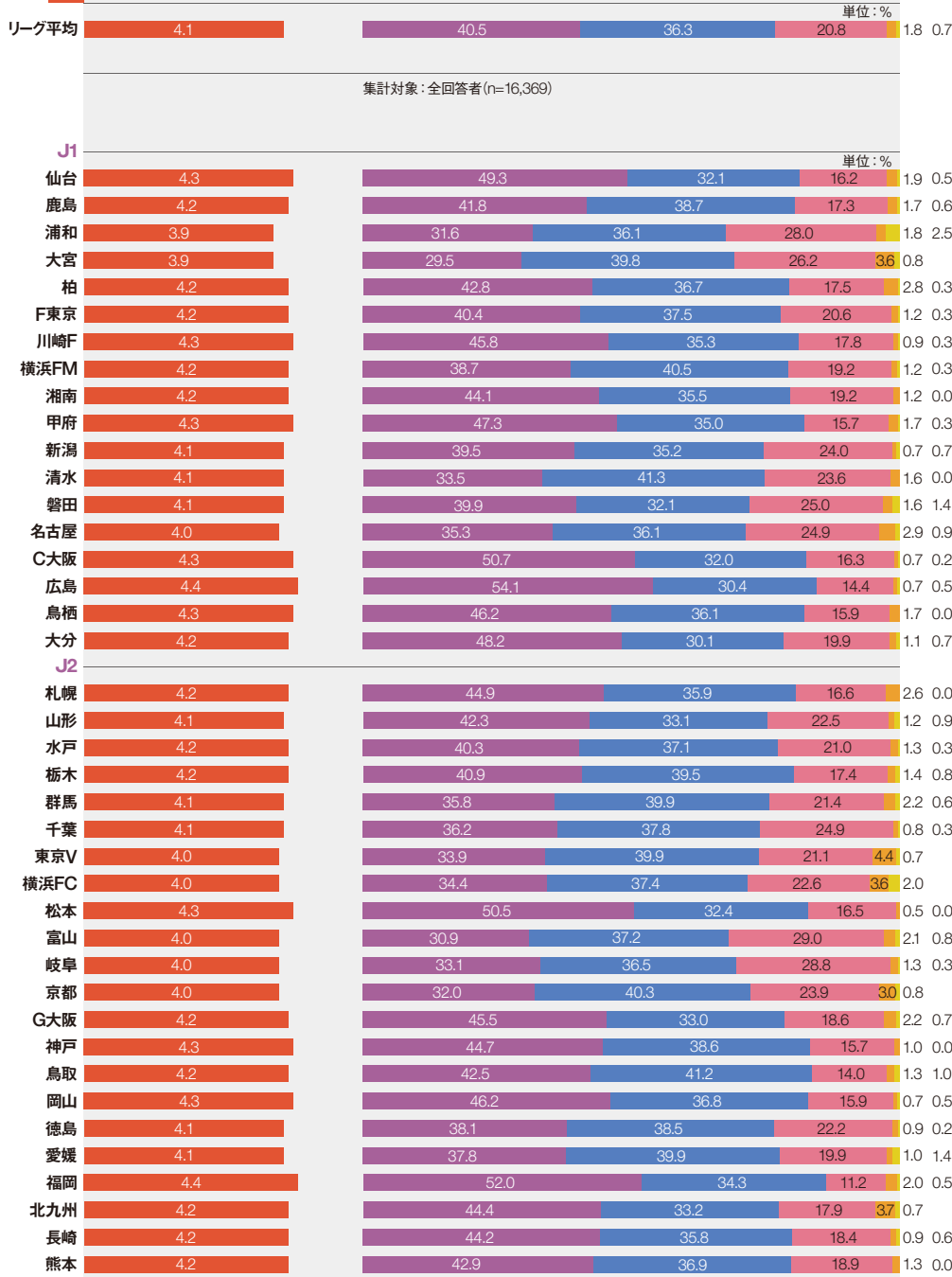
\*平均値は、5段階評定尺度(大いにあてはまる：5～まったくあてはまらない：1)で求めたスコア

■ 大いにあてはまる  
■ あてはまる  
■ どちらともいえない

■ あてはまらない  
■ まったくあてはまらない

集計対象：ホームクラブ応援者(n=14,370)

## 5 サッカーは、若い人たちの生活に、いい影響を与えることができる



**76.8%**  
**(大いにあてはまる+**  
**あてはまる)が**  
**サッカーが若者に**  
**いい影響を与えると**  
**考えている。**

◀◀「サッカーは、若い人たちの生活に、いい影響を与えることができる」という見解に対して、観戦者全体の76.8% (40.5%+36.3%)が肯定的であった。クラブ別にみると、広島、福岡(4.4)の観戦者に強く肯定する傾向がみられた。

\*平均値は、5段階評定尺度 (大いにあてはまる：5～まったくあてはまらない：1)で求めたスコア

■ 大いにあてはまる  
■ あてはまる  
■ あてはまらない  
■ まったくあてはまらない  
■ どちらともいえない

集計対象：ホームクラブ応援者 (n=14,379)

## 6 Jリーグのイメージ

単位：%

	全国的な	よくメディアで見聞きする	地域社会とのつながりを感じる	選手が一生懸命プレーしている	スター選手が多い	盛り上がる事ができる	会場が一体になって	ファンを大切にしている	若者向けの	活気がある	そのスポーツが地域を代表するシンボルとなっている	楽しい／おもしろい	観ていておもしろい	最近盛り上がりつつある／話題になっている	試合が面白い	熱狂できる	自分にとって身近に感じる	プレーが激しい	観ていて共感し、感動できる	夢を与えてくれる	憧れを感じる	家族と一緒に観たい	伝統がある	友人と一緒に観たい
2013 Jリーグ平均 (n=4,574)	37.4	31.9	15.4	14.2	13.0	11.8	11.1	11.0	9.9	9.2	8.3	7.6	7.3	6.8	4.2	4.2	3.9	3.8	3.3	3.2	3.2	2.9		
2013 J1リーグ戦 (n=4,569)	37.3	30.5	11.3	12.8	12.1	11.0	9.0	9.7	9.2	8.0	7.9	6.7	6.4	6.3	3.0	3.9	3.4	3.2	3.0	2.7	2.6			
2013 J2リーグ戦 (n=4,210)	15.5	11.8	14.2	11.6	2.0	6.4	8.1	7.2	4.4	6.8	4.5	2.8	3.5	3.2	2.4	2.4	2.3	1.9	1.6	1.2	1.5			

脚注：全国の15～59歳の男女個人、6,605サンプルを対象にしたインターネット利用のWEB調査。調査期間は2013年12月11日～12月19日  
調査主：博報堂DYメディアパートナーズ

## 7 好感もてる地域活動

単位：%

	子どもを対象にサッカー教室を開く	トップ選手を目指す子ども(小学生～高校生)を指導する	ホームタウンの清掃活動を行う	スタジアムのゴミを分別・削減する	障がい者のためのサッカー教室を開く	選手が訪問する老人ホームや地元の病院に	小中学校のグラウンドを芝生にする	交通安全運動や献血、教科書などにクラブが協力する	地域の小学校を選手が訪問し、夢や将来について話す	「〇〇選手シート」など、試合を観戦する機会を提供する	一般の住民が使用できるスポーツ施設を新設・整備する	子どもを対象にした、職業体験の場を設ける	お祭りなどの地域のイベントに、クラブが参加する	グリーンエネルギー関連活動を行う
2013 全回答者 (n=5,000)	37.6	32.7	29.1	28.7	25.7	22.5	22.3	22.3	22.1	21.8	21.7	21.0	20.6	20.0
2013 Jリーグに関心のある層 (n=1,060)	50.3	48.3	38.5	38.1	34.3	33.6	35.8	31.0	34.1	37.5	31.7	29.5	32.6	29.7

脚注：全国の15～59歳の男女個人、6,605サンプルを対象にしたインターネット利用のWEB調査。調査期間は2013年12月11日～12月19日  
調査主：博報堂DYメディアパートナーズ

▲ Jリーグとコミュニティについては、スタジアム観戦者だけでなく広く一般生活者を対象としたインターネットによる全国調査(脚注参照)を実施した。一般生活者においても、Jリーグについては「地域社会とのつながりを感じる」15.4%(J1:11.3%、J2:14.2%)というイメージが共有されており、調査結果はJリーグが

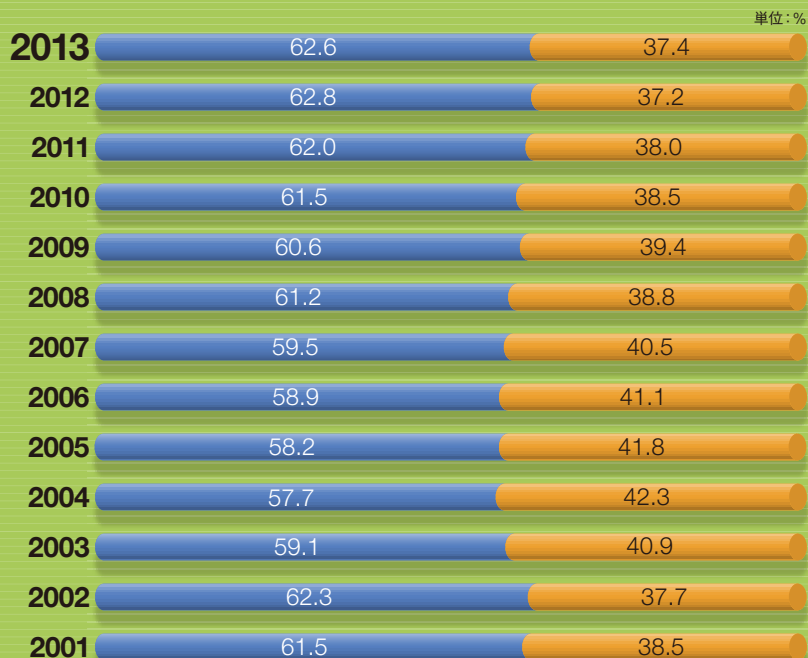
地域社会に浸透していることを示していた。好感もてる地域活動については、「子どもを対象にサッカー教室を開く」「トップ選手を目指す子ども(小学生～高校生)を指導する」「ホームタウンの清掃活動を行う」といった活動が、全回答者、Jリーグに関心のある層とも、上位にあげられていた。



スタジアムに足を運ぶ  
観戦者像をさまざまな  
角度から分析した。

## 8

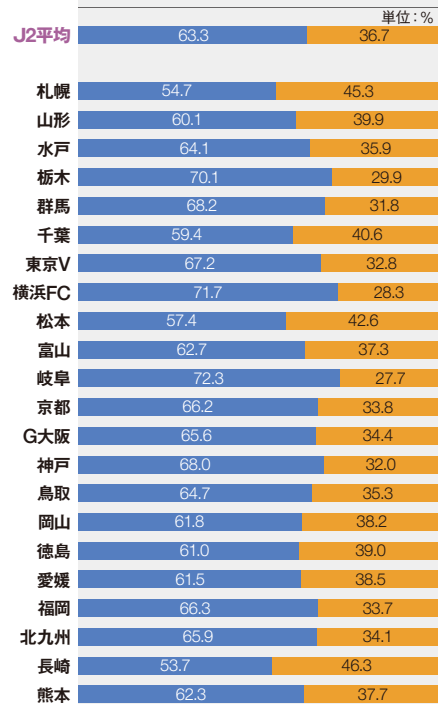
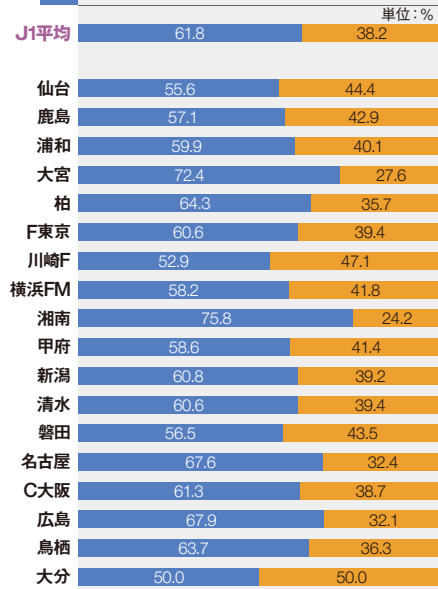
## 性別(Jリーグ平均)



■ 男性  
■ 女性

集計対象[リーグ平均]：全回答者  
 2013 n=17,253 / 2012 n=16,711  
 2011 n=16,457 / 2010 n=16,359  
 2009 n=16,033 / 2008 n=14,452  
 2007 n=12,973 / 2006 n=12,937  
 2005 n=13,003 / 2004 n=12,131  
 2003 n=11,633 / 2002 n=19,270  
 2001 n=7,390

## 9 2013性別(クラブ別)



■ 男性 集計対象：ホームクラブ応援者(n=15,035)  
 ■ 女性



### 男女比6：4 女性微増も大きな変化はなし。

◀観戦者の性別をリーグ全体で見ると、男性62.6%、女性37.4%で(P13参照)、例年とほぼ同様の結果となった。J1とJ2で性別構成に大きな違いはみられない。J1では、湘南(75.8%)、大宮(72.4%)が、J2では岐阜(72.3%)、横浜FC(71.7%)、栃木(70.1%)の男性率が高かった。逆に、女性率の高いクラブは大分(50.0%)、川崎F(47.1%)、長崎(46.3%)である。

## 10 J1性別(2012/2013比較)

		単位：%	
J1平均	2013	61.8	38.2
	2012	61.0	39.0

集計対象：全回答者(2013 n=17,253/2012 n=15,711)

		単位：%	
仙台	2013	55.6	44.4
	2012	57.8	42.2
鹿島	2013	57.1	42.9
	2012	57.4	42.6
浦和	2013	59.9	40.1
	2012	60.9	39.1
大宮	2013	72.4	27.6
	2012	65.7	34.3
柏	2013	64.3	35.7
	2012	63.0	37.0
F東京	2013	60.6	39.4
	2012	61.6	38.4
川崎F	2013	52.9	47.1
	2012	56.5	43.5
横浜FM	2013	58.2	41.8
	2012	58.9	41.1
湘南	2013	75.8	24.2
	2012	74.2	25.8
甲府	2013	58.6	41.4
	2012	59.1	40.9
新潟	2013	60.8	39.2
	2012	64.8	35.3
清水	2013	60.6	39.4
	2012	60.9	39.1
磐田	2013	56.5	43.5
	2012	60.9	39.1
名古屋	2013	67.6	32.4
	2012	66.1	33.9
C大阪	2013	61.3	38.7
	2012	66.2	33.8
広島	2013	67.9	32.1
	2012	63.9	36.1
鳥栖	2013	63.7	36.3
	2012	61.7	38.3
大分	2013	50.0	50.0
	2012	53.7	46.3

■ 男性 集計対象：ホームクラブ応援者  
(2013 n=6,953 / 2012 n=6,584)  
\* 湘南、甲府、大分は  
2012シーズンJ2に所属

## 11 J2性別(2012/2013比較)

		単位：%	
J2平均	2013	63.3	36.7
	2012	64.1	35.9

集計対象：全回答者(2013 n=17,253/2012 n=15,711)

		単位：%	
札幌	2013	54.7	45.3
	2012	53.4	46.6
山形	2013	60.1	39.9
	2012	68.0	32.0
水戸	2013	64.1	35.9
	2012	65.7	34.3
栃木	2013	70.1	29.9
	2012	69.3	30.7
群馬	2013	68.2	31.8
	2012	62.2	37.8
千葉	2013	59.4	40.6
	2012	62.4	37.6
東京V	2013	67.2	32.8
	2012	68.0	32.0
横浜FC	2013	71.7	28.3
	2012	68.4	31.6
松本	2013	57.4	42.6
	2012	60.6	39.4
富山	2013	62.7	37.3
	2012	62.2	37.8
岐阜	2013	72.3	27.7
	2012	65.3	34.7
京都	2013	66.2	33.8
	2012	64.0	36.0
G大阪	2013	65.6	34.4
	2012	52.4	47.6
神戸	2013	68.0	32.0
	2012	70.2	29.8
鳥取	2013	64.7	35.3
	2012	64.2	35.8
岡山	2013	61.8	38.2
	2012	63.6	36.4
徳島	2013	61.0	39.0
	2012	61.8	38.2
愛媛	2013	61.5	38.5
	2012	62.5	37.5
福岡	2013	66.3	33.7
	2012	64.0	36.0
北九州	2013	65.9	34.1
	2012	70.8	29.2
長崎	2013	53.7	46.3
	2012		
熊本	2013	62.3	37.7
	2012	64.8	35.2

■ 男性 集計対象：ホームクラブ応援者  
(2013 n=8,097 / 2012 n=7,137)  
\*1 札幌、G大阪、神戸は2012シーズン、J1に所属  
\*2 呼称変更に伴い表記を群馬に統一  
\*3 長崎は2013シーズンよりJリーグに加入

### 男性率70%超は 5クラブ。 大分は男女半々。

▶▶2012シーズンと比べると、G大阪(13.2%増)、岐阜(7.0%増)、大宮(6.7%増)で男性率が高くなり、山形(7.9%増)で女性率が高くなった。また、男性率で70%を超えたクラブは、湘南、大宮、岐阜、横浜FC、栃木。女性率50%の大分を筆頭に、川崎F、長崎、札幌、仙台、磐田、鹿島、松本、横浜FM、甲府、千葉、浦和では女性率が40%を超える結果となった。

## 12 平均年齢(2012/2013比較)

単位：歳



集計対象：全回答者(2013 n=17,114 /2012 n=16,594)

## 13 年齢分布の推移(リーグ平均)

単位：%

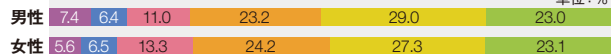


集計対象：全回答者

2013 n=17,114 /2012 n=16,594 /2011 n=16,318  
 2010 n=16,222 /2009 n=15,887 /2008 n=14,281  
 2007 n=12,823 /2006 n=12,806 /2005 n=12,885  
 2004 n=11,993 /2003 n=11,663 /2002 n=19,270  
 2001 n=7,390

## 14 2013 年齢分布(男女別)

単位：%



集計対象：全回答者(n=17,098)

観戦者のプロフィールとして記載された内容は、調査方法(調査対象年齢など)による一定の制限を受けたものであり、調査対象の特徴である。なお、調査対象を11歳以上としたため、観戦者全体の平均年齢は39.5歳を下回ると思われる。

## 15 スタジアム観戦経験者の平均年齢(一般調査)

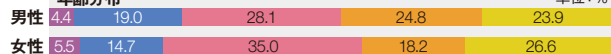
平均年齢

単位：歳



年齢分布

単位：%



集計対象：全回答者(n=315)

脚注：全国の15~59歳の男女個人、6,605サンプルを対象にしたiMiネット利用のWEB調査。  
 調査期間は2013年12月11日~12月19日  
 調査主：博報堂DYメディアパートナーズ

### 平均年齢は39.5歳。

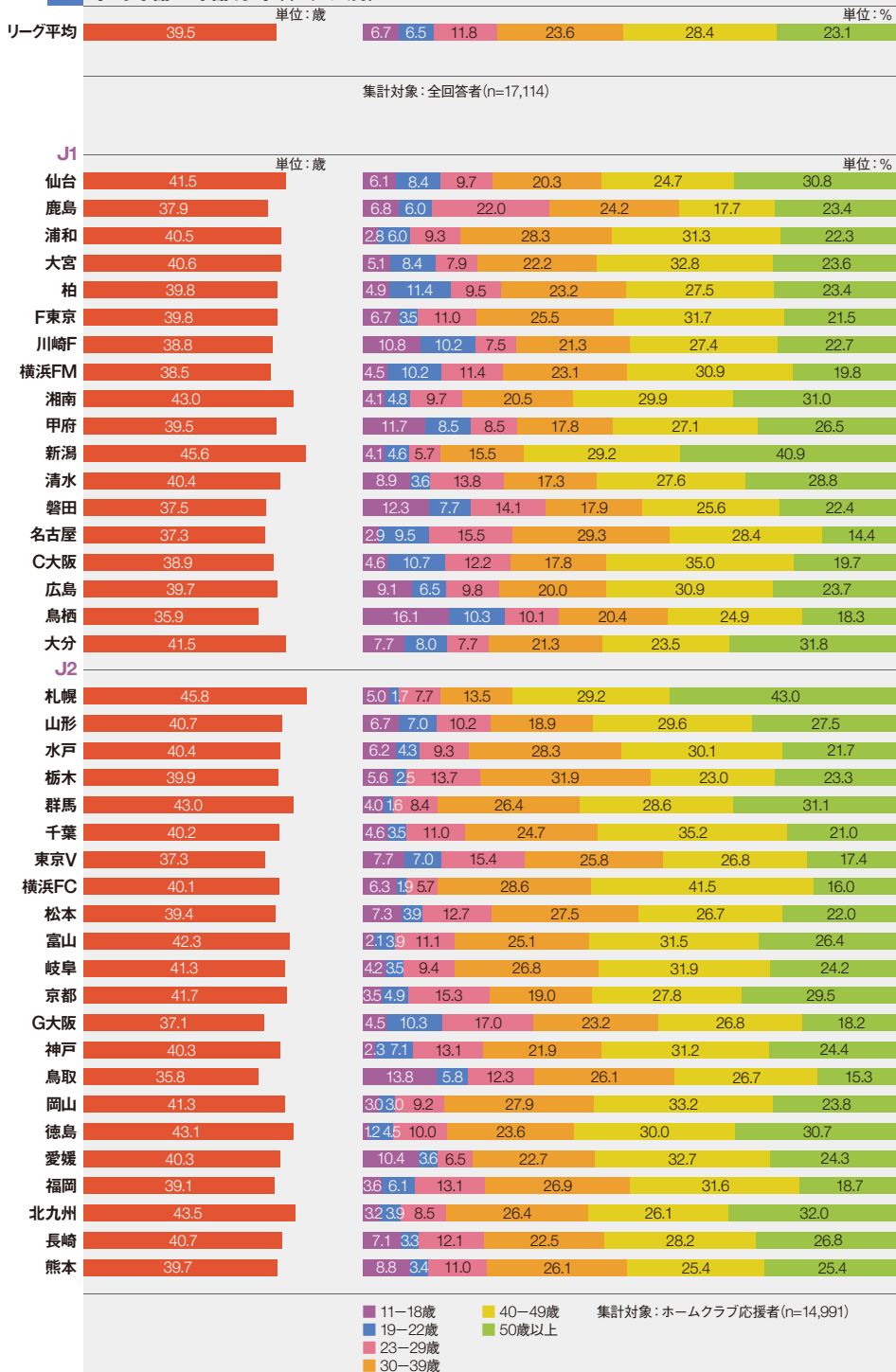
◀◀観戦者の平均年齢は全体で39.5歳となり2012シーズンより0.5歳上がった。中心となる年齢層は、40代(28.4%)、30代(23.6%)、50代以上(23.1%)である。性別による年齢構成比に大きな違いはなかった。

### 一般調査では、観戦者の平均年齢は39.2歳。

◀◀一般生活者を対象にした全国調査(脚注参照)によれば、過去1年間にJリーグをスタジアム観戦した人の平均年齢は39.2歳であった。中心となる年齢層は、男性、女性とも、30代(男性:28.1%、女性:35.0%)であった。



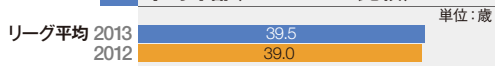
## 16 平均年齢・年齢分布(クラブ別)



平均年齢、  
札幌変わらず最も高く  
最も低いクラブは鳥取に。

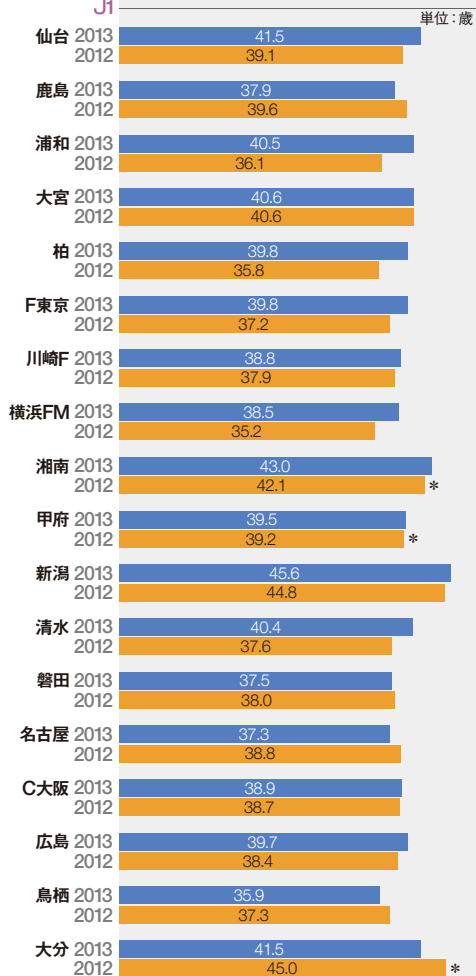
▶▶札幌(45.8歳)、新潟(45.6歳)、北九州(43.5歳)、徳島(43.1歳)、湘南(43.0歳)、群馬(43.0歳)で平均年齢が高かった一方、鳥取(35.8歳)、鳥栖(35.9歳)では低かった。

## 17 平均年齢(2012/2013比較)

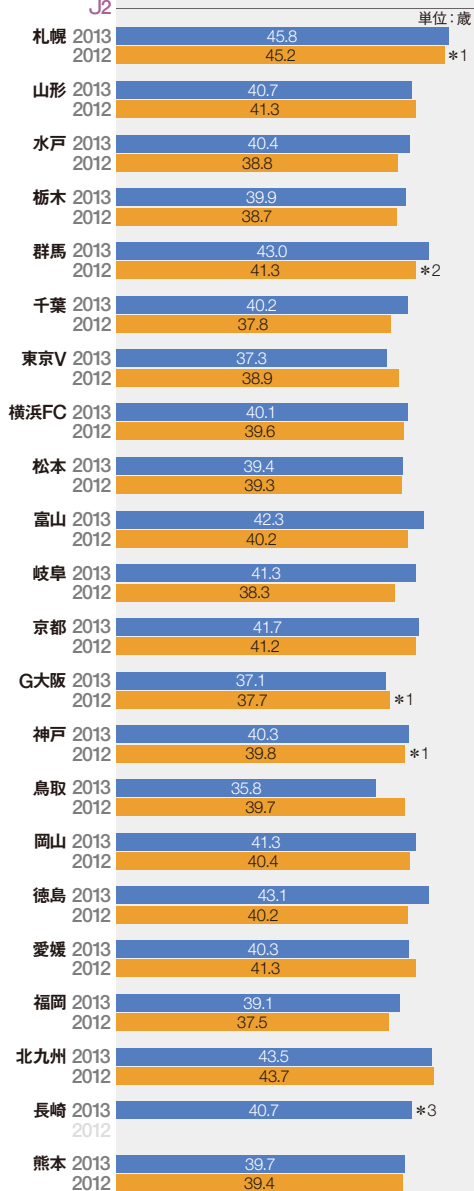


集計対象: 全回答者(2013 n=17,114 /2012 n=16,594)

### J1



### J2



**平均年齢が最も若いクラブ、J1は鳥栖(35.9歳)、J2は鳥取(35.8歳)。**

◀◀ J1では、平均年齢が下がったクラブが5、上がったクラブが12、変わらなかったクラブが1。J2では、下がったクラブが6、上がったクラブが15となった(2013シーズン入会の長崎を除く)。2012シーズンと比べると、浦和(+4.4歳)、柏(+4.0歳)、横浜FM(+3.3歳)の上がり幅が大きく、鳥取(-3.9歳)、大分(-3.5歳)の下がり幅が顕著だった。

\* 湘南、甲府、大分は2012シーズン、J2に所属

集計対象: ホームクラブ応援者  
(2013 n=14,991 /2012 n=14,447)

\*1 札幌、G大阪、神戸は2012シーズン、J1に所属

\*2 呼称変更に伴い表記を群馬に統一

\*3 長崎は2013シーズンよりJリーグに入会

## 18 J1年齢分布(2012/2013比較)

		単位：%					
リーグ平均	2013	6.7	6.5	11.8	23.6	28.4	23.1
	2012	6.5	6.2	12.4	26.4	26.9	21.6

集計対象：全回答者(2013 n=17,114 /2012 n=16,594)

		単位：%					
仙台	2013	6.1	8.4	9.7	20.3	24.7	30.8
	2012	9.7	5.9	12.6	20.4	27.4	23.9
鹿島	2013	6.8	6.0	22.0	24.2	17.7	23.4
	2012	5.4	8.3	15.0	23.9	18.8	28.7
浦和	2013	2.8	6.0	9.3	28.3	31.3	22.3
	2012	7.3	11.8	12.3	29.1	24.9	14.7
大宮	2013	5.1	8.4	7.9	22.2	32.8	23.6
	2012	4.5	5.9	8.8	25.8	32.9	22.1
柏	2013	4.9	11.4	9.5	23.2	27.5	23.4
	2012	13.1	11.6	10.1	19.9	27.6	17.8
F東京	2013	6.7	3.5	11.0	25.5	31.7	21.5
	2012	11.1	7.5	12.9	23.7	26.9	18.0
川崎F	2013	10.8	10.2	7.5	21.3	27.4	22.7
	2012	8.4	6.4	14.3	21.6	30.5	18.8
横浜FM	2013	4.5	10.2	11.4	23.1	30.9	19.8
	2012	8.9	7.9	19.7	30.2	20.6	12.7
湘南	2013	4.1	4.8	9.7	20.5	29.9	31.0
	2012	4.9	4.3	7.0	27.8	26.7	29.3
甲府	2013	11.7	8.5	8.5	17.8	27.1	26.5
	2012	11.1	3.7	10.0	24.5	26.9	23.7
新潟	2013	4.1	4.6	5.7	15.5	29.2	40.9
	2012	4.3	2.8	7.6	17.2	32.3	35.9
清水	2013	8.9	3.6	13.8	17.3	27.6	28.8
	2012	5.9	7.8	18.3	22.8	28.2	16.9
磐田	2013	12.3	7.7	14.1	17.9	25.6	22.4
	2012	4.5	6.4	23.7	21.4	23.4	20.6
名古屋	2013	2.9	9.5	15.5	29.3	28.4	14.4
	2012	3.0	6.7	13.4	27.2	30.5	19.1
C大阪	2013	4.6	10.7	12.2	17.8	35.0	19.7
	2012	4.6	6.6	11.0	27.6	33.0	17.1
広島	2013	9.1	6.5	9.8	20.0	30.9	23.7
	2012	11.3	7.1	7.9	20.8	30.9	21.9
鳥栖	2013	16.1	10.3	10.1	20.4	24.9	18.3
	2012	9.0	10.4	13.2	22.2	22.7	22.5
大分	2013	7.7	8.0	7.7	21.3	23.5	31.8
	2012	4.8	5.3	6.5	17.4	25.7	40.3

■ 11-18歳  
■ 19-22歳  
■ 23-29歳  
■ 30-39歳  
■ 40-49歳  
■ 50歳以上

集計対象：ホームクラブ応援者  
(2013 n=6,857 /2012 n=6,551)  
\* 湘南、甲府、大分は  
2012シーズン、J2に所属



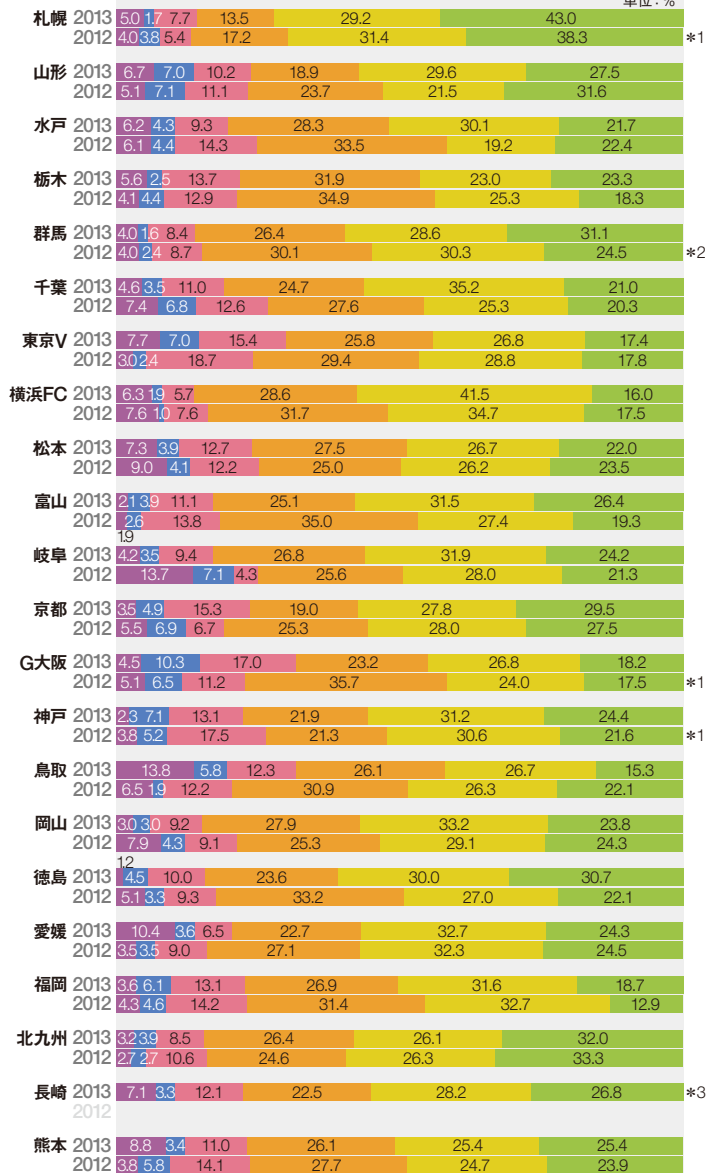
# 19 J2年齢分布(2012/2013比較)

単位：%

リーグ平均	2013	6.7	6.5	11.8	23.6	28.4	23.1
	2012	6.5	6.2	12.4	26.4	26.9	21.6

集計対象：全回答者(2013 n=17,114 /2012 n=16,594)

単位：%



集計対象：ホームクラブ応援者  
(2013 n=8,054 /2012 n=7,896)  
\*1 札幌、G大阪、神戸は2012シーズン、J1に所属  
\*2 呼称変更に伴い表記を群馬に統一  
\*3 長崎は2013シーズンよりJリーグに入会



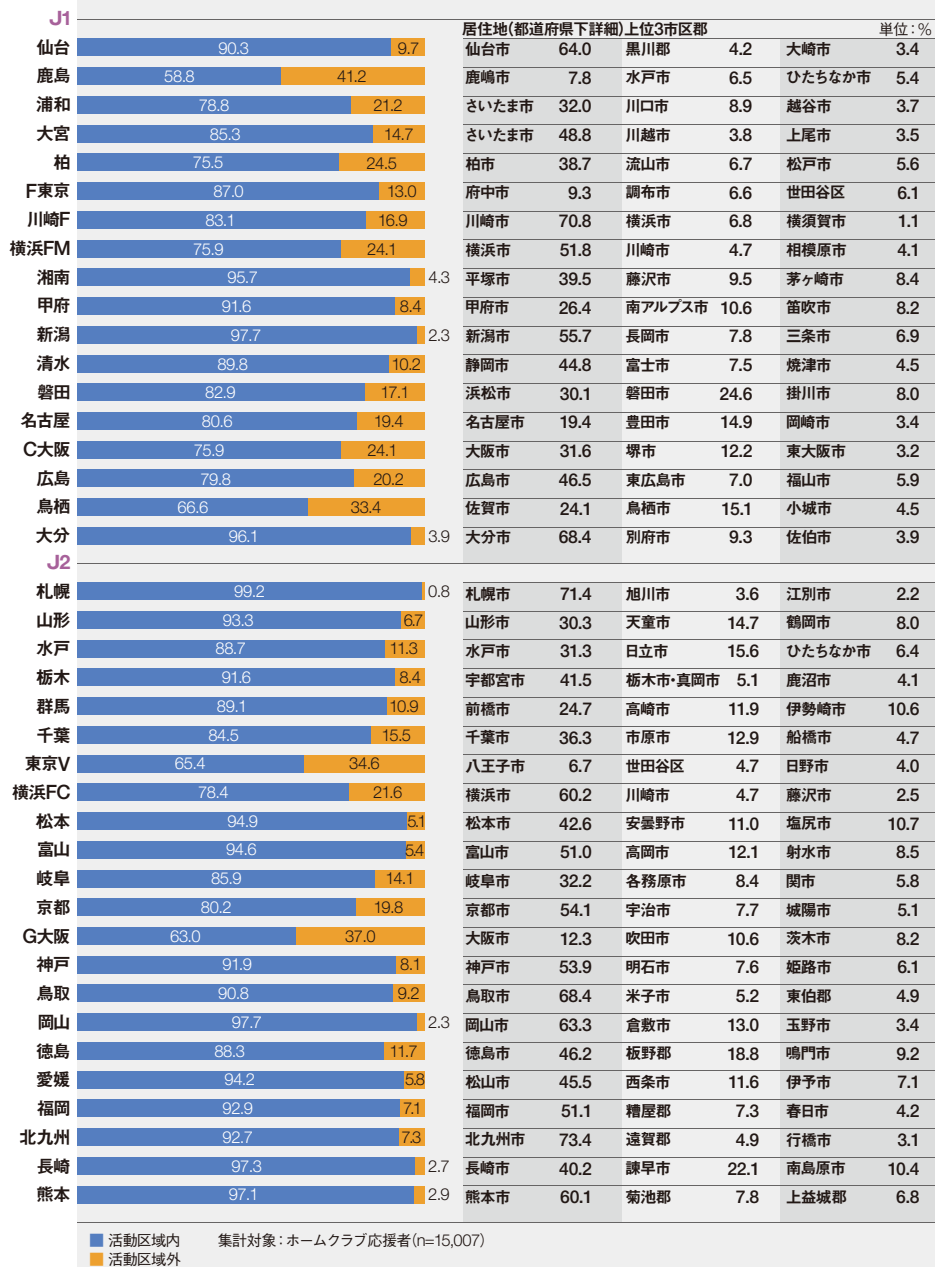
## 20 居住地(活動区域・市区郡内訳)

リーグ平均 86.1 15.9 単位: %

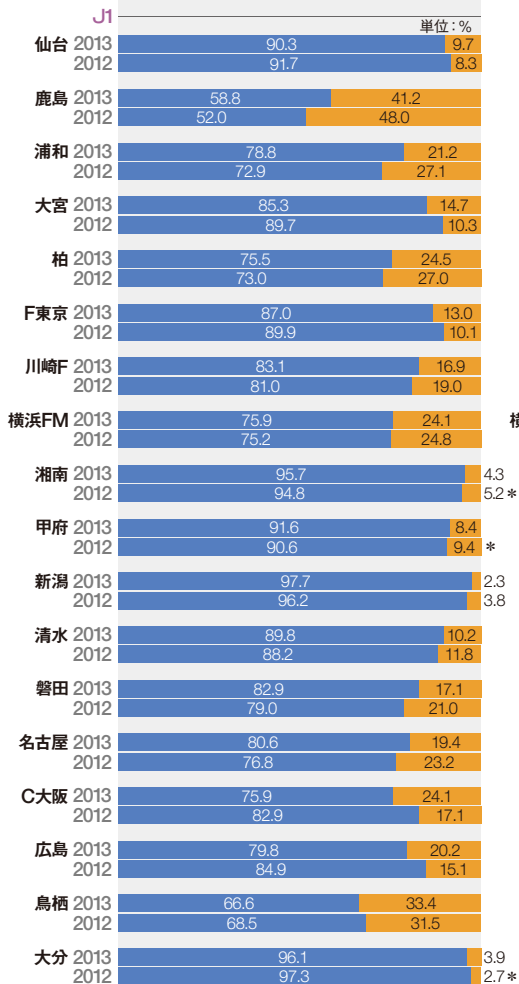
集計対象: ホームクラブ応援者(n=15,007)

**86.1%が、  
ホームタウンのある  
都道府県から。**

▶▶全体の86.1%がホームタウンのある都道府県に居住していた。鹿島(58.8%)、G大阪(63.0%)、東京V(65.4%)では活動区域からの観戦者が低い傾向がみられ、札幌(99.2%)、新潟、岡山(97.7%)、長崎(97.3%)、熊本(97.1%)ではその反対の傾向がみられた。

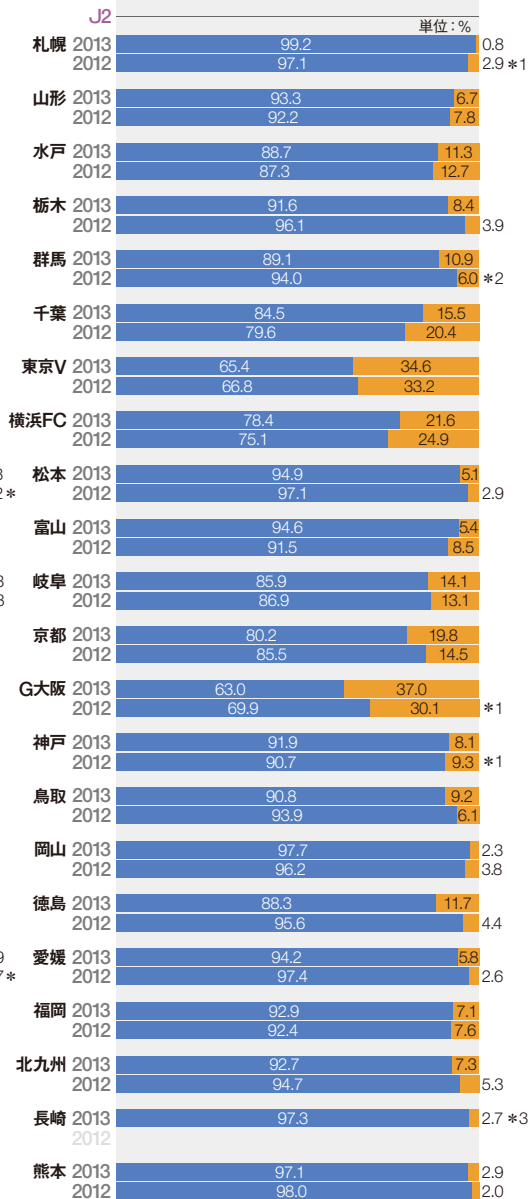


## 21 J1居住地(活動区域2012/2013比較)



■ 活動区域内 集計対象：ホームクラブ応援者  
 (2013 n=6,926 / 2012 n=6,553)  
 \* 湘南、甲府、大分は  
 2012シーズン、J2に所属

## 22 J2居住地(活動区域2012/2013比較)

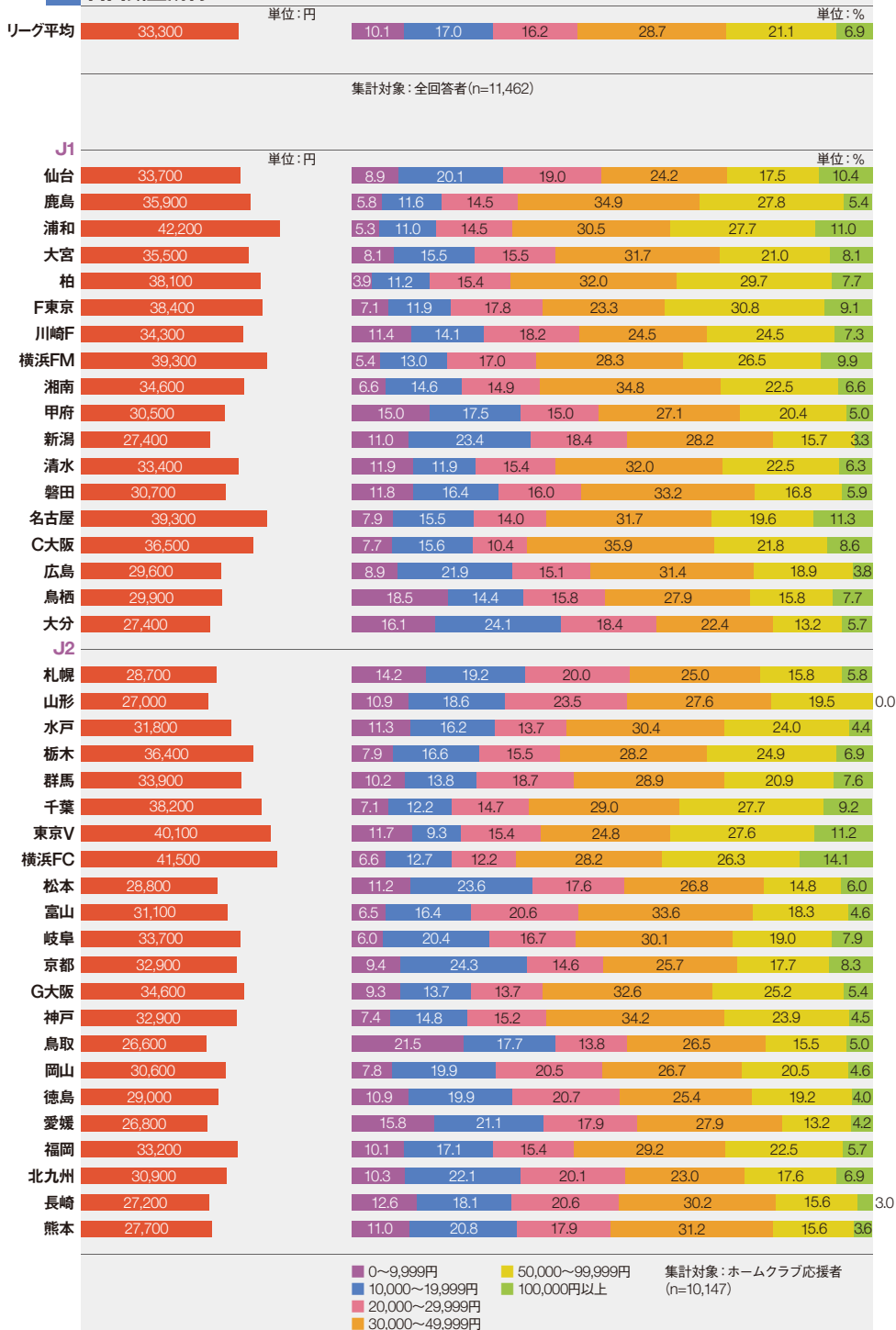


■ 活動区域内 集計対象：ホームクラブ応援者  
 (2013 n=8,081 / 2012 n=7,908)  
 \*1 札幌、G大阪、神戸は2012シーズン、J1に所属  
 \*2 呼称変更に伴い表記を群馬に統一  
 \*3 長崎は2013シーズンよりJリーグに加入

**新潟、大分の観戦者は  
 ほぼ活動区域内から。  
 J2の都市部のクラブで  
 区域外観戦者が多い。**

◀◀ J1では、新潟、大分、湘南、甲府、仙台で、活動区域内からの観戦者が90%を超え、J2では、首都圏、近畿圏にホームタウンを置くクラブで、活動区域外からの観戦者が目立つ傾向がみとれた。

## 23 自由裁量所得 (レジャーや趣味等、自由に使える1か月のおこづかい)



おこづかいは  
ほぼ横ばい  
33,300円。

▶▶観戦者がレジャーや趣味などに自由に使える金額(おこづかい)のリーグ平均は、33,300円/月となった。2012シーズンと比べて、100円の増加となった。過去3年間の自由裁量所得の変化は以下の通りである。

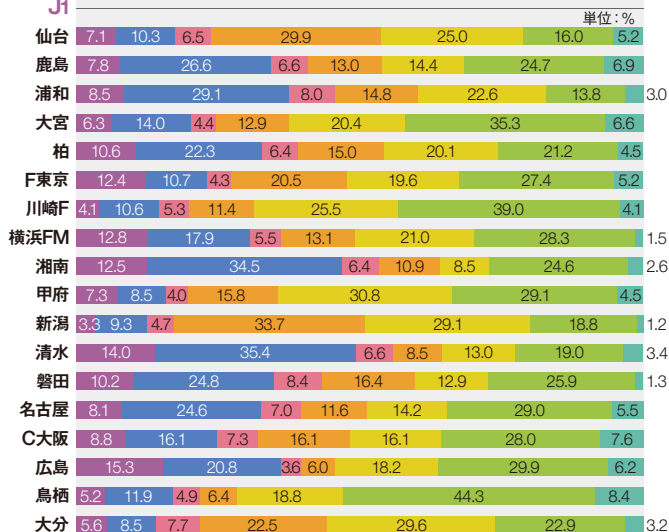
2012 : 33,200円  
2011 : 33,700円  
2010 : 33,800円

## 24 観戦歴

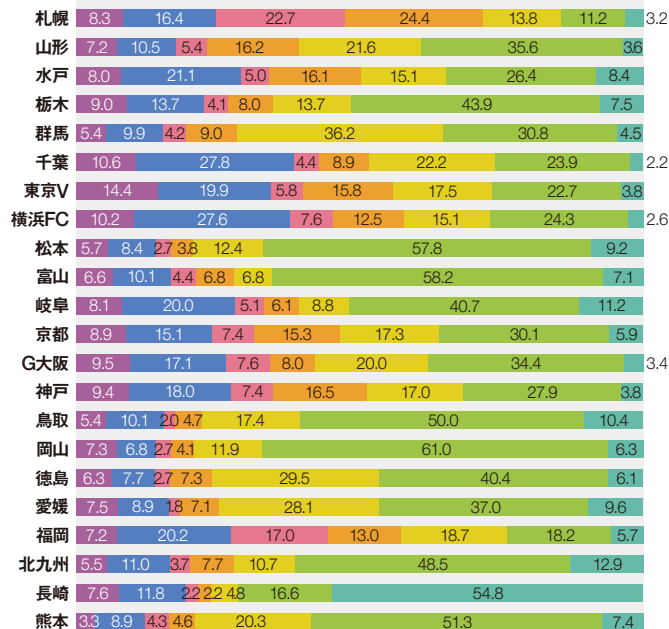
リーグ平均 8.4 16.2 5.9 12.2 17.7 31.1 8.5 単位:%

集計対象: 全回答者(n=16,213)

### J1



### J2



■ 1992年以前 ■ 2003~2006年頃 ■ 集計対象: ホームクラブ応援者 (n=14,272)  
■ 1993~1995年頃 ■ 2007~2012年頃  
■ 1996~1998年頃 ■ 2013シーズンから  
■ 1999~2002年頃

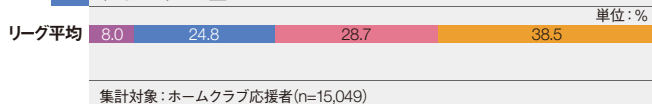


## 2013シーズンの新規参入層は8.5%。 (2012シーズン比0.4%アップ)

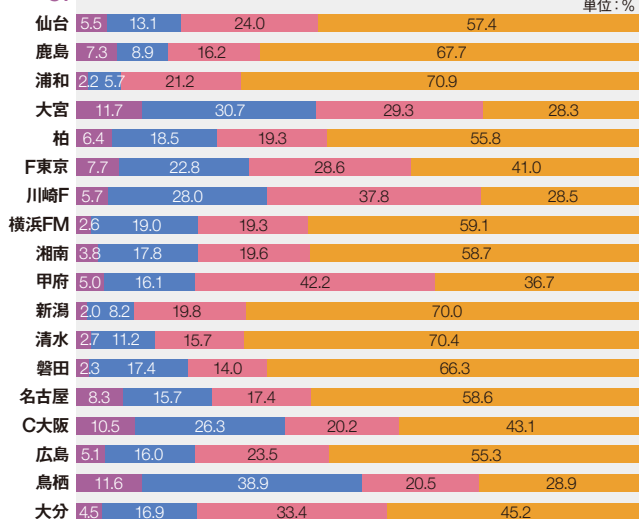
◀◀ 2013シーズンから観戦を始めた新規参入層は8.5%で、2012シーズンとほぼ同様の割合であった(2012: 8.1%)。この新規参入層のファンの多いクラブは、長崎(54.8%)である。Jリーグ開幕以前より観戦をしていた人は全体の8.4%で、広島(15.3%)、東京V(14.4%)、清水(14.0%)が多かった。また、Jリーグ開幕直後(1993~1995シーズン)から観戦し始めた人は16.2%。清水(35.4%)、湘南(34.5%)の観戦者に、その割合が高いことがわかった。



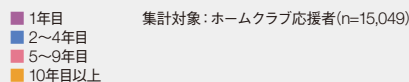
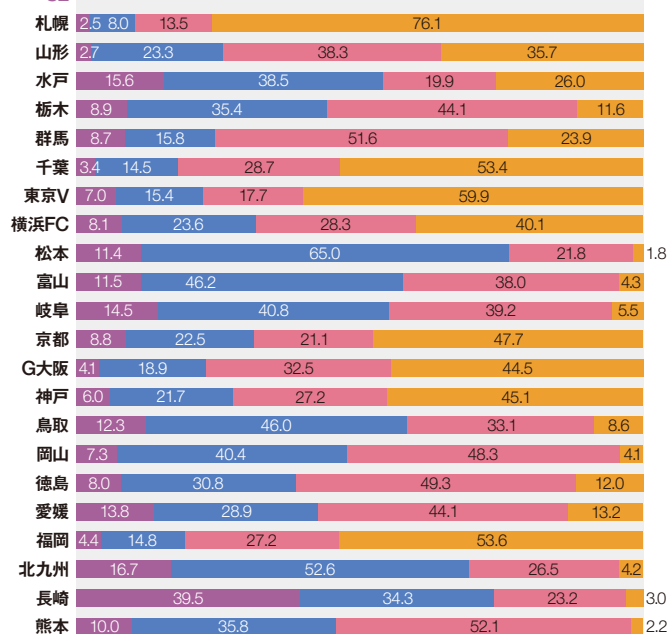
## 25 サポーター歴



### J1



### J2



### 2013シーズンから新たにサポーターになった人は8.0%。(2012シーズン：7.4%)

▶▶10年以上特定のクラブを応援しているサポーターの割合が最も高く、2012シーズンより3.4%増えて38.5%となった。いた。札幌(76.1%)、浦和(70.9%)、清水(70.4%)、新潟(70.0%)では、特にその割合が高かった。2013シーズンからサポーターになったとする観戦者は、全体の8.0%(2012：7.4%)。その割合が高いクラブは、長崎(39.5%)、北九州(16.7%)、水戸(15.6%)である。

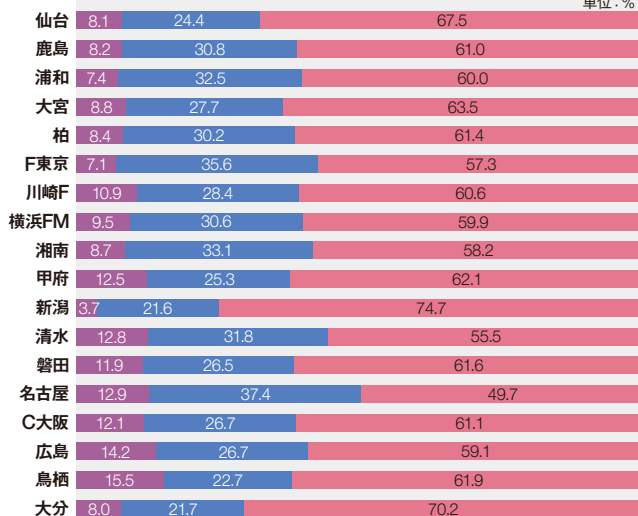
## 26 サッカーの経験

リーグ平均 10.6 27.6 61.9 単位：%

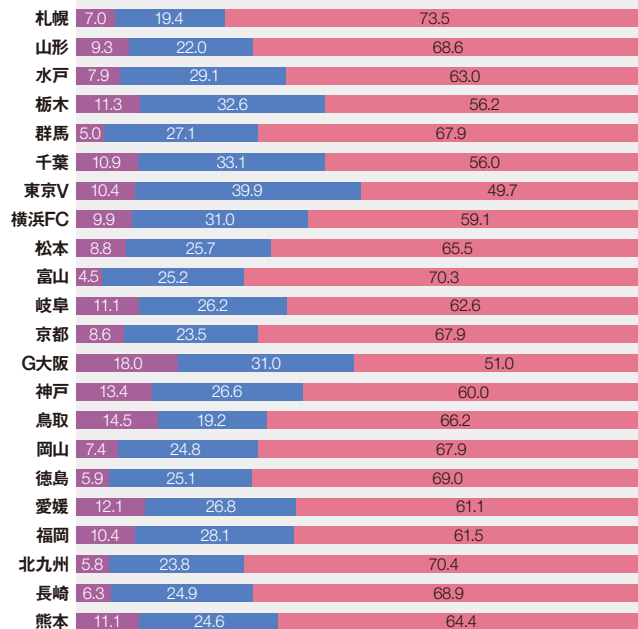
集計対象：全回答者(n=16,732)

### J1

単位：%



### J2



集計対象：ホームクラブ応援者(n=14,610)

■ している  
■ 過去にしていた  
■ したことはない

**サッカー未経験者は、  
0.8%減って61.9%。  
(2012シーズン：62.7%)**

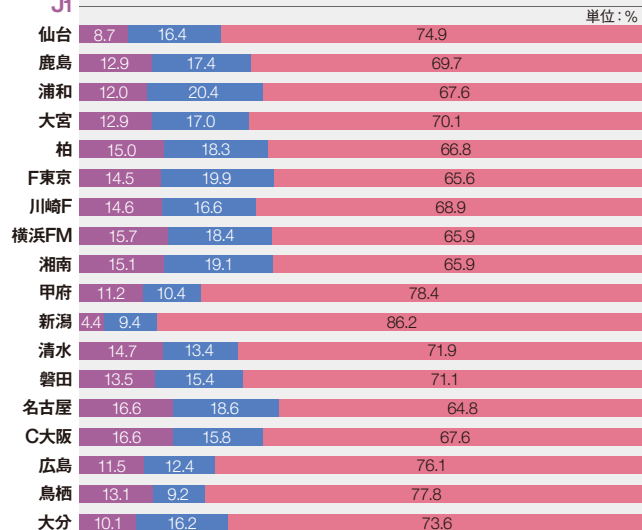
◀◀ サッカー未経験者は、2012シーズンから0.8%減って61.9%となった。その割合が多いクラブは、新潟(74.7%)、札幌(73.5%)、北九州(70.4%)、大分(70.2%)である。反対に、経験者(している+過去にしていた)が多いクラブは、名古屋(12.9%+37.4%)、東京V(10.4%+39.9%)、G大阪(18.0%+31.0%)、清水(12.8%+31.8%)である。

## 27 フットサルの経験

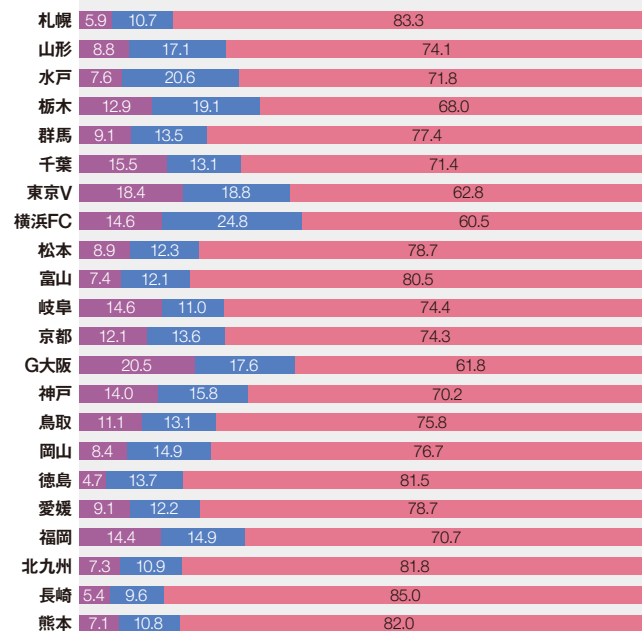
リーグ平均 12.3 15.4 72.3 単位：%

集計対象：全回答者(n=16,732)

### J1



### J2



集計対象：ホームクラブ応援者(n=14,610)

■ している  
■ 過去にしていた  
■ したことはない

**フットサル経験者、  
0.7%増えて27.7%。  
(している+過去にしていた)  
(2012シーズン：27.0%)**

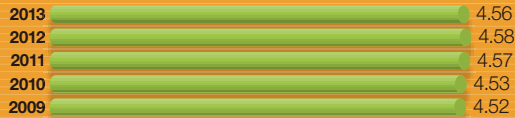
▶▶フットサル経験者は、2012シーズンから0.7%増えて、27.7%となった。その割合が多いクラブは、横浜FC(14.6%+24.8%)、G大阪(20.5%+17.6%)である。例年、高い割合だった浦和(12.0%+20.4%)は2012シーズン(19.8%+23.8%)と比べて11.2%も低くなった。



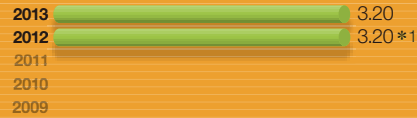
スタジアムに足を運び  
観戦しようとする動機やきっかけとは  
どのようなものなのだろうか。

## 観戦の動機やきっかけ

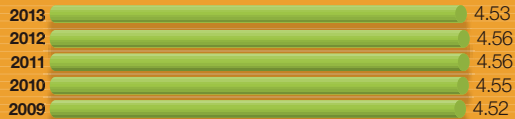
## サッカー観戦が好きだから



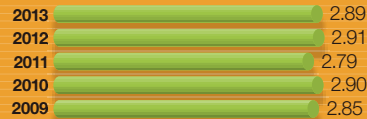
## スタジアムでのイベント・グルメ企画が楽しそうだから



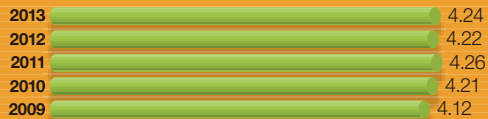
## 好きなクラブの応援に



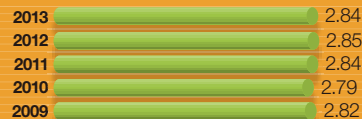
## 対戦相手が魅力的だったので



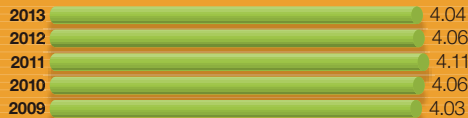
## 地元のクラブだから



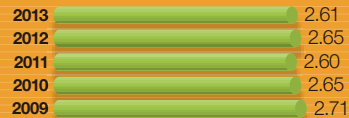
## 友人・家族に誘われたから



## レジャーとして



## クラブの成績がいいので



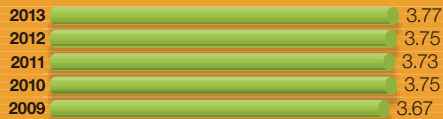
## 好きな選手の応援に



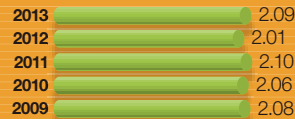
## 周囲で話題になっているから



## スケジュールの都合で



## チケットをもらったから

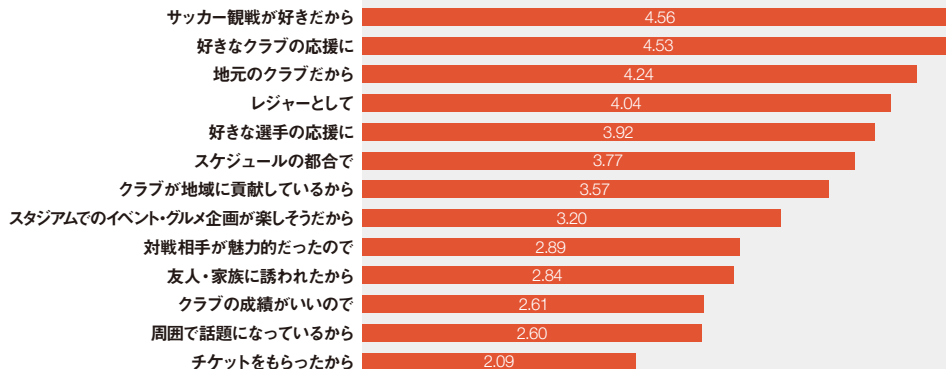


## クラブが地域に貢献しているから



集計対象：全回答者  
 (2013 n=15,697 / 2012 n=15,114 / 2011 n=15,002  
 2010 n=14,963 / 2009 n=14,768)  
 \*平均値は、5段階評定尺度  
 (大きいにあてはまる：5～まったくあてはまらない：1)  
 で求めたスコア  
 \*1 2012シーズンより新設された設問項目

## 29 観戦の動機やきっかけ



### 2013シーズンも 上位4項目に 大きな変動はなく、 2012シーズン同様と なった。

▶▶観戦の動機やきっかけを観戦者全体でみると、「サッカー観戦が好きだから」(4.56)「好きなクラブの応援に」(4.53)が主なものとなっていた。次いで「地元のクラブだから」(4.24)「レジャーとして」(4.04)と続く。この上位4項目については、2012シーズンと同じ傾向だった。各動機におけるクラブごとの偏差値換算スコアは右表の通りである。

	サッカー観戦が好きだから	好きなクラブの応援に	地元のクラブだから	レジャーとして	好きな選手の応援に
1	柏 52.4	柏 52.8	札幌 53.8	松本 51.8	C大阪 53.4
2	鹿島 52.0	浦和 52.2	岡山 53.7	岡山 51.8	横浜FM 53.2
3	福岡 52.0	横浜FM 52.0	福岡 53.5	広島 51.7	G大阪 52.9
4	F東京 51.9	福岡 51.9	熊本 53.3	神戸 51.7	広島 52.9
5	C大阪 51.8	F東京 51.9	新潟 52.9	C大阪 51.7	磐田 52.5
6	G大阪 51.8	湘南 51.7	松本 52.8	熊本 51.6	鳥栖 52.2
7	磐田 51.7	鹿島 51.5	長崎 52.6	仙台 51.6	柏 52.1
8	広島 51.4	G大阪 51.5	鳥取 52.5	新潟 51.4	鹿島 51.9
9	神戸 51.4	横浜FC 51.5	北九州 52.5	F東京 51.4	川崎F 51.9
10	横浜FM 51.2	広島 51.4	愛媛 52.3	長崎 51.3	F東京 51.4
11	清水 51.1	C大阪 51.3	山形 52.1	川崎F 50.9	岡山 51.0
12	仙台 51.1	磐田 51.3	仙台 51.9	鳥栖 50.7	東京V 50.9
13	湘南 50.9	仙台 50.9	甲府 51.9	鹿島 50.7	千葉 50.8
14	新潟 50.9	新潟 50.9	富山 51.8	湘南 50.6	福岡 50.7
15	名古屋 50.8	川崎F 50.9	岐阜 51.7	福岡 50.6	仙台 50.6
16	甲府 50.6	札幌 50.8	湘南 51.6	水戸 50.5	横浜FC 50.3
17	川崎F 50.5	清水 50.7	神戸 51.6	柏 50.5	湘南 50.3
18	千葉 50.4	岡山 50.5	栃木 51.5	栃木 50.5	大分 50.1
19	東京V 50.3	松本 50.5	徳島 51.3	甲府 50.4	名古屋 49.8
20	熊本 50.2	鳥栖 50.3	広島 51.3	北九州 50.3	神戸 49.8
21	横浜FC 50.2	千葉 50.2	水戸 50.9	G大阪 49.9	鳥取 49.6
22	浦和 50.0	熊本 50.0	大分 50.9	徳島 49.8	甲府 49.5
23	大分 50.0	甲府 49.8	名古屋 50.7	大宮 49.8	浦和 49.5
24	札幌 49.9	名古屋 49.8	清水 50.5	千葉 49.7	水戸 49.3
25	鳥栖 49.5	大宮 49.6	群馬 50.4	大分 49.7	新潟 49.0
26	岡山 49.5	神戸 49.5	京都 50.3	札幌 49.7	熊本 49.0
27	大宮 49.4	東京V 49.3	鳥栖 49.6	横浜FM 49.6	松本 48.9
28	松本 49.1	群馬 49.0	F東京 48.9	名古屋 49.4	長崎 48.8
29	群馬 48.9	京都 48.8	千葉 48.7	岐阜 49.2	山形 48.6
30	山形 48.7	山形 48.8	C大阪 48.5	清水 49.0	京都 48.6
31	栃木 48.7	大分 48.8	大宮 48.1	京都 48.9	大宮 48.6
32	水戸 48.4	北九州 48.2	川崎F 48.0	東京V 48.6	札幌 48.5
33	鳥取 48.1	徳島 48.2	磐田 47.4	山形 48.6	栃木 48.4
34	愛媛 48.0	長崎 48.0	柏 47.2	富山 48.5	清水 48.3
35	北九州 47.8	水戸 47.6	浦和 46.7	鳥取 48.5	富山 48.0
36	長崎 47.6	愛媛 47.3	G大阪 45.8	愛媛 48.4	群馬 47.8
37	京都 47.6	栃木 47.2	横浜FM 44.1	横浜FC 48.1	愛媛 47.6
38	岐阜 47.3	岐阜 46.8	鹿島 43.2	磐田 47.8	徳島 47.5
39	徳島 47.3	富山 46.7	横浜FC 42.7	群馬 46.4	北九州 47.4
40	富山 47.0	鳥取 46.2	東京V 37.4	浦和 46.0	岐阜 46.2

\*数値は、5段階評定尺度(大きいあてはまる:5~まったくあてはまらない:1)で求めたスコアを偏差値換算したもの

集計対象：全回答者(n=15,697)  
 \*平均値は、5段階評定尺度  
 (大きいこあてはまる：5～まったくあてはまらない：1)  
 で求めたスコア



	スケジュールの都合で	クラブが地域貢献しているから	スタジアムでのイベント・グルメ企画が楽しそうだから	対戦相手が魅力的だったから	友人・家族に誘われたから	クラブの成績がいいので	周囲で話題になっているから	チケットをもらったから
1	広島 53.8	岡山 54.6	岡山 54.8	鳥取 59.0	長崎 53.3	長崎 60.0	松本 56.0	北九州 54.3
2	長崎 52.3	松本 54.5	熊本 54.5	G大阪 56.9	鳥栖 52.7	広島 59.2	鳥栖 55.6	岐阜 54.1
3	水戸 51.8	仙台 54.2	鹿島 53.5	名古屋 55.6	広島 52.6	G大阪 55.3	長崎 54.5	川崎F 53.4
4	清水 51.8	甲府 54.1	松本 53.5	仙台 54.9	松本 51.6	川崎F 55.3	岡山 53.6	水戸 52.6
5	北九州 51.6	広島 53.0	岐阜 52.8	東京V 54.8	仙台 51.5	横浜FM 55.1	広島 53.5	新潟 52.1
6	名古屋 51.6	長崎 52.9	水戸 52.3	栃木 54.7	鳥取 51.5	徳島 54.5	鳥取 52.8	清水 51.9
7	徳島 51.4	熊本 52.4	札幌 51.8	岡山 53.8	岡山 51.3	鹿島 54.3	甲府 52.7	愛媛 51.8
8	岐阜 51.4	札幌 52.3	大分 51.7	松本 53.4	川崎F 51.3	岡山 53.9	仙台 52.5	神戸 51.8
9	鳥栖 51.3	川崎F 52.1	湘南 51.6	鳥島 52.3	名古屋 51.2	栃木 53.9	大分 51.4	大分 51.7
10	愛媛 50.9	新潟 52.1	川崎F 51.5	大分 52.2	徳島 51.2	神戸 53.4	栃木 51.2	栃木 51.5
11	新潟 50.8	大分 52.0	愛媛 51.4	甲府 52.0	神戸 51.1	仙台 53.0	熊本 50.8	富山 51.2
12	鹿島 50.7	湘南 52.0	山形 51.3	神戸 51.8	愛媛 51.1	C大阪 53.0	新潟 50.8	新潟 51.1
13	富山 50.7	鳥栖 51.5	鳥取 51.1	福岡 51.4	甲府 50.8	柏 52.2	徳島 50.6	京都 51.0
14	仙台 50.7	栃木 51.0	清水 50.7	山形 51.0	水戸 50.8	京都 51.6	川崎F 50.4	鳥取 51.0
15	甲府 50.7	水戸 50.8	徳島 50.7	湘南 50.9	栃木 50.7	名古屋 51.3	山形 50.3	広島 50.6
16	千葉 50.4	神戸 50.8	鳥栖 50.6	水戸 50.8	京都 50.7	千葉 51.3	水戸 50.1	松本 50.6
17	岡山 50.4	鳥取 50.1	富山 50.6	愛媛 50.6	清水 50.5	浦和 50.7	C大阪 50.0	熊本 50.5
18	山形 50.3	徳島 50.1	広島 50.5	岐阜 50.2	大分 50.5	新潟 50.0	G大阪 49.8	長崎 50.4
19	川崎F 50.3	福岡 50.0	長崎 50.4	F東京 49.8	山形 50.5	F東京 49.8	名古屋 49.8	鳥栖 50.2
20	栃木 50.2	岐阜 49.8	栃木 50.1	北九州 49.4	C大阪 50.5	水戸 49.8	柏 49.7	名古屋 50.1
21	松本 50.2	北九州 49.8	G大阪 50.1	鳥栖 49.1	G大阪 50.3	鳥栖 49.7	磐田 49.5	甲府 50.0
22	熊本 50.1	富山 49.6	甲府 50.0	川崎F 48.9	鹿島 50.2	松本 49.3	清水 49.0	鹿島 49.5
23	札幌 50.1	山形 49.6	神戸 49.8	大宮 48.6	北九州 50.2	福岡 49.0	京都 48.9	千葉 49.2
24	福岡 50.0	C大阪 49.3	千葉 49.5	C大阪 48.6	岐阜 50.2	札幌 48.7	神戸 48.8	札幌 49.1
25	大分 50.0	F東京 49.2	北九州 49.2	千葉 48.4	富山 49.7	甲府 47.8	鹿島 48.7	山形 49.0
26	C大阪 49.8	柏 49.1	C大阪 49.2	長崎 48.3	磐田 49.7	北九州 47.2	富山 48.6	仙台 49.0
27	神戸 49.7	大宮 48.6	新潟 49.0	徳島 48.2	新潟 49.5	湘南 47.1	横浜FM 48.6	G大阪 49.0
28	群馬 49.6	愛媛 48.6	福岡 49.0	熊本 47.8	札幌 49.2	大宮 46.9	岐阜 48.5	C大阪 48.9
29	湘南 49.4	清水 48.4	F東京 48.8	群馬 47.8	熊本 49.0	東京V 46.4	湘南 48.5	福岡 48.8
30	磐田 49.3	G大阪 48.1	群馬 48.7	横浜FM 47.8	柏 49.0	清水 46.3	北九州 48.5	大宮 48.7
31	柏 49.2	京都 48.0	横浜FC 48.6	横浜FC 47.7	横浜FM 48.9	大分 46.3	愛媛 48.4	F東京 48.6
32	横浜FM 49.1	千葉 47.9	仙台 48.4	富山 47.5	福岡 48.5	山形 45.9	F東京 48.3	横浜FM 48.6
33	G大阪 49.0	鹿島 47.7	名古屋 48.4	新潟 47.5	千葉 48.4	熊本 45.9	東京V 48.2	磐田 48.5
34	京都 49.0	群馬 47.3	柏 47.9	柏 47.4	大宮 48.1	富山 45.2	千葉 48.1	横浜FC 48.1
35	F東京 48.8	浦和 46.1	大宮 47.8	清水 46.4	F東京 47.9	愛媛 44.8	札幌 48.1	東京V 48.1
36	鳥取 48.1	名古屋 46.1	京都 47.6	京都 46.4	浦和 47.9	群馬 43.8	浦和 48.0	湘南 48.0
37	大宮 47.6	横浜FM 46.1	磐田 46.8	磐田 46.3	群馬 47.0	鳥取 43.6	大宮 47.4	岡山 48.0
38	横浜FC 46.8	磐田 46.0	横浜FM 46.0	鹿島 45.6	東京V 46.9	横浜FC 43.3	群馬 47.0	群馬 48.0
39	東京V 45.8	横浜FC 45.9	東京V 45.0	札幌 44.3	湘南 46.9	岐阜 42.9	福岡 46.0	柏 47.2
40	浦和 44.6	東京V 44.4	浦和 44.3	浦和 42.9	横浜FC 46.6	磐田 41.7	横浜FC 44.8	浦和 46.0

30 観戦の動機やきっかけ(2012/2013比較・クラブ別)

好きなクラブの応援に		好きな選手の応援に		サッカー観戦が好きだから		クラブが地域貢献しているから	
2013	2012	2013	2012	2013	2012	2013	2012
1 柏 52.8	浦和 52.7	C大阪 53.4	C大阪 53.5	柏 52.4	横浜FM 52.3	岡山 54.6	甲府 55.0
2 浦和 52.2	鹿島 52.4	横浜FM 53.2	広島 53.0	鹿島 52.0	磐田 52.0	松本 54.5	大分 54.4
3 横浜FM 52.0	千葉 52.2	G大阪 52.9	磐田 52.8	福岡 52.0	神戸 51.9	仙台 54.2	鳥栖 54.4
4 福岡 51.9	G大阪 52.1	広島 52.9	横浜FM 52.7	F東京 51.9	C大阪 51.9	甲府 54.1	松本 54.4
5 F東京 51.9	磐田 51.7	磐田 52.5	G大阪 52.5	C大阪 51.8	G大阪 51.9	広島 53.0	仙台 54.4
6 湘南 51.7	清水 51.5	鳥栖 52.2	名古屋 52.1	G大阪 51.8	F東京 51.4	長崎 52.9	岡山 54.3
7 鹿島 51.5	横浜FM 51.3	柏 52.1	大分 51.6	磐田 51.7	広島 51.3	熊本 52.4	川崎F 53.8
8 G大阪 51.5	川崎F 51.3	鹿島 51.9	熊本 51.5	広島 51.4	福岡 51.3	札幌 52.3	熊本 53.1
9 横浜FC 51.5	F東京 51.3	川崎F 51.9	鹿島 51.4	神戸 51.4	名古屋 51.3	川崎F 52.1	山形 52.9
10 広島 51.4	広島 51.3	F東京 51.4	川崎F 51.4	横浜FM 51.2	千葉 51.1	新潟 52.1	湘南 52.5
11 C大阪 51.3	松本 51.2	岡山 51.0	千葉 51.3	清水 51.1	仙台 51.0	大分 52.0	町田 52.4
12 磐田 51.3	仙台 51.2	東京V 50.9	F東京 51.1	仙台 51.1	鹿島 50.8	湘南 52.0	広島 51.9
13 仙台 50.9	C大阪 51.0	千葉 50.8	東京V 51.1	湘南 50.9	柏 50.7	鳥栖 51.5	水戸 50.7
14 新潟 50.9	神戸 51.0	福岡 50.7	鳥栖 51.1	新潟 50.9	川崎F 50.7	栃木 51.0	新潟 50.4
15 川崎F 50.9	新潟 50.7	仙台 50.6	神戸 50.8	名古屋 50.8	山形 50.7	水戸 50.8	鳥取 50.4
16 札幌 50.8	札幌 50.7	横浜FC 50.3	浦和 50.8	甲府 50.6	清水 50.5	神戸 50.8	北九州 50.3
17 清水 50.7	山形 50.4	湘南 50.3	仙台 50.8	川崎F 50.5	新潟 50.4	鳥取 50.1	札幌 50.3
18 岡山 50.5	熊本 50.3	大分 50.1	柏 50.3	千葉 50.4	鳥栖 50.2	徳島 50.1	F東京 50.2
19 松本 50.5	名古屋 50.2	名古屋 49.8	水戸 49.8	東京V 50.3	東京V 50.1	福岡 50.0	神戸 50.1
20 鳥栖 50.3	岡山 50.2	神戸 49.8	横浜FC 49.7	熊本 50.2	浦和 50.1	岐阜 49.8	愛媛 49.8
21 千葉 50.2	柏 50.2	鳥取 49.6	岡山 49.6	横浜FC 50.2	岡山 50.1	北九州 49.8	徳島 49.7
22 熊本 50.0	東京V 50.1	甲府 49.5	清水 49.6	浦和 50.0	京都 50.0	富山 49.6	栃木 49.3
23 甲府 49.8	横浜FC 50.0	浦和 49.5	松本 49.5	大分 50.0	湘南 49.9	山形 49.6	岐阜 49.2
24 名古屋 49.8	福岡 49.9	水戸 49.3	鳥取 49.3	札幌 49.9	大分 49.8	C大阪 49.3	京都 49.2
25 大宮 49.6	京都 49.8	新潟 49.0	甲府 49.3	鳥栖 49.5	甲府 49.7	F東京 49.2	清水 49.0
26 神戸 49.5	町田 49.8	熊本 49.0	福岡 49.2	岡山 49.5	熊本 49.7	柏 49.1	磐田 48.6
27 東京V 49.3	鳥栖 49.7	松本 48.9	山形 49.2	大宮 49.4	横浜FC 49.6	大宮 48.6	福岡 48.4
28 群馬 49.0	甲府 49.7	長崎 48.8	徳島 49.1	松本 49.1	岐阜 49.3	愛媛 48.6	大宮 48.4
29 京都 48.8	湘南 49.6	山形 48.6	大宮 49.1	群馬 48.9	札幌 49.3	清水 48.4	柏 48.3
30 山形 48.8	水戸 49.5	京都 48.6	町田 48.7	山形 48.7	水戸 49.3	G大阪 48.1	C大阪 48.3
31 大分 48.8	大宮 49.4	大宮 48.6	岐阜 48.7	松本 48.7	松本 49.1	京都 48.0	富山 48.2
32 北九州 48.2	大分 49.2	札幌 48.5	群馬*1 48.6	水戸 48.4	大宮 49.1	千葉 47.9	名古屋 47.6
33 徳島 48.2	徳島 48.6	栃木 48.4	湘南 48.6	鳥取 48.1	栃木 48.7	鹿島 47.7	千葉 47.3
34 長崎 48.0	鳥取 48.0	清水 48.3	京都 48.5	愛媛 48.0	群馬 48.5	群馬 47.3	群馬*1 46.9
35 水戸 47.6	富山 47.4	富山 48.0	栃木 48.1	北九州 47.8	群馬*1 48.5	浦和 46.1	鹿島 46.6
36 愛媛 47.3	北九州 47.1	群馬 47.8	愛媛 48.1	長崎 47.6	愛媛 48.4	名古屋 46.1	浦和 46.4
37 栃木 47.2	群馬*1 46.9	愛媛 47.6	富山 47.3	京都 47.6	町田 47.8	横浜FM 46.1	G大阪 46.4
38 岐阜 46.8	徳島 46.9	愛媛 47.5	北九州 46.9	岐阜 47.3	鳥取 47.7	磐田 46.0	横浜FC 46.4
39 富山 46.7	岐阜 46.4	北九州 47.4	新潟 46.7	徳島 47.3	北九州 46.9	横浜FC 45.9	横浜FM 46.3
40 鳥取 46.2	富山 45.1	岐阜 46.2	札幌 46.3	富山 47.0	富山 46.4	東京V 44.4	東京V 44.2

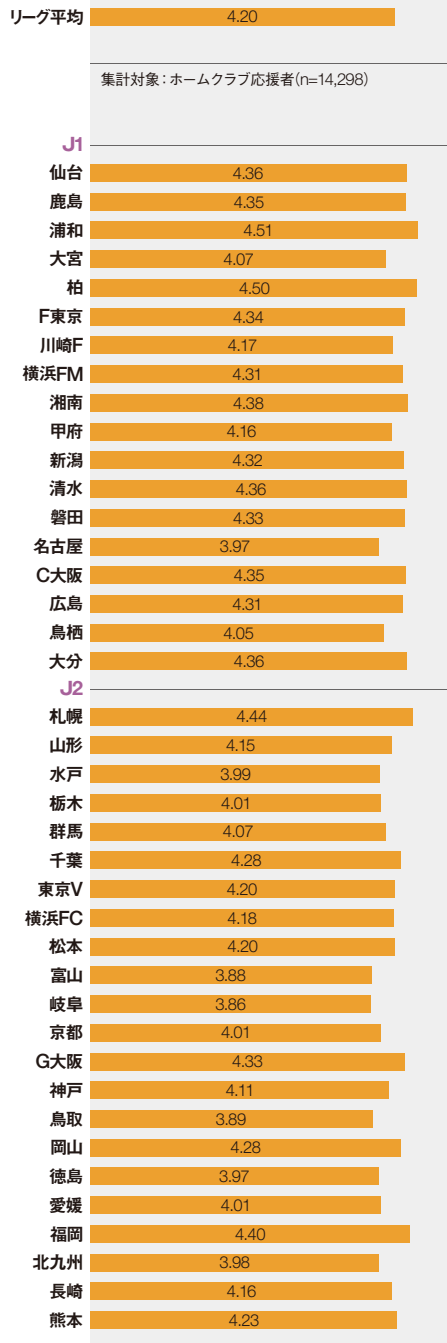
\*数値は、5段階評定尺度(大いにてはまる:5~まったくあてはまらない:1)で求めたスコアを偏差値換算したもの  
\*1 呼称変更に伴い表記を群馬に統一





	周囲で話題になっているから				レジャーとして				友人・家族に誘われたから				チケットをもらったから			
	2013		2012		2013		2012		2013		2012		2013		2012	
1	松本	56.0	鳥栖	55.6	松本	51.8	仙台	52.3	長崎	53.3	仙台	53.2	北九州	54.3	北九州	54.0
2	鳥栖	55.6	松本	55.4	岡山	51.8	鳥栖	52.3	鳥栖	52.7	広島	53.0	岐阜	54.1	新潟	53.5
3	長崎	54.5	大分	54.7	広島	51.7	岡山	52.2	広島	52.6	鳥栖	52.7	川崎F	53.4	愛媛	53.2
4	岡山	53.6	仙台	54.3	神戸	51.7	神戸	52.1	松本	51.6	名古屋	52.6	水戸	52.6	京都	52.8
5	広島	53.5	甲府	53.4	C大阪	51.7	川崎F	51.7	仙台	51.5	柏	52.5	新潟	52.1	広島	52.8
6	鳥取	52.8	岡山	53.3	熊本	51.6	松本	51.6	鳥取	51.5	松本	52.1	清水	51.9	大分	52.7
7	甲府	52.7	山形	52.4	仙台	51.6	甲府	51.4	岡山	51.3	大分	52.0	愛媛	51.8	岐阜	52.5
8	仙台	52.5	名古屋	52.3	新潟	51.4	F東京	51.3	川崎F	51.3	愛媛	51.8	神戸	51.8	福岡	51.5
9	大分	51.4	広島	52.1	F東京	51.4	名古屋	51.3	名古屋	51.2	甲府	51.7	大分	51.7	栃木	51.4
10	栃木	51.2	熊本	51.6	長崎	51.3	熊本	51.0	徳島	51.2	清水	51.6	徳島	51.5	富山	51.1
11	熊本	50.8	磐田	51.0	川崎F	50.9	町田	50.9	神戸	51.1	岡山	51.3	富山	51.2	水戸	51.1
12	新潟	50.8	栃木	51.0	鳥栖	50.7	C大阪	50.7	愛媛	51.1	磐田	50.9	徳島	51.1	清水	50.8
13	徳島	50.6	柏	50.9	鹿島	50.7	広島	50.7	甲府	50.8	北九州	50.6	京都	51.0	松本	50.4
14	川崎F	50.4	清水	50.9	湘南	50.6	磐田	50.6	水戸	50.8	富山	50.5	鳥取	51.0	川崎F	50.3
15	山形	50.3	徳島	50.8	福岡	50.6	大分	50.5	栃木	50.7	徳島	50.1	広島	50.6	鳥栖	50.3
16	水戸	50.1	鳥取	50.6	水戸	50.5	G大阪	50.4	京都	50.7	F東京	49.9	松本	50.6	熊本	50.2
17	C大阪	50.0	町田	50.6	柏	50.5	柏	50.4	清水	50.5	川崎F	49.8	熊本	50.5	名古屋	50.1
18	G大阪	49.8	京都	50.5	栃木	50.5	水戸	50.4	大分	50.5	京都	49.7	長崎	50.4	C大阪	50.0
19	名古屋	49.8	岐阜	50.2	甲府	50.4	鳥取	50.3	山形	50.5	栃木	49.7	鳥栖	50.2	湘南	49.8
20	柏	49.7	愛媛	50.1	北九州	50.3	徳島	50.1	C大阪	50.5	岐阜	49.7	名古屋	50.1	甲府	49.8
21	磐田	49.5	C大阪	49.7	G大阪	49.9	北九州	50.1	G大阪	50.3	熊本	49.7	甲府	50.0	鳥取	49.8
22	清水	49.0	水戸	49.5	徳島	49.8	千葉	50.0	鹿島	50.2	水戸	49.4	鹿島	49.5	町田	49.7
23	京都	48.9	北九州	49.5	大宮	49.8	清水	50.0	北九州	50.2	湘南	49.3	千葉	49.2	群馬*	49.6
24	神戸	48.8	川崎F	49.3	千葉	49.7	湘南	49.8	岐阜	50.2	鳥取	49.2	札幌	49.1	仙台	49.5
25	鹿島	48.7	F東京	49.3	大分	49.7	鹿島	49.6	富山	49.7	富山	49.7	横浜FM	49.2	山形	49.0
26	富山	48.6	湘南	49.1	札幌	49.7	大宮	49.5	磐田	49.7	群馬*	49.2	仙台	49.0	神戸	49.3
27	横浜FM	48.6	横浜FM	48.5	横浜FM	49.6	岐阜	49.4	新潟	49.5	鹿島	49.2	G大阪	49.0	柏	49.2
28	岐阜	48.5	新潟	48.5	名古屋	49.4	京都	49.4	札幌	49.2	福岡	49.1	C大阪	48.9	F東京	49.2
29	湘南	48.5	群馬*	48.4	岐阜	49.2	横浜FM	49.4	熊本	49.0	大宮	49.0	福岡	48.8	横浜FC	49.1
30	北九州	48.5	千葉	48.1	清水	49.0	栃木	49.4	柏	49.0	C大阪	48.9	大宮	48.7	磐田	49.0
31	愛媛	48.4	大宮	48.1	京都	48.9	愛媛	49.3	横浜FM	48.9	神戸	48.9	F東京	48.6	大宮	48.9
32	F東京	48.3	鹿島	47.9	東京V	48.6	新潟	49.1	福岡	48.5	浦和	48.7	横浜FM	48.6	札幌	48.7
33	東京V	48.2	浦和	47.9	山形	48.6	群馬*	48.7	千葉	48.4	横浜FC	48.6	磐田	48.5	東京V	48.3
34	千葉	48.1	富山	47.7	富山	48.5	山形	48.6	大宮	48.1	町田	48.6	横浜FC	48.1	千葉	48.3
35	札幌	48.1	神戸	47.5	鳥取	48.5	福岡	48.5	F東京	47.9	新潟	48.5	東京V	48.1	岡山	48.0
36	浦和	48.0	G大阪	47.3	愛媛	48.4	横浜FC	48.4	浦和	47.9	G大阪	48.4	湘南	48.0	横浜FM	47.9
37	大宮	47.4	東京V	46.7	横浜FC	48.1	東京V	48.3	群馬	47.0	山形	48.3	岡山	48.0	山形	47.5
38	群馬	47.0	横浜FC	45.7	磐田	47.8	富山	47.6	東京V	46.9	千葉	48.2	群馬	48.0	鹿島	47.5
39	福岡	46.0	札幌	45.4	群馬	46.4	札幌	46.8	湘南	46.9	札幌	47.5	柏	47.2	G大阪	47.5
40	横浜FC	44.8	福岡	45.1	浦和	46.0	浦和	45.6	横浜FC	46.6	東京V	47.1	浦和	46.0	浦和	47.1

## 31 チームアイデンティフィケーション\*



### 浦和、柏、札幌、福岡が高い傾向。

◀観戦者のチームアイデンティフィケーションはとても強く、平均で4.20(5点満点)となっていた。J1では、浦和(4.51)、柏(4.50)に高い傾向、名古屋(3.97)に低い傾向がみられた。J2では、札幌(4.44)、福岡(4.40)に高い傾向、岐阜(3.86)、富山(3.88)、鳥取(3.89)に低い傾向がみられた。

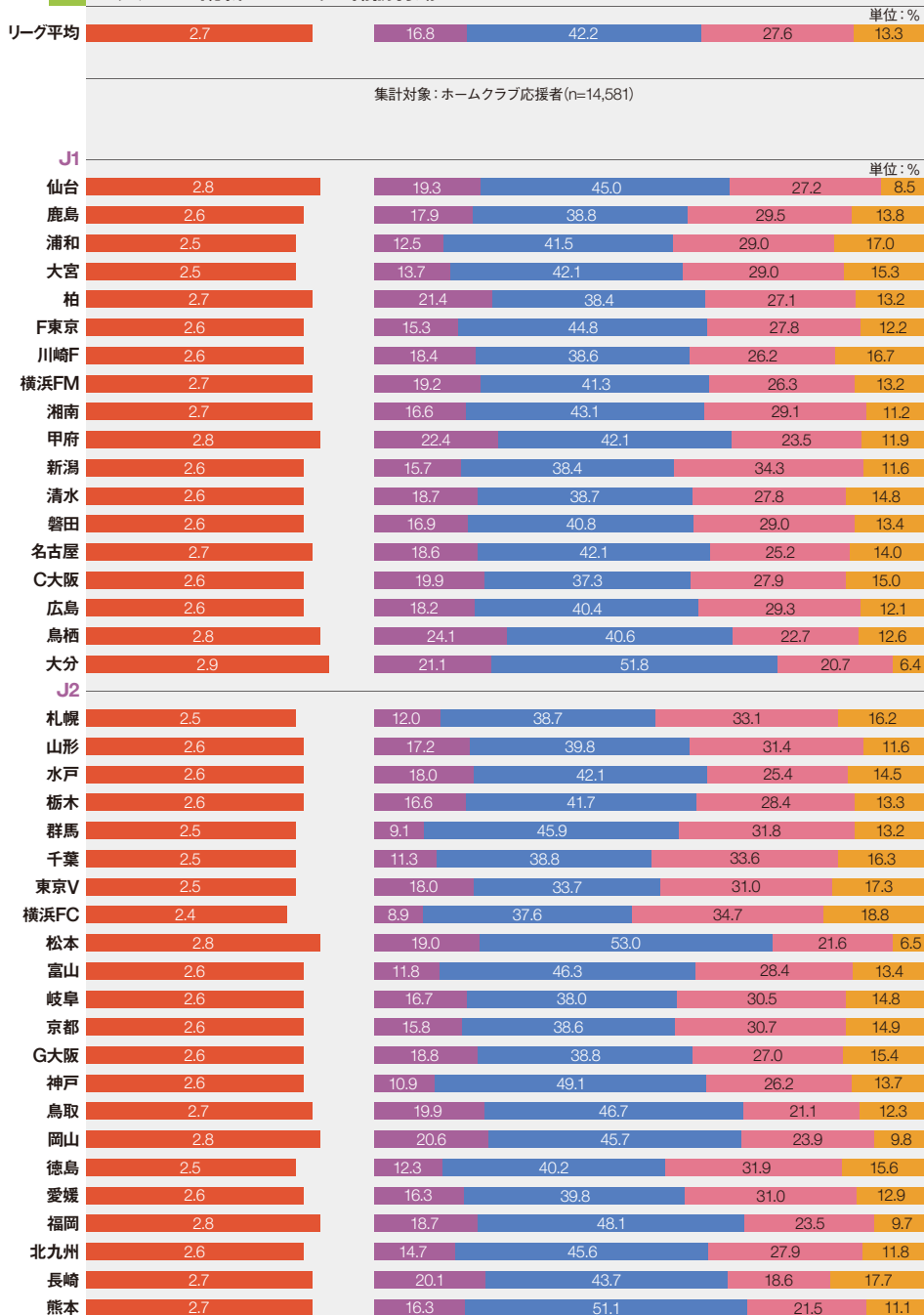
\*チームアイデンティフィケーションは、次の3項目の問いに対する答えを5段階評定尺度(大いこあてはまる:5～まったくあてはまらない:1)で求めたスコアの平均値

問1:自分のことを真のクラブファンだと思う

問2:もしクラブファンをやめなければならぬとしたら、喪失感を味わうだろう

問3:クラブのファンであることは、とても重要である

### 32 スタジアム観戦についての勧誘行動



**59.0% (よく誘う+時々誘う)の人がJリーグ観戦に誘っている。**

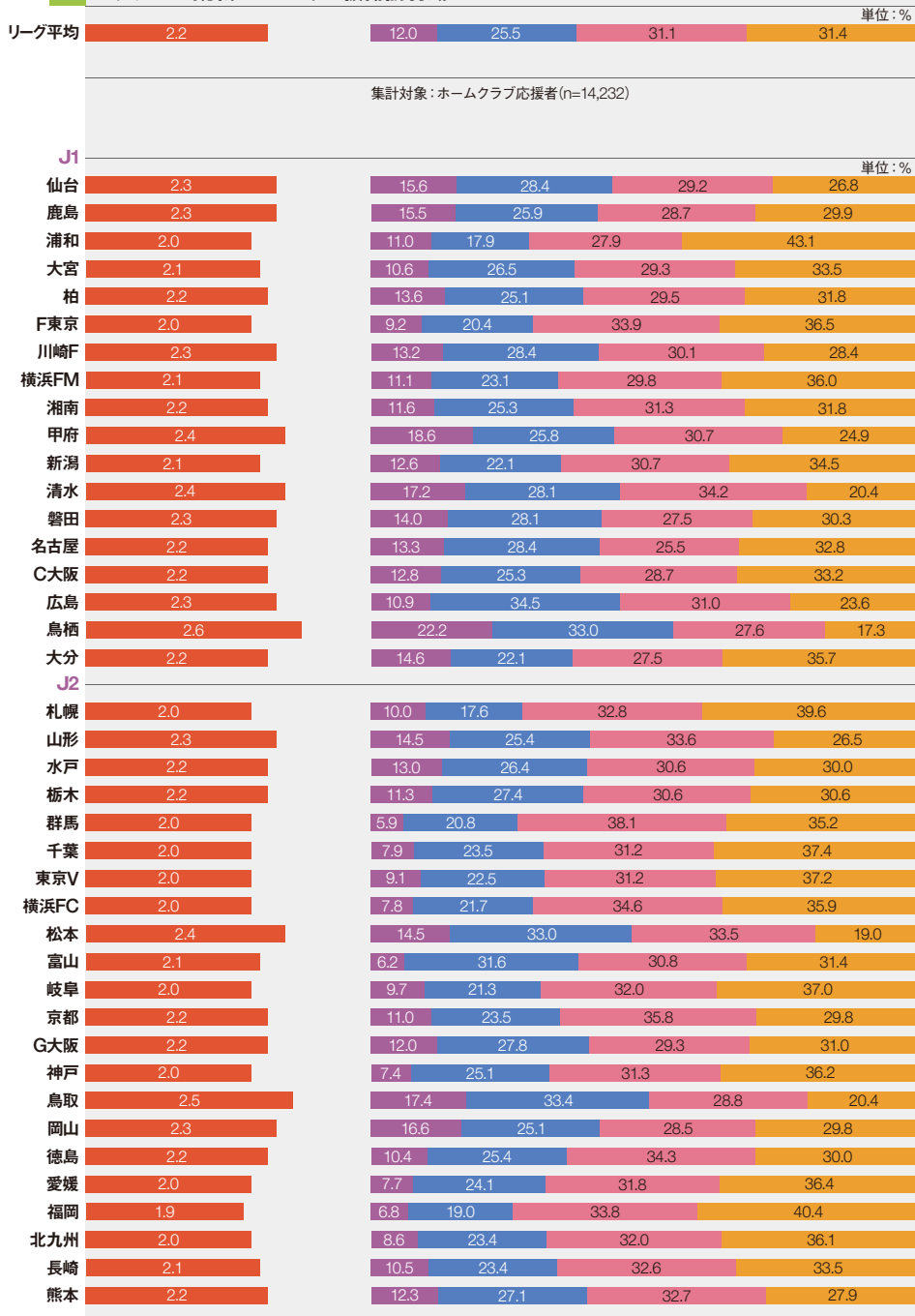
▶▶ 周囲の人をJリーグ観戦に誘う勧誘行動については、「よく誘う」(16.8%)と「時々誘う」(42.2%)を合わせ、59.0%の観戦者が勧誘行動をしていた。特に大分(2.9)の観戦者に、勧誘行動が活発である傾向がみられた。

\*平均値は、4段階評定尺度(よく誘う：4～まったく誘わない：1)で求めたスコア

■ よく誘う  
■ 時々誘う  
■ あまり誘わない  
■ まったく誘わない

集計対象：ホームクラブ応援者(n=14,581)

### 33 スタジアム観戦についての被勧誘行動



**37.5%**  
**(よく誘われる+**  
**時々誘われる)の人が**  
**Jリーグ観戦に**  
**誘われている。**

◀◀ 周りからJリーグ観戦に誘われる被勧誘行動については、「よく誘われる」(12.0%)と「時々誘われる」(25.5%)を合わせ、37.5%の観戦者が周囲の人から観戦に誘われていた。特に、鳥栖(2.6)でそのスコアが高く、福岡(1.9)、浦和、F東京、札幌、群馬、千葉、東京V、横浜FC、岐阜、神戸、愛媛、北九州(2.0)では低くなっていた。

\*平均値は、4段階評定尺度  
 (よく誘われる：4～  
 まったく誘われない：1)で  
 求めたスコア

■ よく誘われる  
 ■ 時々誘われる  
 ■ あまり誘われない  
 ■ まったく誘われない

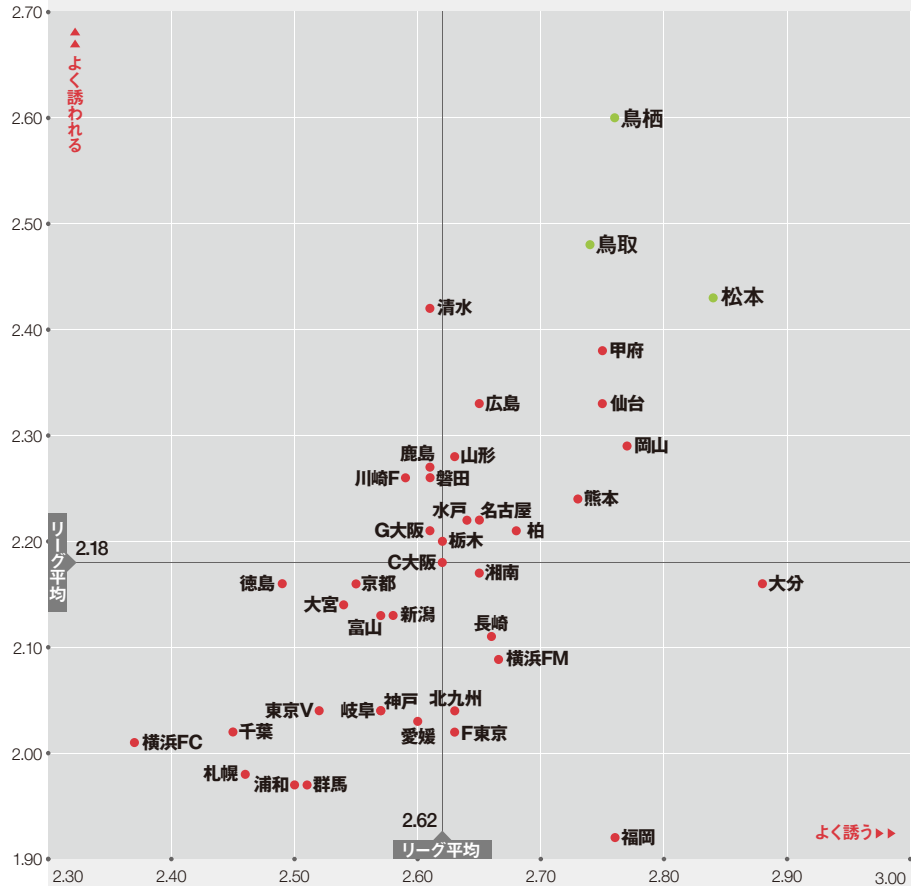
集計対象：ホームクラブ応援者(n=14,232)

### 34 スタジアム観戦の勧誘・被勧誘行動プロット

集計対象：ホームクラブ応援者(n=14,232)

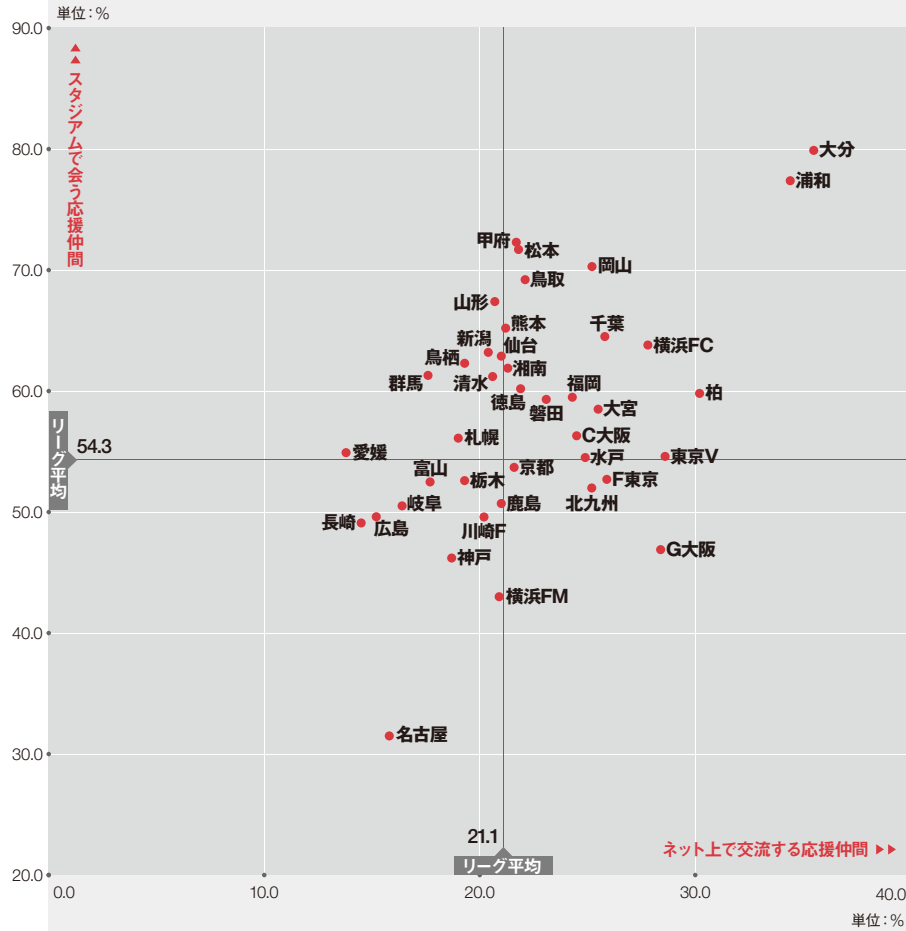
#### よく誘い合うのは 鳥栖、鳥取、松本。

▶▶ 勧誘行動(P35)と被勧誘行動(P36)の関係から、各クラブをプロットした。これを見ると、鳥栖、鳥取、松本の観戦者が観戦によく誘い合っていることがみてとれる。



\*平均値は、4段階評定尺度  
(よく誘う：4～まったく誘わない：1)および  
(よく誘われる：4～まったく誘われない：1)  
で求めたスコア

集計対象：ホームクラブ応援者(n=14,356)



**54.3%**に「スタジアムで会う応援仲間」が、**21.1%**に「ネット上で交流する仲間」がいる。

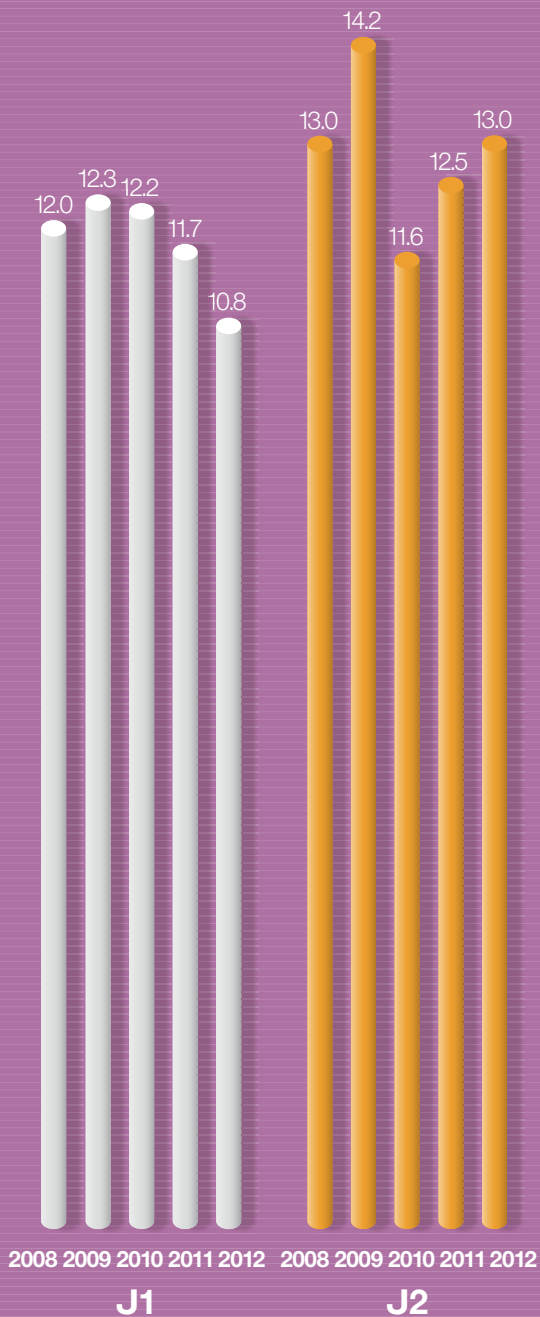
◀◀「スタジアムで会う応援仲間」がいるとする割合はリーグ平均で54.3%だった。大分(79.9%)、浦和(77.4%)、甲府(72.3%)、松本(71.7%)でその割合が高い傾向、名古屋(31.5%)、横浜FM(43.0%)で低い傾向がみられた。また、ソーシャルメディアなどの「ネット上で交流する仲間」がいるとする割合はリーグ平均で21.1%だった。大分(35.5%)、浦和(34.3%)でその割合が高い傾向にある。



スタジアムに足を運ぶ人たちは、  
試合の情報をどのように入手し、  
どのくらいの頻度で誰とどこからやってくるのか。

## J1・J2観戦頻度\*

単位：回



### J1の低下傾向、 J2の増加傾向 ともに変わらず。

◀◀ J1の低下傾向は2012シーズンも続いた。J2は、2011シーズンと比べて0.5%増え、13.0回/シーズンとなり、増加傾向は変わらない。J2の試合数の変化は以下の通り。

2012：42試合  
2011：38試合  
2010：36試合  
2009：51試合  
2008：42試合

集計対象：J1全回答者  
(2012 n=7,329 / 2011 n=6,965  
2010 n=7,768 / 2009 n=7,785  
2008 n=7,782)  
J2全回答者  
(2012 n=8,407 / 2011 n=7,417  
2010 n=7,417 / 2009 n=6,981  
2008 n=5,790)  
\*各調査年における前シーズンの  
観戦実績についての設問



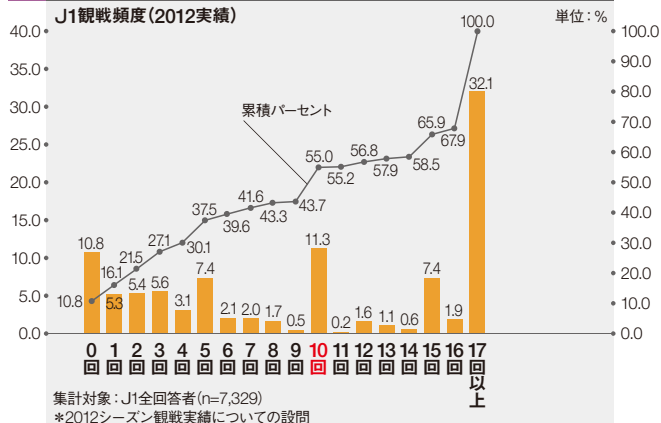


## J1は「10回」、 J2は「12回」が スタジアム観戦の 中央値。

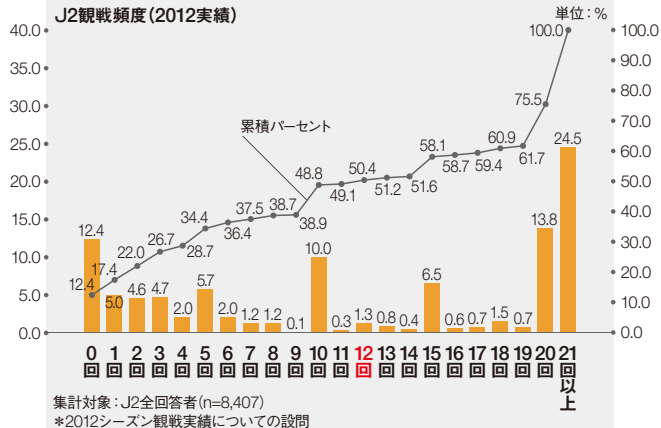
▶▶J1の観戦者の32.1%が「17回以上／シーズン」、J2の観戦者の24.5%が「21回以上／シーズン」スタジアム観戦すると回答。J1は「10回」、J2は「12回」が年間観戦頻度の中央値となった。

### 37 観戦頻度(2012シーズン実績\*)

J1観戦頻度(2012実績)



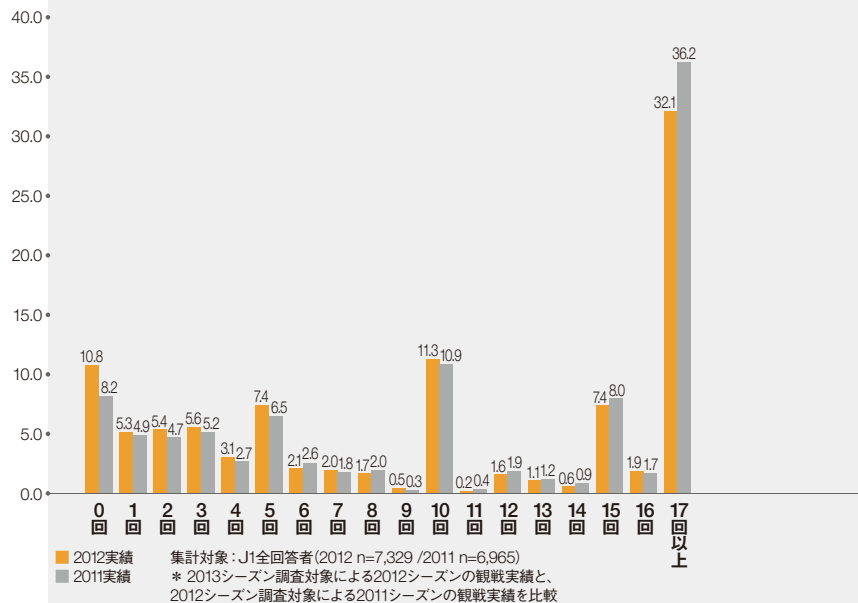
J2観戦頻度(2012実績)



### 38 観戦頻度(2011/2012比較\*)

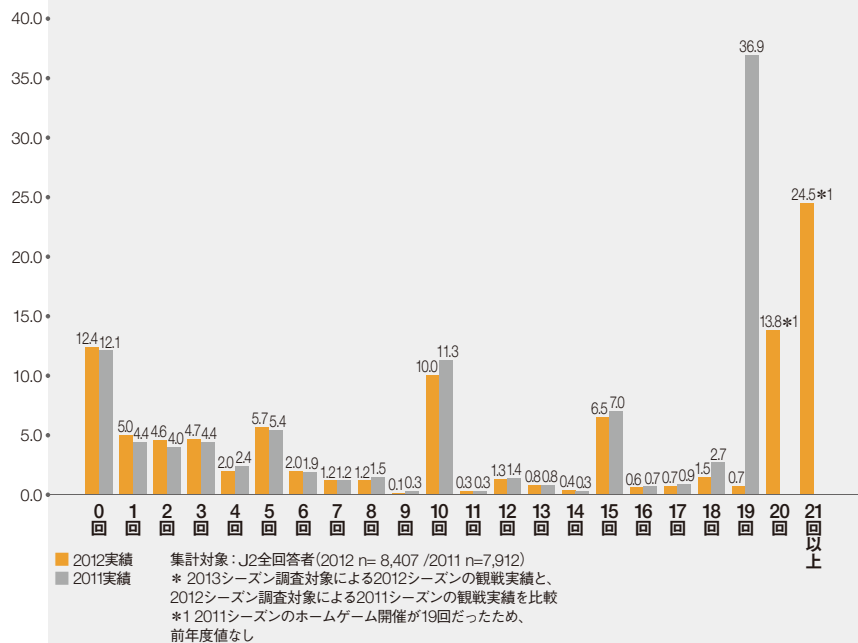
J1観戦頻度(2011/2012比較)

単位：%

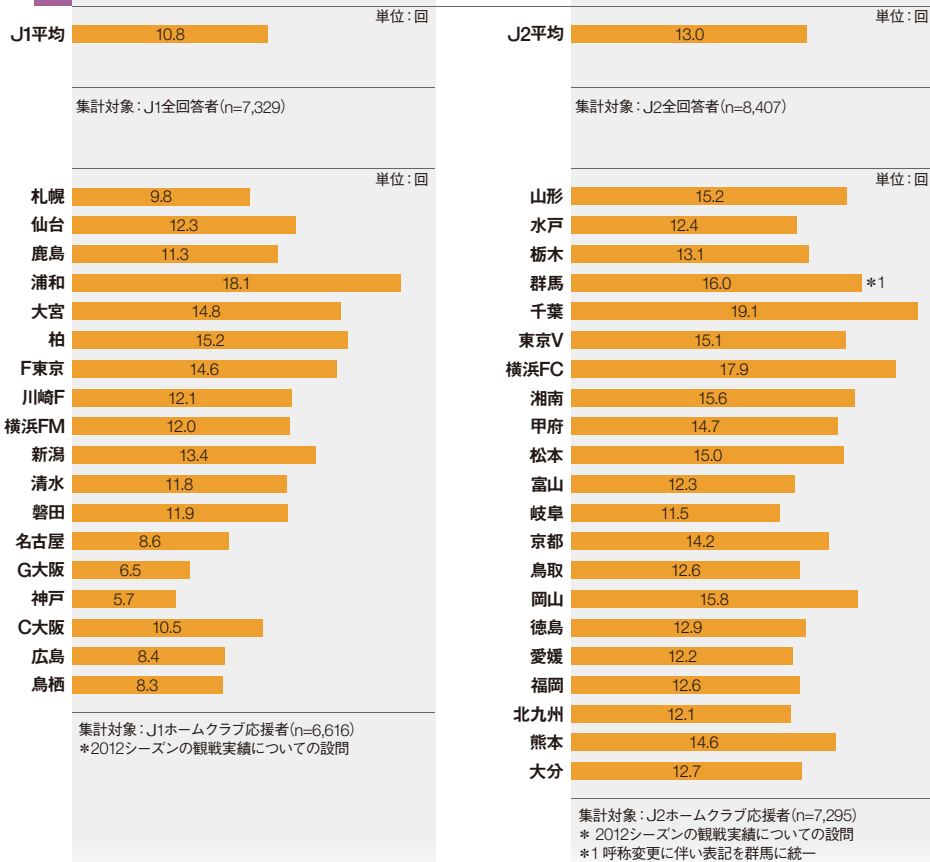


J2観戦頻度(2011/2012比較)

単位：%



## 39 平均観戦頻度(2012シーズン実績\*・クラブ別)

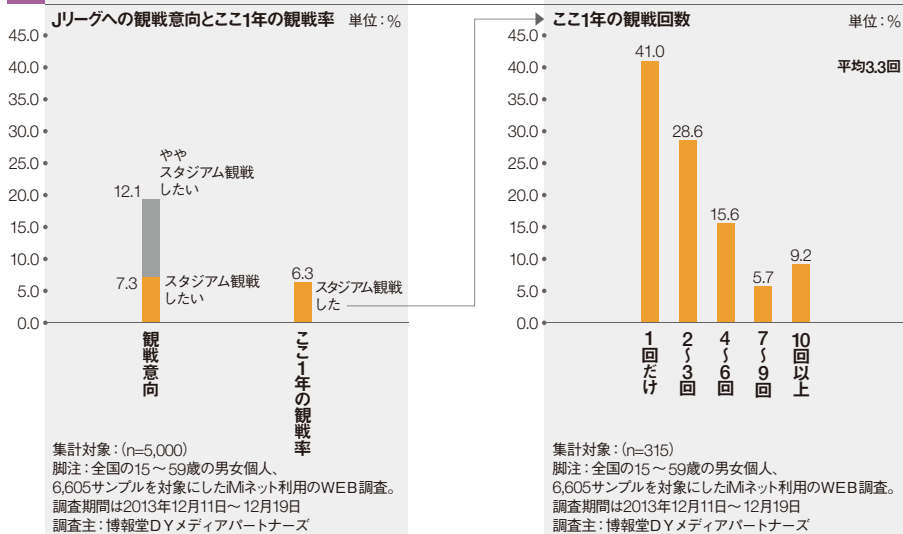
J1平均「10.8回／年」  
J2平均「13.0回／年」。

▶▶年間平均観戦頻度は、J1観戦者が「10.8回」、J2観戦者が「13.0回」。J1では、浦和(18.1回)、柏(15.2回)の平均観戦頻度が、J2では、千葉(19.1回)、横浜FC(17.9回)、群馬(16.0回)の平均観戦頻度が高かった。J2の平均観戦頻度は年々増加する傾向がみえてくる(2010：11.6回、2011：12.5回)。

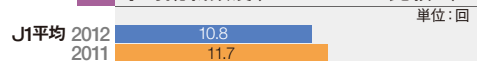
一般調査では、  
1回以上／年  
観戦した人は6.3%。  
平均観戦頻度は  
3.3回／年。

▶▶一般生活者を対象にした全国調査(脚注参照)によれば、過去1年間にJリーグをスタジアムで観戦した人の割合は6.3%、その平均観戦頻度は3.3回である。また、一般生活者において、Jリーグへの観戦意向がある人の割合は19.4%だった。

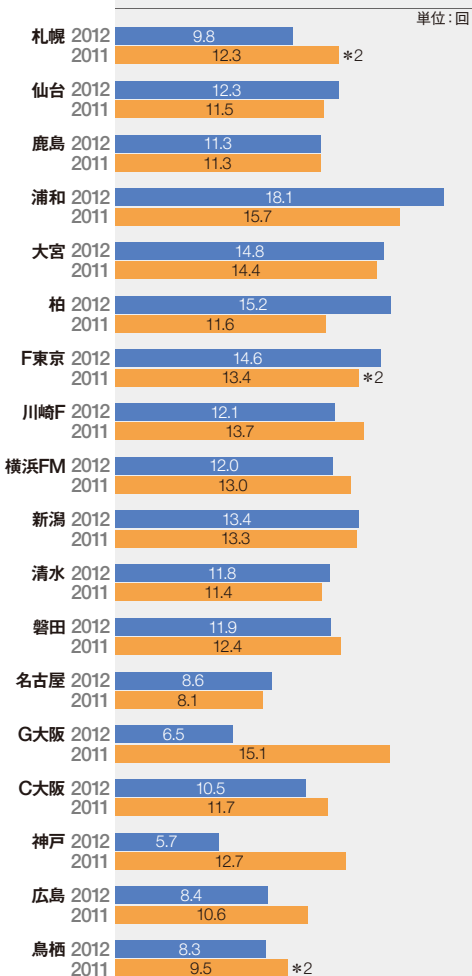
## 40 Jリーグのスタジアム観戦率



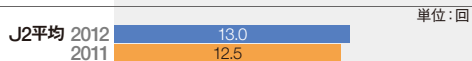
## 41 平均観戦頻度(2011/2012比較\*1)



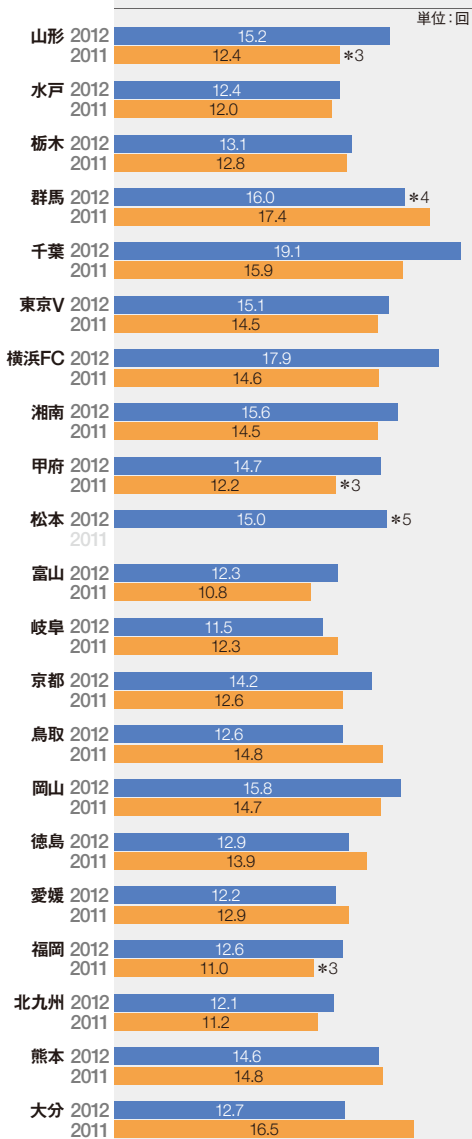
集計対象: J1全回答者(2012 n=7,329 / 2011 n=6,965)



集計対象: J1ホームクラブ応援者  
(2012 n=6,616 / 2011 n=6,288)  
\*1 2013シーズンの調査対象による  
2012シーズン観戦実績と、2012シーズンの  
調査対象による2011シーズンの観戦実績を比較  
\*2 札幌、F東京、鳥栖は2011シーズン、J2に所属

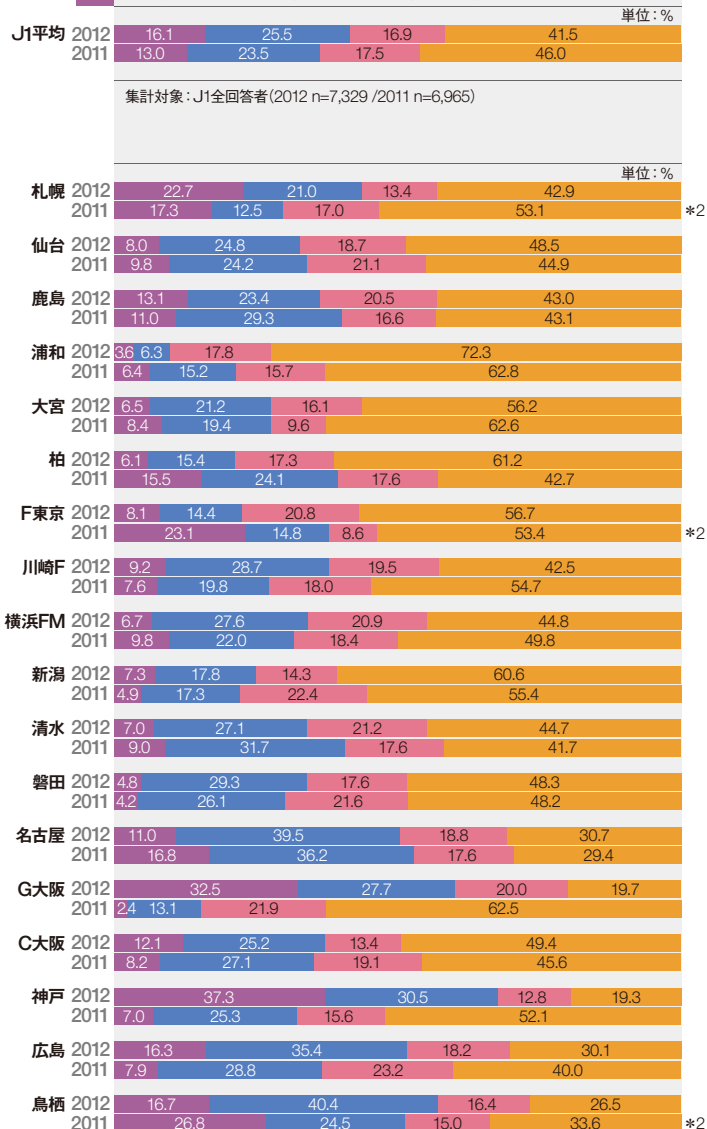


集計対象: J2全回答者(2012 n=8,047 / 2011 n=7,912)



集計対象: J2ホームクラブ応援者  
(2012 n=7,295 / 2011 n=6,374)  
\*1 2013シーズンの調査対象による  
2012シーズン観戦実績と、2012シーズンの  
調査対象による2011シーズンの観戦実績を比較  
\*3 山形、甲府、福岡は2011シーズン、J1に所属  
\*4 呼称変更に伴い表記を群馬に統一  
\*5 松本は2012シーズンよりJ1リーグ入会

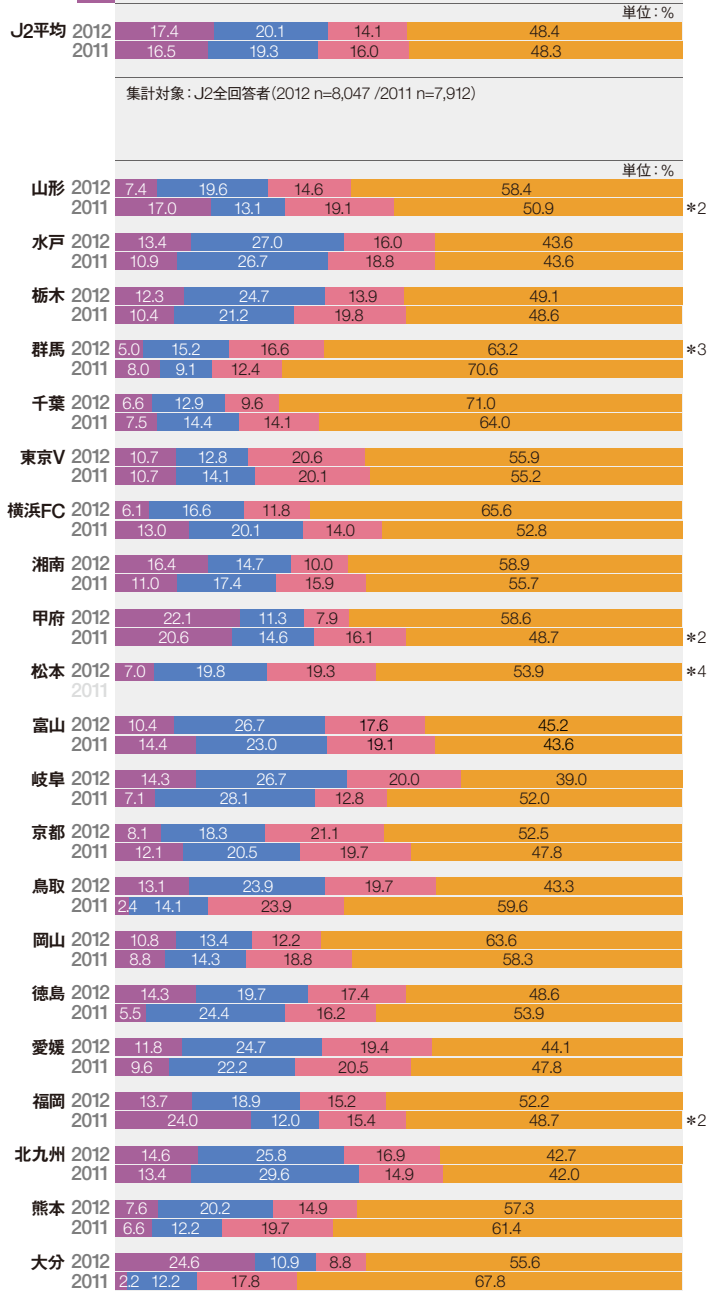
## 42 J1観戦頻度分布(2011/2012比較\*1)



■ 0~1回      集計対象：J1ホームクラブ応援者  
■ 2~7回      (2012 n=6,616 / 2011 n=6,288)  
■ 8~14回      \*1 2013シーズンの調査対象による2012シーズン観戦実績と、  
■ 15回以上    2012シーズンの調査対象による2011シーズンの観戦実績を比較  
 \*2 札幌、F東京、鳥栖は2011シーズン、J2に所属



### 43 J2観戦頻度分布(2011/2012比較\*1)



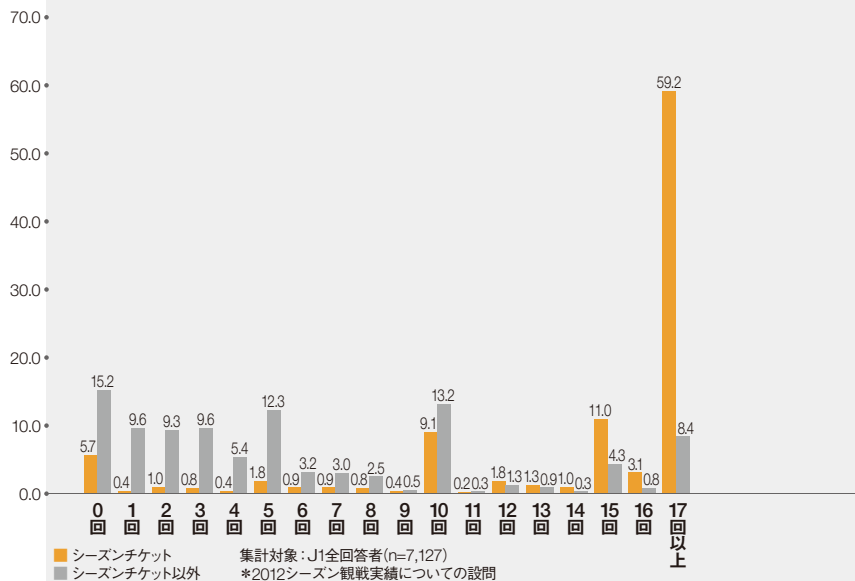
■ 0~1回    集計対象：J2ホームクラブ応援者(2012 n=7,295 / 2011 n=6,374)  
■ 2~7回    \*1 2013シーズンの調査対象による2012シーズン観戦実績と、  
■ 8~14回    2012シーズンの調査対象による2011シーズンの観戦実績を比較  
■ 15回以上    \*2 山形、甲府、福岡は2011シーズン、J1に所属  
                   \*3 呼称変更に伴い表記を群馬に統一  
                   \*4 松本は2012シーズンよりJ1リーグに加入



## 44 観戦頻度(チケット種別\*)

J1観戦頻度(2012実績)

単位: %

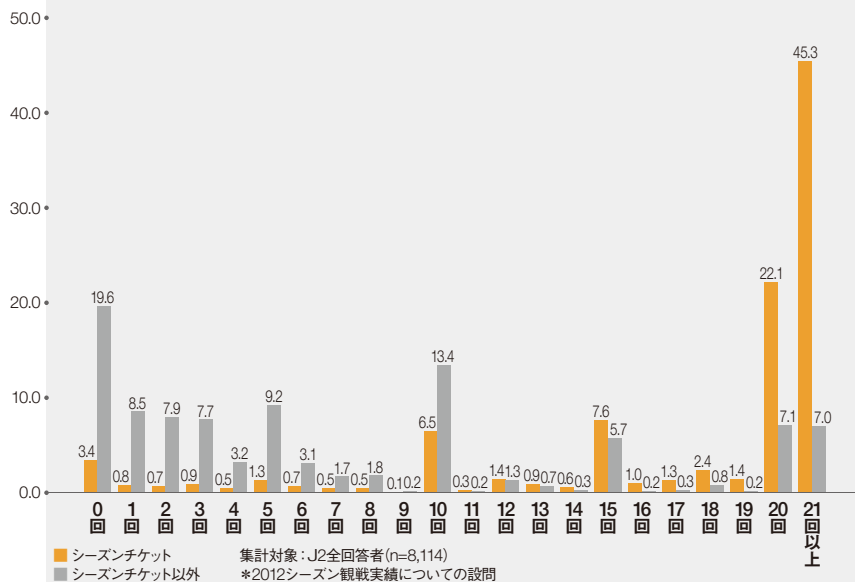


### シーズンチケット所有者は観戦頻度が顕著に高い。

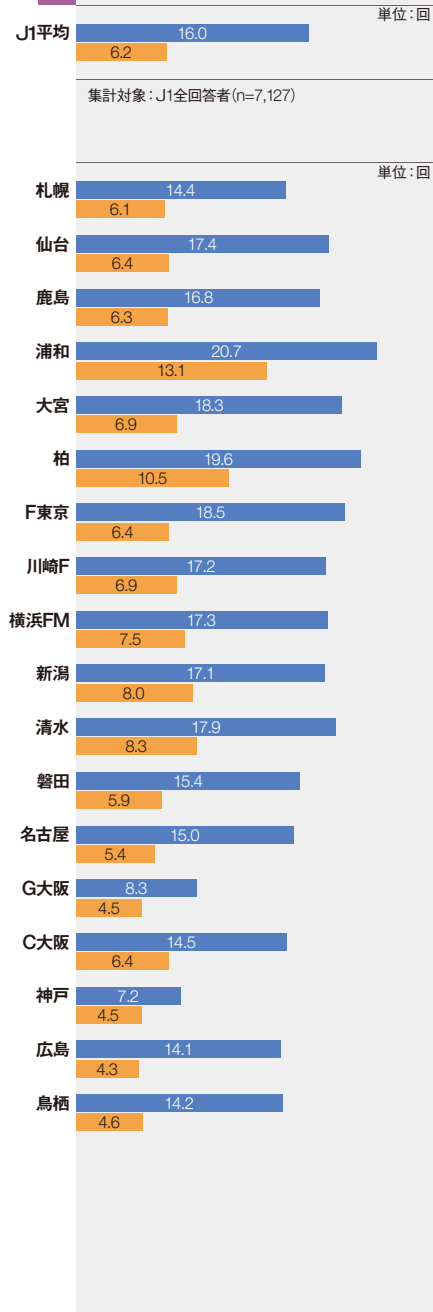
▶▶シーズンチケット所有者とシーズンチケットをもたない観戦者を比べると、J1においてはシーズンチケット所有者の方が「17回以上」とする割合(59.2% vs 8.4%)が、またJ2においても同様に「21回以上」とする割合(45.3% vs 7.0%)が顕著に高くなっていた。

J2観戦頻度(2012実績)

単位: %

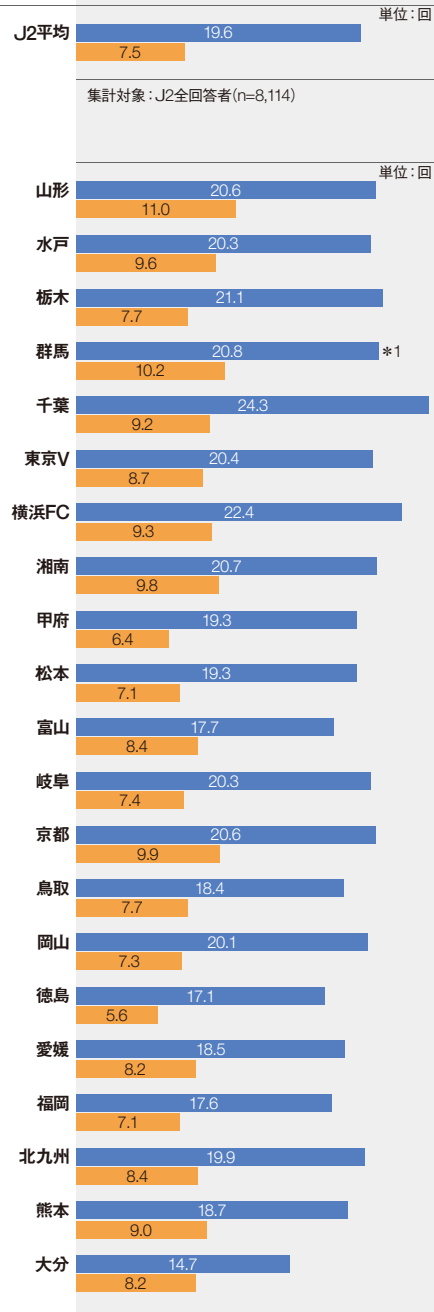


## 45 平均観戦頻度(チケット種別\*)



■ シーズンチケット  
 ■ シーズンチケット以外

集計対象：  
 J1ホームクラブ応援者  
 (n=6,445)  
 \*2012シーズン  
 観戦実績についての設問



■ シーズンチケット  
 ■ シーズンチケット以外

集計対象：  
 J2ホームクラブ応援者  
 (n=7,057)  
 \*2012シーズン  
 観戦実績についての設問  
 \*1 呼称変更に伴い  
 表記を群馬に統一

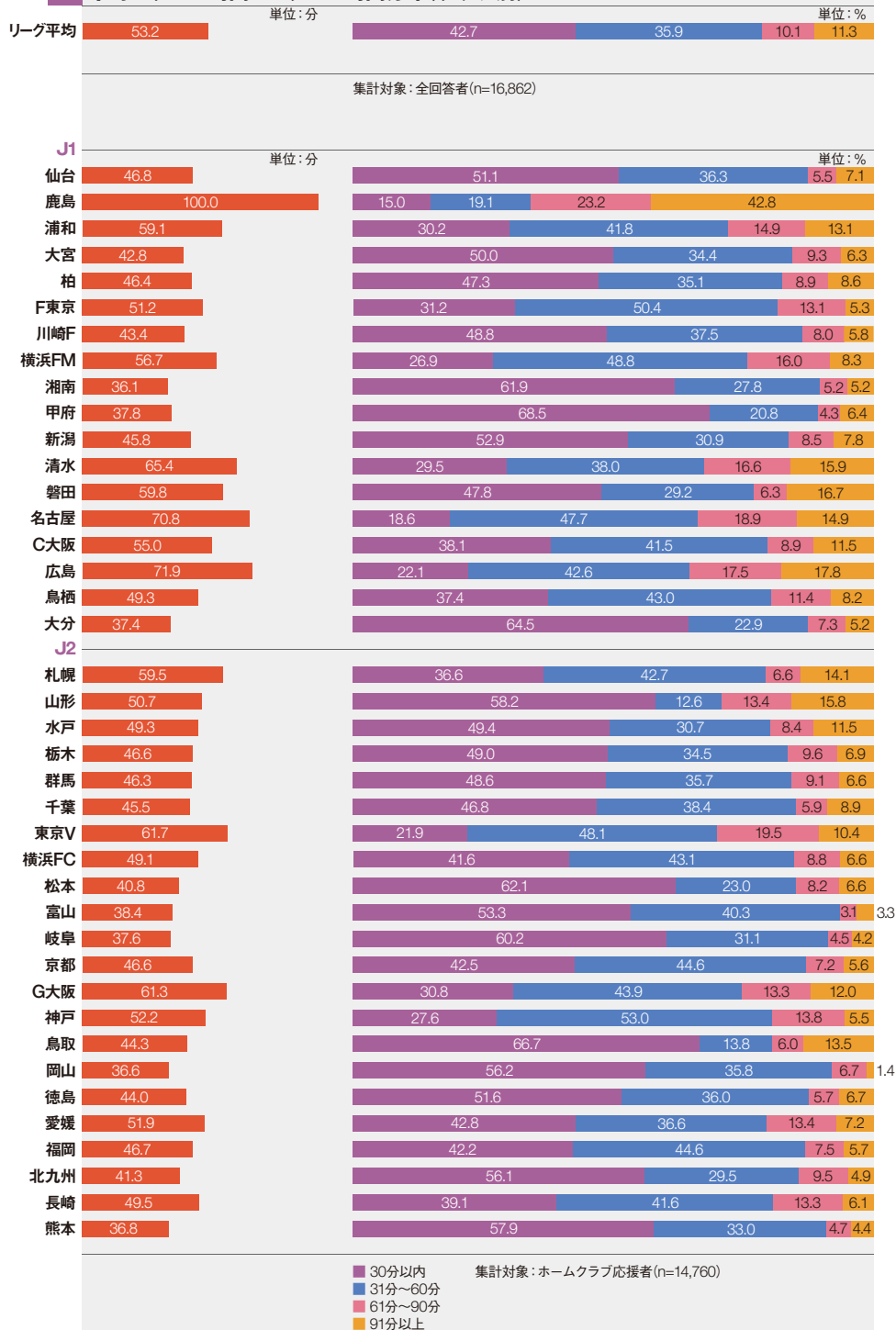
### シーズンチケット 所有者の平均観戦回数 J1「16.0回」、 J2「19.6回」。

◀◀ シーズンチケット所有者と  
 シーズンチケットをもたない観  
 戦者とで比較すると、シーズン  
 チケット所有者の平均観戦回  
 数が顕著に高いことがわかる。

（ J1：16.0回 vs 6.2回  
 J2：19.6回 vs 7.5回 ）



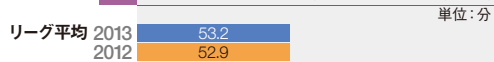
## 46 平均アクセス時間・アクセス時間分布(クラブ別)



### スタジアムまでかかる時間は平均53.2分。

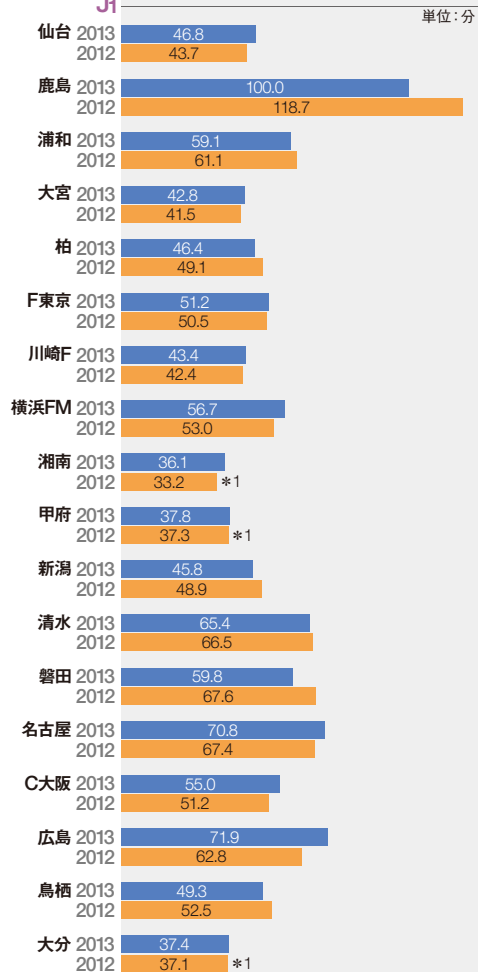
▶▶観戦者全体のスタジアムへの平均のアクセス時間は、53.2分。アクセス時間分布をみると、60分以内が78.6%で、うち30分以内の割合が42.7%であった。クラブ別では、鹿島(100.0分)のアクセス時間が長い傾向にあり、湘南(36.1分)、岡山(36.6分)、熊本(36.8分)は短時間でアクセスできていることがわかる。

## 47 平均アクセス時間(2012/2013比較)

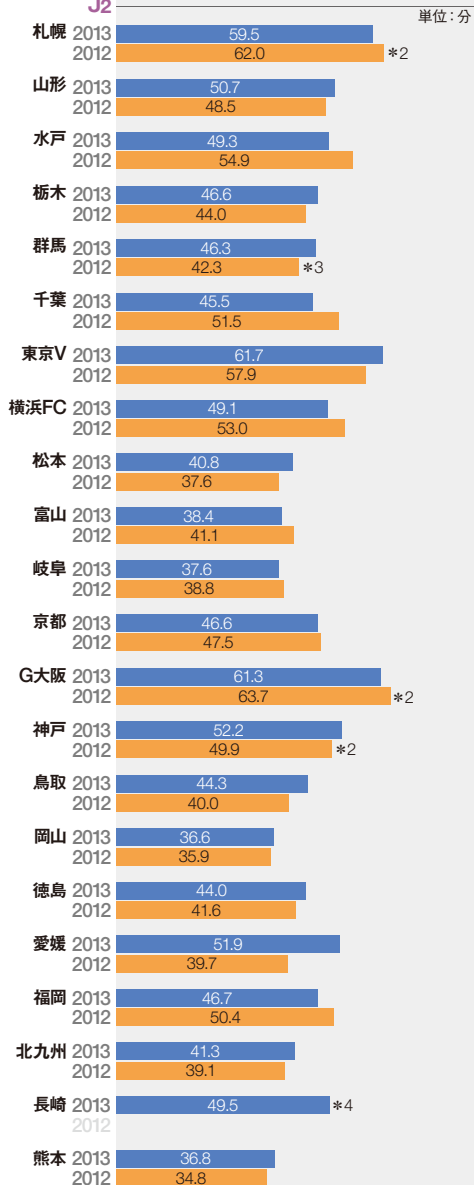


集計対象: 全回答者(2013 n=16,862 /2012 n=16,549)

### J1



### J2

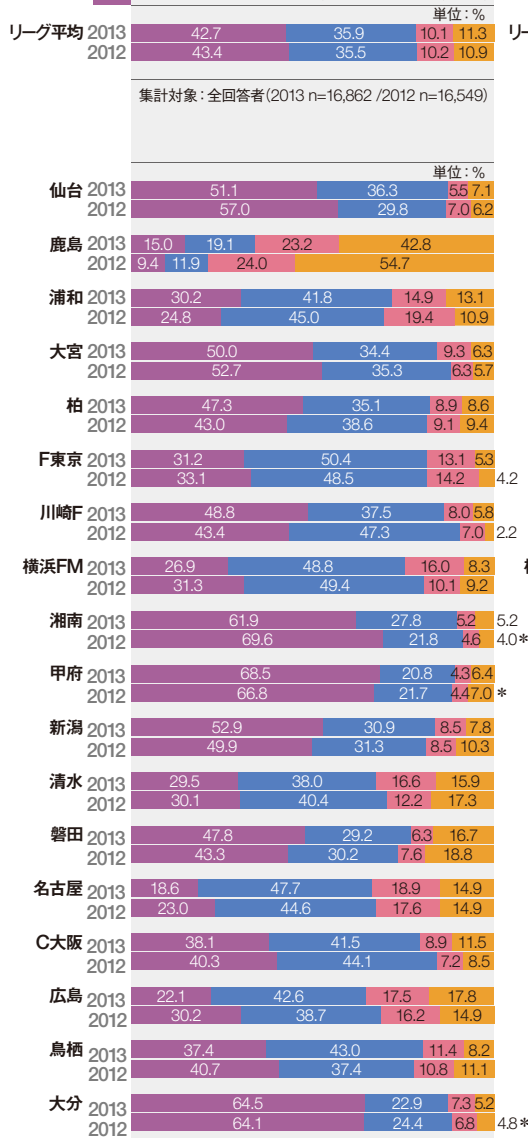


集計対象: ホームクラブ応援者  
(2013 n=14,760 /2012 n=14,466)

- \*1 湘南、甲府、大分は2012シーズン、J2に所属
- \*2 札幌、G大阪、神戸は2012シーズン、J1に所属
- \*3 呼称変更に伴い表記を群馬に統一
- \*4 長崎は2013シーズンよりJリーグに入会

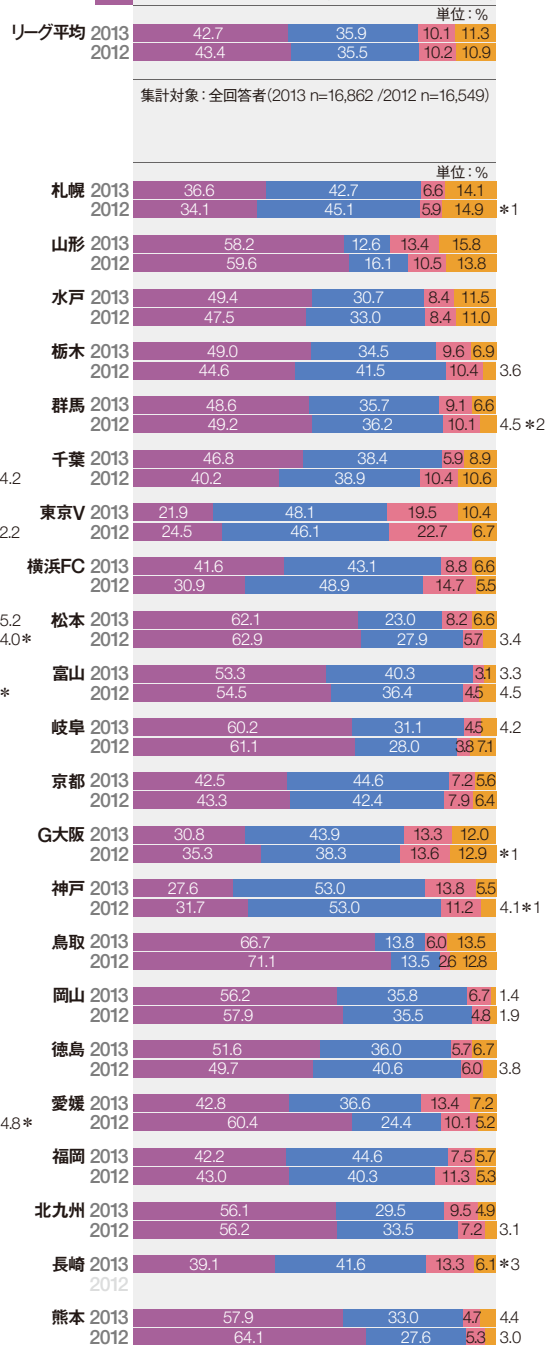


### 48 J1アクセス時間分布(2012/2013比較)



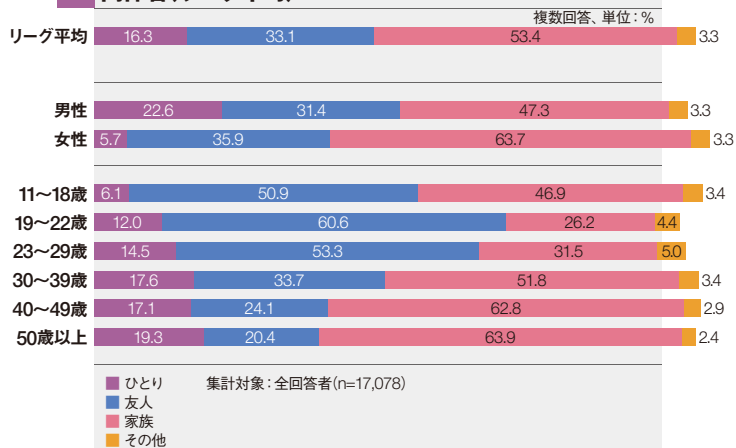
■ 30分以内 集計対象: ホームクラブ応援者  
 ■ 31~60分 (2013 n=6,827 / 2012 n=6,554)  
 ■ 61~90分 \* 湘南、甲府、大分は2012シーズン、  
 ■ 91分以上 J2に所属

### 49 J2アクセス時間分布(2012/2013比較)



■ 30分以内 集計対象: ホームクラブ応援者  
 ■ 31~60分 (2013 n=7,933 / 2012 n=7,915)  
 ■ 61~90分 \*1 札幌、G大阪、神戸は2012シーズン、J1に所属  
 ■ 91分以上 \*2 呼称変更に伴い表記を群馬に統一  
 \*3 長崎は2013シーズンよりJリーグに加入

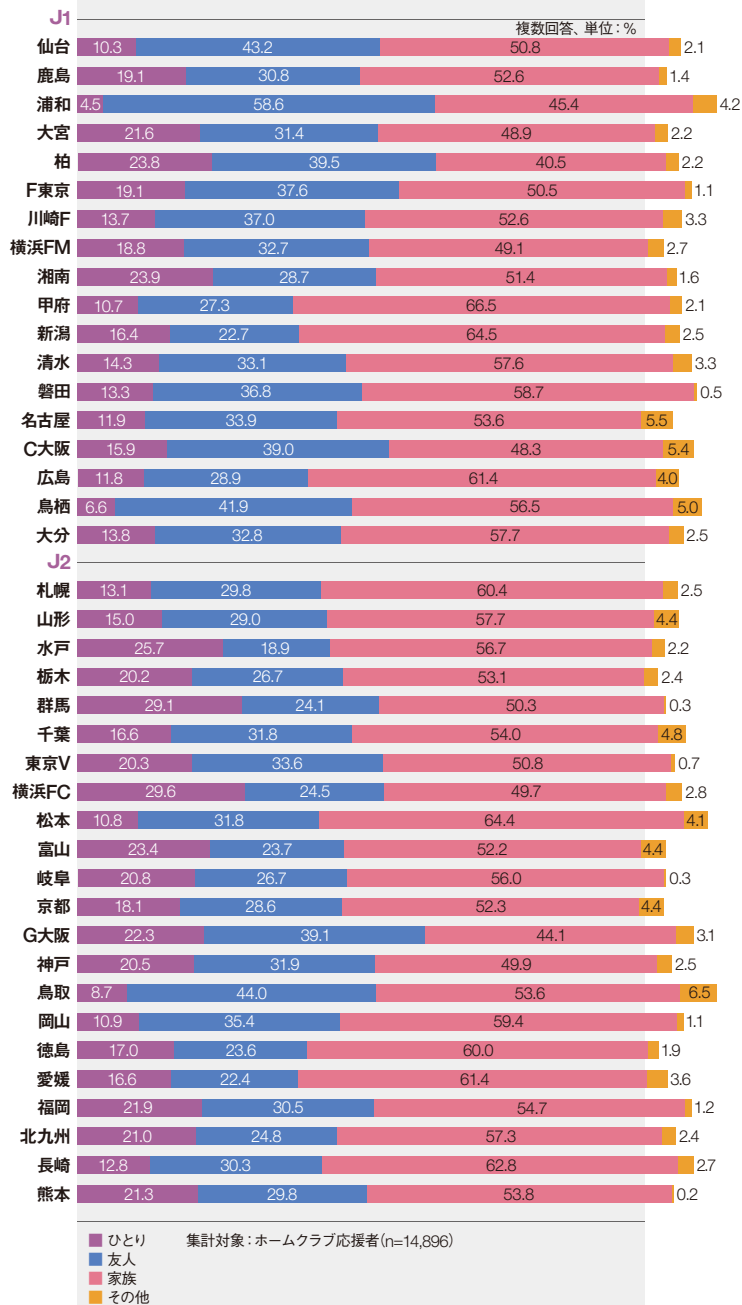
## 50 同伴者(リーグ平均)



### 53.4%が「家族」とスタジアムに。

◀◀「家族」とスタジアムに来た人が53.4%で最も多く、次いで「友人」とが33.1%だった。「ひとり」で観戦する割合は、2012シーズンと変わらず全体の16.3%。男性に「ひとり」の割合が高い傾向が(男性:22.6%、女性:5.7%)、女性に「家族」と観戦する割合が高い傾向がみられた(男性:47.3%、女性:63.7%)。また、40代以上で「家族」と観戦する割合が高く、20代以下では「友人」と観戦する割合が高かった。これらの傾向も2012シーズンと変わらない。

## 51 同伴者(クラブ別)



「ひとり」観戦が多かったのは横浜FC、「友人」と観戦は浦和、「家族」と観戦は甲府。

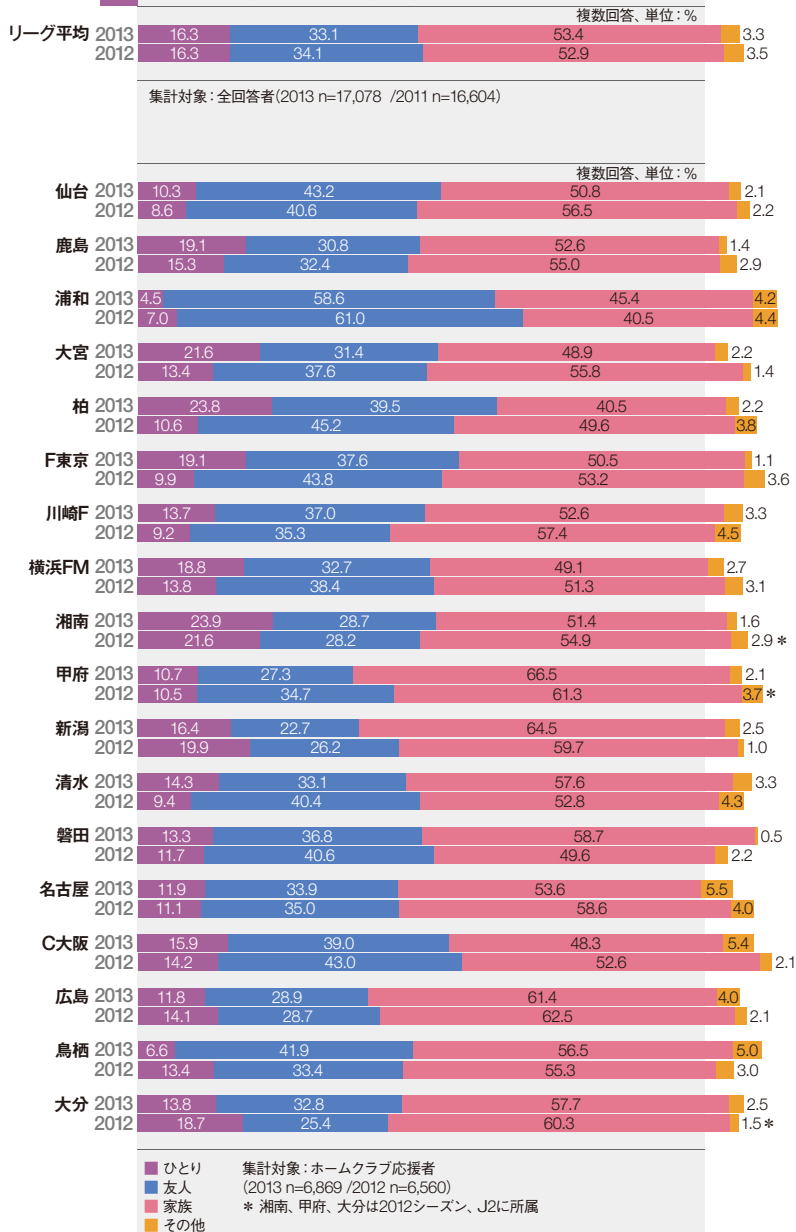
▶▶ 横浜FC (29.6%)、群馬 (29.1%)、水戸 (25.7%) が「ひとり」で観戦する割合が高く、甲府 (66.5%)、新潟 (64.5%)、松本 (64.4%)、長崎 (62.8%) で「家族」と観戦する割合が高かった。また、浦和 (58.6%) で「友人」と観戦する割合が高い傾向があらわれた。この結果を2012シーズンと比べても、大きな変化はみられない。

52 同業者クラブ別プロット

集計対象：ホームクラブ応援者(n=14,896)



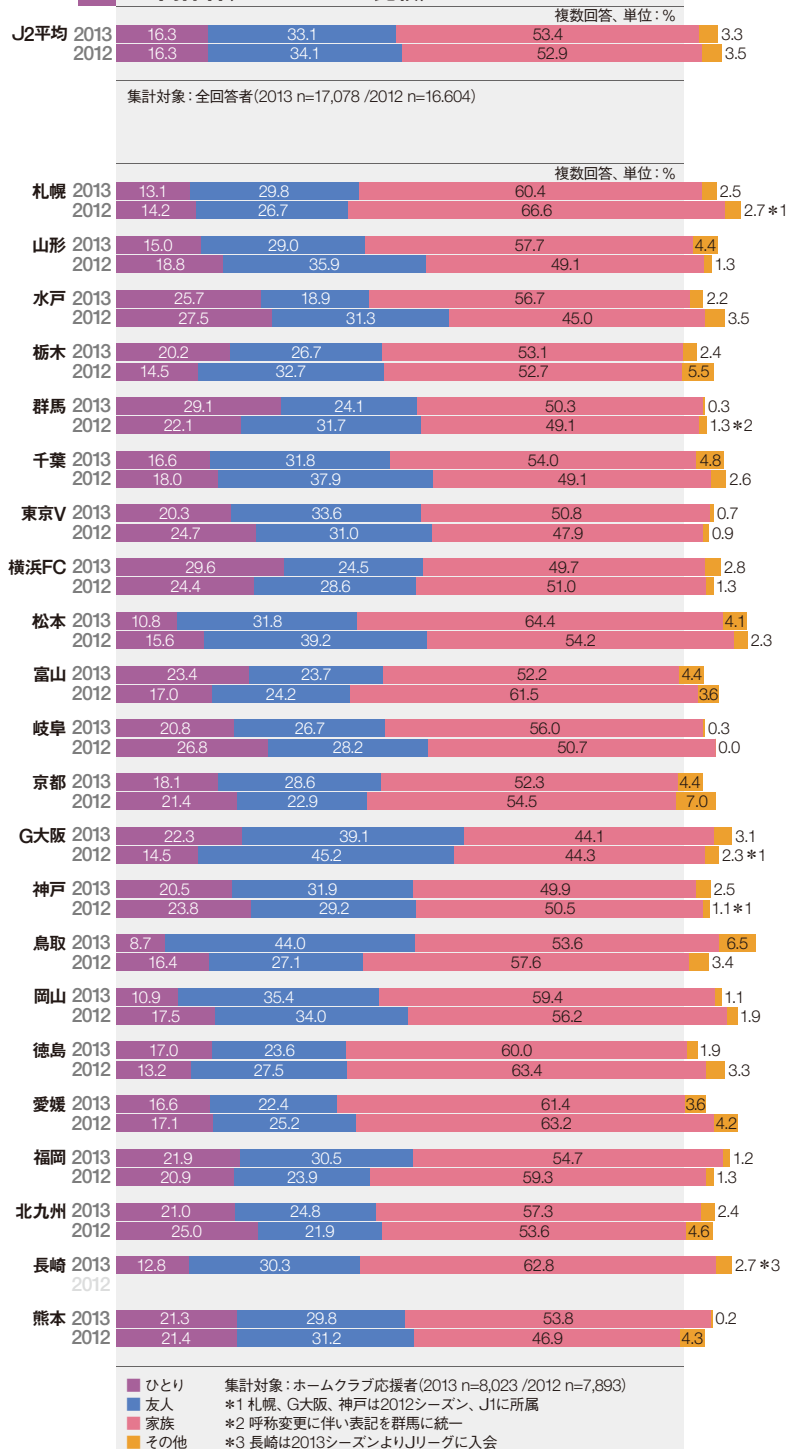
### 53 J1同伴者(2012/2013比較)



「ひとり」観戦が最も増えたのは柏、「友人」と観戦は鳥栖、「家族」と観戦は磐田。

▶▶「ひとり」で観戦する来場者が最も増えたのが柏(+13.2%)、「友人」と観戦する割合が最も増えたのは鳥栖(+8.5%)、「家族」の割合を伸ばしたのが磐田(+9.1%)、「その他」はC大阪(+3.3%)だった。

## 54 J2同伴者(2012/2013比較)

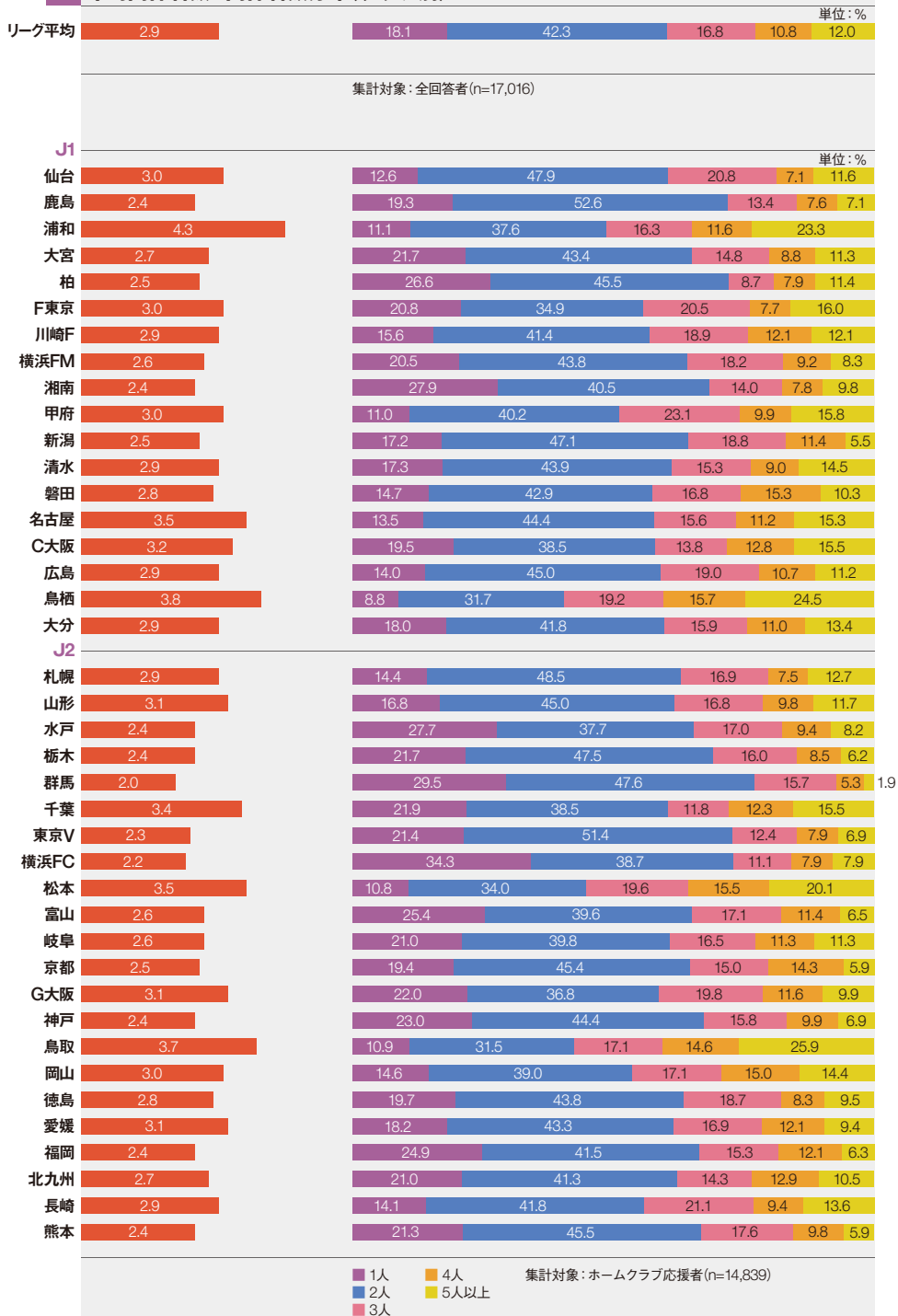


**「ひとり」観戦が最も増えたのはG大阪、「友人」と観戦は鳥取、「家族」と観戦は水戸。**

◀◀「ひとり」で観戦する来場者が最も増えたのがG大阪(+7.8%)、「友人」と観戦する割合が最も増えたのは鳥取(+16.9%)、「家族」の割合を伸ばしたのが水戸(+11.7%)、「その他」は山形、鳥取(+3.1%)だった。



## 55 平均同伴者数・同伴者数分布(クラブ別)

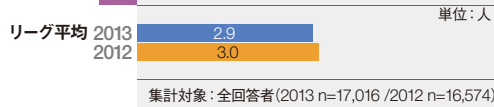


### 鳥取、鳥栖、浦和は「5人以上」で観戦する人が多い。

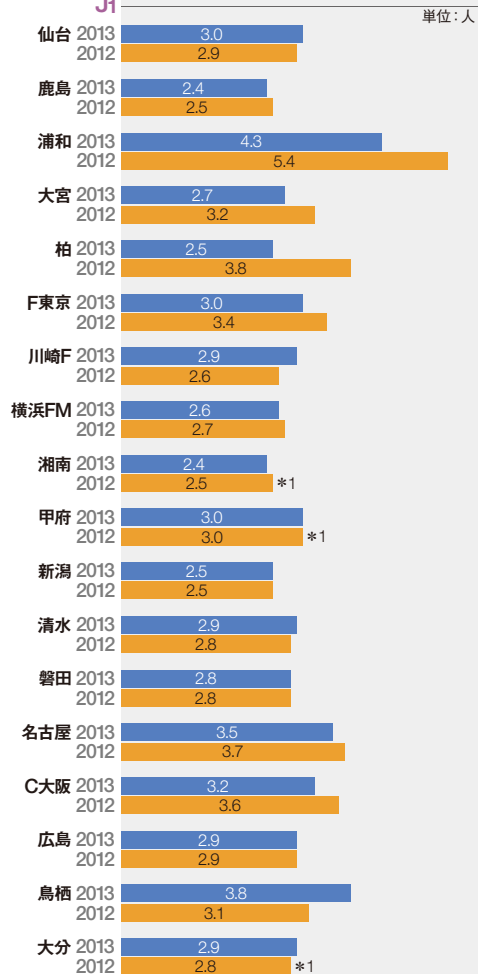
▶▶リーグ平均の同伴者数は2.9人。2人で観戦する人(42.3%)が最も多い。浦和は同伴者平均が4.3人と最も多かったが、2012シーズンより1.1人減少した。鳥取(25.9%)、鳥栖(24.5%)、浦和(23.3%)は5人以上で観戦した割合が特に高かった。一方、群馬(2.0人)、横浜FC(2.2人)は平均同伴者数が少ない傾向がみられた。

2012シーズンと比べてみると、鳥取(+1.1人)の平均同伴者数が増加し、柏、岐阜(-1.3人)、浦和(-1.1人)で減少した。(平均同伴者数の2012/2013比較はP58参照)

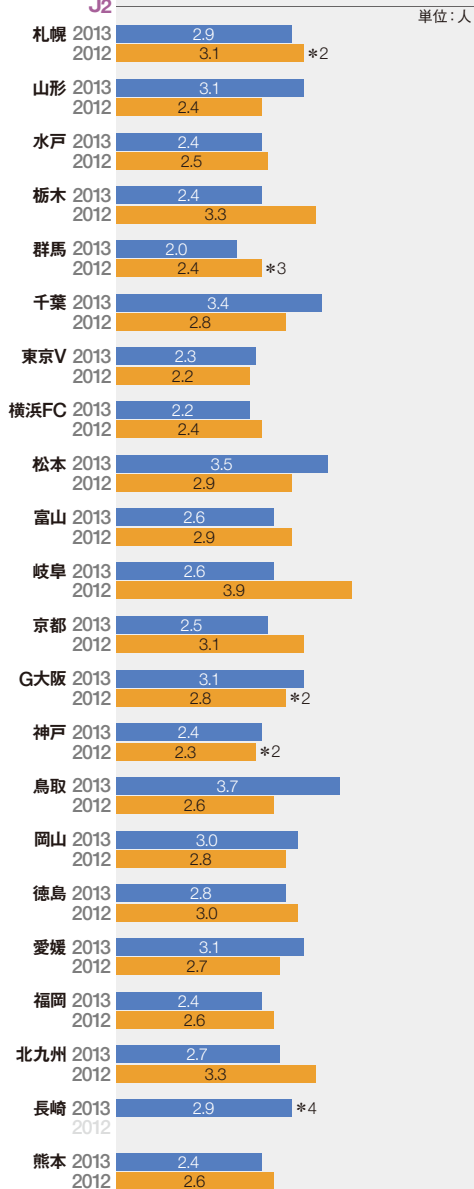
## 56 平均同伴者数(2012/2013比較)



### J1

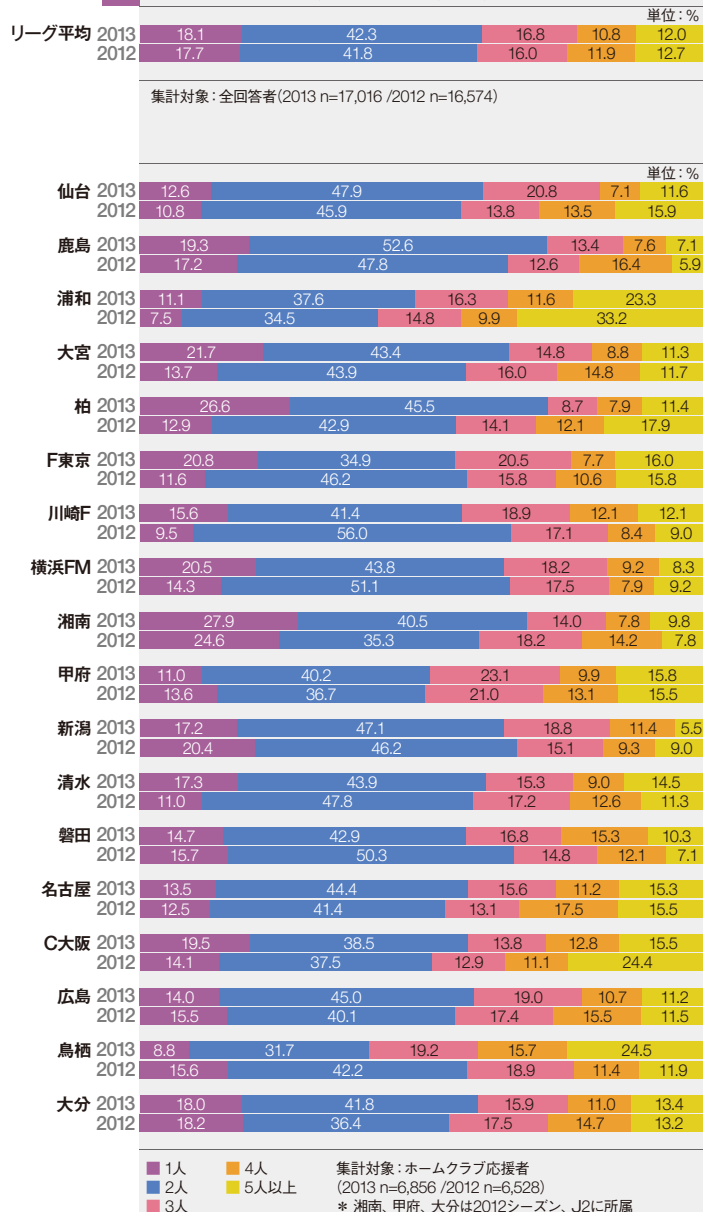


### J2



集計対象:ホームクラブ応援者  
(2013 n=14,839 /2012 n=14,439)  
\*1 湘南、甲府、大分は2012シーズン、J2に所属  
\*2 札幌、G大阪、神戸は2012シーズン、J1に所属  
\*3 呼称変更に伴い表記を群馬に統一  
\*4 長崎は2013シーズンよりJリーグに入会

## 57 J1同伴者数分布(2012/2013比較)



## 58 J2 동반者数分布(2012/2013比較)

単位:%

リーグ平均	2013	2012
1人	18.1	17.7
2人	42.3	41.8
3人	16.8	16.0
4人	10.8	11.9
5人以上	12.0	12.7

集計対象: 全回答者(2013 n=17,016 /2012 n=16,574)

単位:%

札幌	2013	14.4	48.5	16.9	7.5	12.7
	2012	14.0	40.4	18.1	11.6	15.9
山形	2013	16.8	45.0	16.8	9.8	11.7
	2012	21.3	47.9	17.7	6.2	6.9
水戸	2013	27.7	37.7	17.0	9.4	8.2
	2012	31.5	35.8	13.6	9.5	9.5
栃木	2013	21.7	47.5	16.0	8.5	6.2
	2012	14.6	43.2	19.0	10.4	12.8
群馬	2013	29.5	47.6	15.7	5.3	1.9
	2012	22.1	47.3	15.2	6.9	8.5
千葉	2013	21.9	38.5	11.8	12.3	15.5
	2012	19.1	46.0	15.1	8.1	11.7
東京V	2013	21.4	51.4	12.4	7.9	6.9
	2012	24.9	52.1	12.3	5.4	5.4
横浜FC	2013	34.3	38.7	11.1	7.9	7.9
	2012	27.6	41.9	12.0	12.3	6.2
松本	2013	10.8	34.0	19.6	15.5	20.1
	2012	17.0	36.6	19.0	13.5	13.8
富山	2013	25.4	39.6	17.1	11.4	6.5
	2012	17.1	39.5	15.7	16.0	11.7
岐阜	2013	21.0	39.8	16.5	11.3	11.3
	2012	28.8	26.9	13.7	15.1	15.6
京都	2013	19.4	45.4	15.0	14.3	5.9
	2012	24.8	37.6	16.0	9.8	11.8
G大阪	2013	22.0	36.8	19.8	11.6	9.9
	2012	16.6	51.1	13.5	8.3	10.5
神戸	2013	23.0	44.4	15.8	9.9	6.9
	2012	23.7	44.1	17.6	9.1	5.5
鳥取	2013	10.9	31.5	17.1	14.6	25.9
	2012	20.3	38.0	21.1	11.7	9.0
岡山	2013	14.6	39.0	17.1	15.0	14.4
	2012	18.9	36.0	18.6	13.6	12.9
徳島	2013	19.7	43.8	18.7	8.3	9.5
	2012	14.9	39.1	16.9	18.2	10.8
愛媛	2013	18.2	43.3	16.9	12.1	9.4
	2012	19.0	36.8	19.7	14.5	10.0
福岡	2013	24.9	41.5	15.3	12.1	6.3
	2012	22.2	36.4	17.9	13.9	9.6
北九州	2013	21.0	41.3	14.3	12.9	10.5
	2012	26.3	33.5	13.3	10.8	16.1
長崎	2013	14.1	41.8	21.1	9.4	13.6
	2012					
熊本	2013	21.3	45.5	17.6	9.8	5.9
	2012	24.2	42.1	14.4	8.3	11.1



集計対象: ホームクラブ応援者  
(2013 n=7,983 /2012 n=7,919)  
\*1 札幌、G大阪、神戸は2012シーズン、J1に所属  
\*2 呼称変更に伴い表記を群馬に統一  
\*3 長崎は2013シーズンよりJリーグに入会



## クラブHPが 主な情報ソースである ことに変化なし。

▶▶ Jリーグ情報の入手経路は、クラブの公式ホームページ(65.4%)が主たるもので、テレビ(50.8%)、新聞(一般紙)(40.9%)がそれに続くという、これまで同様の傾向となった。また、2012シーズンと比較するとtwitterやfacebookといったSNSからの情報入手が増加している。

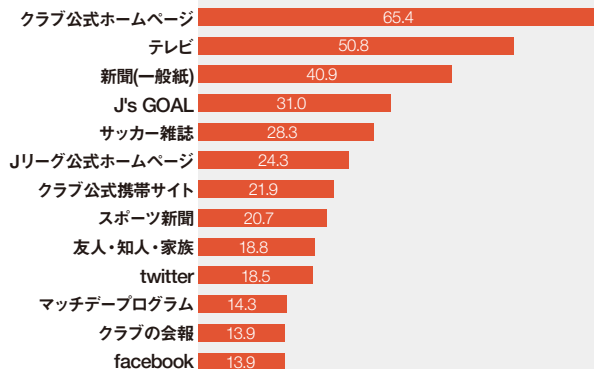
## 東京V、湘南、 F東京、川崎Fで SNSの活用が広がる。

▶▶ 40クラブ中、39クラブで「公式ホームページ」がトップメディアとなっていた。2013シーズンも、新潟のみ「新聞(一般紙)」が最も重要なメディアとなっていた。磐田(66.0%)、新潟(64.5%)、熊本(62.7%)、広島(61.5%)、仙台(60.4%)では、テレビを情報入手経路とする割合が高かった。また、東京V(39.3%)、湘南(31.7%)、F東京(31.2%)、川崎F(27.7%)では、ソーシャルメディア(twitter)が上位5位にランクインした。(P62参照)

## 59 情報入手経路

情報入手経路(リーグ平均)

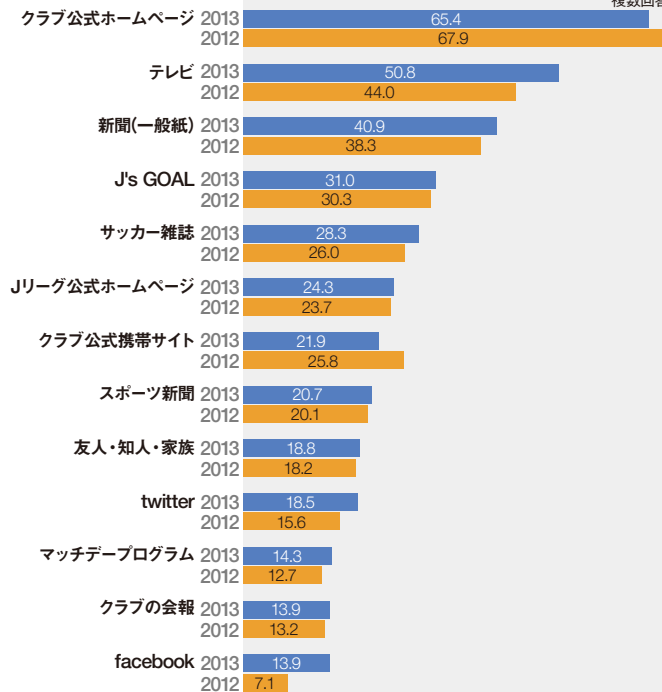
複数回答、単位：%



集計対象：全回答者(n=17,161)

情報入手経路(2012/2013比較)

複数回答、単位：%



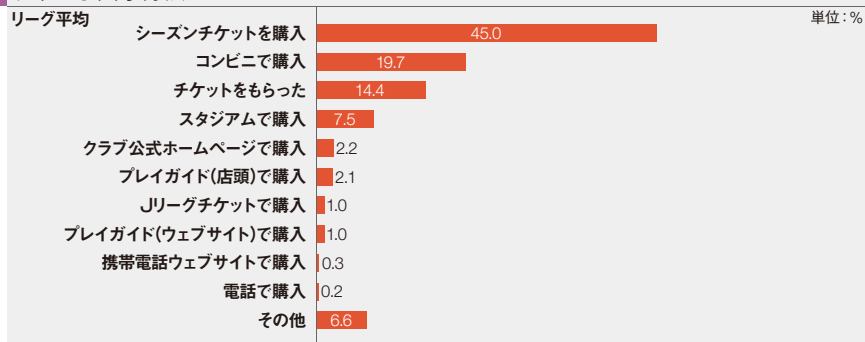
集計対象：全回答者(2013 n=17,161 / 2012 n=16,604)

複数回答、単位：%

J1	仙台	鹿島	浦和	大宮	柏	F東京
1	クラブ公式ホームページ 66.4	クラブ公式ホームページ 72.7	クラブ公式ホームページ 78.5	クラブ公式ホームページ 80.5	クラブ公式ホームページ 78.0	クラブ公式ホームページ 80.7
2	テレビ 60.4	テレビ 52.2	テレビ 54.1	テレビ 54.5	J's GOAL 46.9	テレビ 48.9
3	新聞(一般紙) 53.8	サッカー雑誌 38.6	サッカー雑誌 33.8	サッカー雑誌 43.1	テレビ 45.6	サッカー雑誌 36.5
4	J's GOAL 36.0	クラブの会報 36.5	マッチデープログラム 33.6	新聞(一般紙) 35.8	サッカー雑誌 37.0	J's GOAL 36.0
5	サッカー雑誌 31.2	新聞(一般紙) 32.7	J's GOAL 32.6	J's GOAL 33.3	スポーツ新聞 34.6	twitter 31.2
	川崎F	横浜FM	湘南	甲府	新潟	清水
1	クラブ公式ホームページ 69.0	クラブ公式ホームページ 77.9	クラブ公式ホームページ 76.4	クラブ公式ホームページ 61.2	新聞(一般紙) 74.1	クラブ公式ホームページ 68.6
2	テレビ 58.6	テレビ 52.4	J's GOAL 39.9	テレビ 58.2	テレビ 64.5	テレビ 57.1
3	新聞(一般紙) 34.2	新聞(一般紙) 33.2	テレビ 39.7	新聞(一般紙) 56.6	クラブ公式ホームページ 63.4	新聞(一般紙) 39.4
4	twitter 27.7	サッカー雑誌 32.4	新聞(一般紙) 32.4	J's GOAL 37.2	J's GOAL 36.4	スポーツ新聞 28.7
5	サッカー雑誌 26.6	Jリーグ公式ホームページ 30.9	twitter 31.7	サッカー雑誌 33.2	クラブ公式携帯サイト 31.1	クラブの会報 28.2
	磐田	名古屋	C大阪	広島	鳥栖	大分
1	クラブ公式ホームページ 71.2	クラブ公式ホームページ 68.0	クラブ公式ホームページ 74.5	クラブ公式ホームページ 62.4	クラブ公式ホームページ 59.7	クラブ公式ホームページ 68.2
2	テレビ 66.0	テレビ 46.0	テレビ 54.5	テレビ 61.5	テレビ 53.1	テレビ 52.7
3	新聞(一般紙) 46.8	新聞(一般紙) 38.0	サッカー雑誌 43.3	新聞(一般紙) 53.5	新聞(一般紙) 48.0	新聞(一般紙) 52.1
4	サッカー雑誌 35.6	スポーツ新聞 30.0	クラブ公式携帯サイト 34.3	サッカー雑誌 34.5	友人・知人・家族 24.7	J's GOAL 33.6
5	クラブの会報 24.9	クラブの会報 24.6	新聞(一般紙) 31.6	J's GOAL 24.6	サッカー雑誌 23.3	Jリーグ公式ホームページ 25.5
J2	札幌	山形	水戸	栃木	群馬	千葉
1	クラブ公式ホームページ 69.7	クラブ公式ホームページ 65.8	クラブ公式ホームページ 65.4	クラブ公式ホームページ 69.1	クラブ公式ホームページ 70.1	クラブ公式ホームページ 77.6
2	新聞(一般紙) 61.4	新聞(一般紙) 58.4	テレビ 49.5	テレビ 54.2	J's GOAL 47.4	テレビ 44.5
3	テレビ 52.1	テレビ 53.8	新聞(一般紙) 35.8	新聞(一般紙) 44.3	新聞(一般紙) 43.6	J's GOAL 42.4
4	スポーツ新聞 36.4	J's GOAL 32.6	J's GOAL 33.3	J's GOAL 31.6	テレビ 42.1	クラブ公式携帯サイト 32.4
5	J's GOAL 32.2	サッカー雑誌 27.2	サッカー雑誌 27.8	Jリーグ公式ホームページ 26.6	サッカー雑誌 27.4	Jリーグ公式ホームページ 29.2
	東京V	横浜FC	松本	富山	岐阜	京都
1	クラブ公式ホームページ 79.2	クラブ公式ホームページ 84.1	クラブ公式ホームページ 74.8	クラブ公式ホームページ 64.2	クラブ公式ホームページ 65.6	クラブ公式ホームページ 68.7
2	J's GOAL 44.6	J's GOAL 57.2	新聞(一般紙) 47.8	新聞(一般紙) 56.0	新聞(一般紙) 41.2	テレビ 44.8
3	twitter 39.3	テレビ 43.4	テレビ 41.7	テレビ 38.4	テレビ 34.4	新聞(一般紙) 41.3
4	テレビ 38.6	サッカー雑誌 32.5	J's GOAL 38.2	J's GOAL 34.5	J's GOAL 30.8	クラブ公式携帯サイト 25.8
5	サッカー雑誌 32.6	Jリーグ公式ホームページ 28.1	Jリーグ公式ホームページ 29.0	Jリーグ公式ホームページ 24.0	Jリーグ公式ホームページ 28.6	J's GOAL 25.5
	G大阪	神戸	鳥取	岡山	徳島	愛媛
1	クラブ公式ホームページ 77.0	クラブ公式ホームページ 64.2	クラブ公式ホームページ 63.0	クラブ公式ホームページ 74.4	クラブ公式ホームページ 65.7	クラブ公式ホームページ 59.3
2	テレビ 55.9	テレビ 47.5	テレビ 47.8	新聞(一般紙) 50.9	新聞(一般紙) 52.3	テレビ 45.6
3	サッカー雑誌 46.0	新聞(一般紙) 42.9	新聞(一般紙) 40.1	テレビ 45.4	テレビ 39.2	新聞(一般紙) 43.6
4	新聞(一般紙) 31.0	サッカー雑誌 36.0	J's GOAL 30.1	J's GOAL 39.5	J's GOAL 35.4	J's GOAL 30.8
5	J's GOAL 31.0	クラブ公式携帯サイト 35.8	Jリーグ公式ホームページ 27.3	Jリーグ公式ホームページ 31.1	クラブの会報 24.6	クラブ公式携帯サイト 21.6
	福岡	北九州	長崎	熊本		
1	クラブ公式ホームページ 65.8	クラブ公式ホームページ 62.8	クラブ公式ホームページ 57.3	クラブ公式ホームページ 70.5		
2	テレビ 56.6	テレビ 43.9	テレビ 51.5	新聞(一般紙) 63.7		
3	J's GOAL 50.0	新聞(一般紙) 35.4	新聞(一般紙) 40.5	テレビ 62.7		
4	新聞(一般紙) 36.2	Jリーグ公式ホームページ 25.6	Jリーグ公式ホームページ 25.2	J's GOAL 36.6		
5	サッカー雑誌 34.0	J's GOAL 24.9	J's GOAL 23.3	クラブ公式携帯サイト 28.8		

上位5つのみ記載  
集計対象：ホームクラブ応援者(n=14,983)

## 61 チケット入手方法



集計対象：全回答者(n=16,657)

## シーズンチケット

## 購入が最多。

その割合が高いクラブは  
大分、大宮、浦和。

▶▶シーズンチケットを購入した人が最も多く(45.0%)、次いでコンビニで購入する人が多い(19.7%)傾向は2013シーズンも変わらなかった。シーズンチケット購入率の高いクラブは、大分(75.3%)、大宮(67.5%)、浦和(67.3%)である。コンビニ購入率をみると、鳥栖(37.8%)、仙台(34.1%)、柏(34.0%)、名古屋(33.0%)で多い。招待券利用の多いクラブは、北九州(37.0%)、岐阜(31.1%)、新潟(23.7%)。逆にあまり使われないクラブは、浦和(1.0%)、柏(2.2%)である。水戸(25.1%)、富山(21.8%)ではスタジアムで購入する人が多かった。

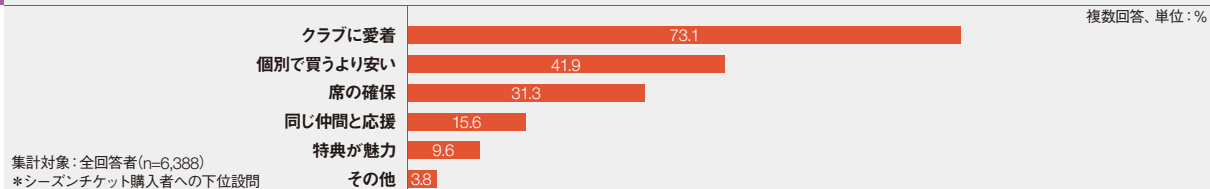
クラブ別

単位：%

クラブ別	シーズン チケットを 購入	コンビニで 購入	チケットを もらった	スタジアム で購入	クラブ公式 ホームページ で購入	プレイガイド (店頭)で 購入	Jリーグ チケット で購入	プレイガイド (ウェブサイト) で購入	携帯電話 ウェブサイト で購入	電話で 購入	その他
J1											
仙台	52.4	34.1	6.9	1.1	1.3	1.3	0.8	0.3	0.5	0.0	1.3
鹿島	46.0	16.2	12.3	6.0	8.5	2.7	1.4	2.2	0.8	0.0	3.8
浦和	67.3	16.1	1.0	7.3	3.8	1.3	1.3	0.3	0.5	0.0	1.3
大宮	67.5	7.4	10.9	0.0	7.7	0.8	1.6	0.3	0.5	0.0	3.3
柏	50.3	34.0	2.2	2.2	4.9	0.5	0.5	2.2	0.5	0.0	2.7
F東京	66.5	13.5	7.3	5.1	2.8	0.6	0.0	0.3	0.0	0.3	3.7
川崎F	50.7	14.9	19.8	0.9	0.9	0.3	1.1	0.3	0.3	0.0	10.9
横浜FM	47.0	19.0	11.7	4.5	4.8	4.5	2.1	1.2	0.3	0.3	4.5
湘南	52.3	25.8	7.8	3.2	0.9	6.0	0.7	0.5	0.0	0.0	2.8
甲府	64.2	16.1	10.1	3.7	0.8	0.6	0.3	1.1	0.0	0.0	3.1
新潟	57.9	11.9	23.7	0.9	0.9	0.5	0.2	0.2	0.0	0.2	3.5
清水	35.1	21.2	18.3	3.4	0.5	9.2	3.4	0.0	0.3	0.0	8.6
磐田	63.2	13.6	6.7	2.1	0.3	7.2	1.6	0.3	0.0	0.0	5.1
名古屋	31.3	33.0	8.6	2.6	8.0	1.7	1.7	3.4	0.3	1.1	8.0
C大阪	50.4	14.7	10.0	4.9	10.3	0.5	0.2	1.0	2.0	0.0	6.1
広島	41.7	24.6	12.2	4.4	1.4	3.7	1.6	1.4	0.0	0.5	8.4
鳥栖	33.4	37.8	6.9	5.8	5.2	2.6	2.0	2.6	0.0	0.0	3.7
大分	75.3	8.7	10.3	2.0	0.7	0.0	1.3	0.3	0.0	0.0	1.3
J2											
札幌	44.6	22.0	8.2	10.7	0.6	3.7	0.3	2.3	0.3	0.3	7.1
山形	44.1	29.1	6.4	8.7	1.7	2.0	0.0	0.6	0.6	0.6	6.4
水戸	26.1	15.6	16.9	25.1	1.3	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	12.4
栃木	40.8	20.9	17.0	11.3	0.3	2.4	0.3	0.5	0.0	0.0	6.5
群馬	53.1	18.6	9.7	12.3	1.6	2.5	0.9	0.0	0.0	0.0	1.3
千葉	66.3	7.3	10.9	9.2	0.8	0.8	0.3	0.3	0.3	0.0	3.8
東京V	53.5	18.9	9.1	10.8	0.0	0.3	1.0	0.7	0.0	0.3	5.4
横浜FC	66.8	9.6	5.1	9.3	2.9	0.3	0.3	0.0	0.0	0.3	5.4
松本	62.2	18.4	11.3	1.8	0.0	0.3	0.8	1.0	0.0	0.0	4.2
富山	44.1	7.2	17.3	21.8	0.5	2.4	0.8	0.3	0.0	0.0	5.6
岐阜	30.4	18.1	31.1	14.2	0.3	2.3	1.9	0.0	0.0	0.0	1.6
京都	39.0	18.3	13.8	14.8	0.8	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0	12.8
G大阪	54.9	19.5	7.0	0.7	6.7	0.5	0.7	1.9	0.0	0.0	8.0
神戸	46.2	13.3	19.4	2.8	0.0	1.0	1.3	1.0	0.0	0.0	15.1
鳥取	43.0	20.1	12.1	4.8	1.0	8.0	1.0	0.6	0.0	0.0	9.6
岡山	66.9	11.2	3.6	7.9	0.5	2.9	1.9	0.2	0.2	0.0	4.8
徳島	62.4	5.0	9.8	12.4	0.7	0.7	0.5	0.5	0.0	0.0	8.1
愛媛	38.1	11.7	19.1	11.0	0.3	5.0	1.7	0.3	0.3	0.0	12.4
福岡	51.8	21.4	10.6	8.4	1.7	0.5	0.0	0.5	0.2	0.0	4.9
北九州	32.2	8.1	37.0	11.0	1.8	0.0	1.1	0.7	0.4	0.0	7.7
長崎	42.3	27.9	8.7	8.1	0.6	1.5	1.8	0.9	0.0	0.9	7.2
熊本	56.8	14.6	14.4	4.9	0.7	2.0	1.0	0.2	0.2	0.0	5.1

集計対象：ホームクラブ応援者(n=14,596)

62 シーズンチケットの購入理由



複数回答、単位：％

	仙台	鹿島	浦和	大宮	柏	F東京
1 クラブに愛着	64.2	75.0	68.9	65.5	66.9	86.9
2 個別で買うより安い	48.0	56.9	30.1	51.5	45.9	35.2
3 席の確保	39.9	19.4	28.6	50.0	34.5	23.1
4 同じ仲間と応援	22.5	14.6	22.3	19.6	19.6	9.5
5 特典が魅力	6.4	6.9	6.3	14.4	6.1	7.5
6 その他	6.9	1.4	8.3	1.0	4.7	2.0

	川崎F	横浜FM	湘南	甲府	新潟	清水
1 クラブに愛着	67.6	75.7	86.0	81.5	69.5	65.7
2 個別で買うより安い	50.7	45.7	36.6	28.3	43.5	46.7
3 席の確保	33.8	32.9	28.0	25.5	22.0	21.9
4 特典が魅力	23.2	14.3	11.8	20.7	20.7	21.0
5 同じ仲間と応援	16.9	12.1	11.3	5.4	6.1	5.7
6 その他	4.2	5.7	2.7	2.2	3.3	1.0

	磐田	名古屋	C大阪	広島	鳥栖	大分
1 クラブに愛着	67.4	64.0	79.4	75.3	73.4	80.6
2 個別で買うより安い	46.2	59.3	59.3	43.1	42.6	33.3
3 席の確保	34.2	57.0	42.6	37.9	28.7	30.6
4 同じ仲間と応援	15.2	12.8	20.1	14.4	14.9	25.7
5 特典が魅力	13.0	12.8	6.9	13.2	10.6	6.3
6 その他	6.0	4.7	2.9	7.5	3.2	0.7

J2

	札幌	山形	水戸	栃木	群馬	千葉
1 クラブに愛着	82.6	68.6	80.6	70.1	74.3	70.3
2 個別で買うより安い	27.3	50.4	41.9	36.2	39.5	43.1
3 席の確保	22.0	19.0	16.1	25.2	15.8	36.2
4 同じ仲間と応援	13.6	9.1	12.9	6.3	15.1	18.1
5 特典が魅力	3.0	3.3	11.3	3.9	2.6	3.0
6 その他	5.3	1.7	6.5	2.4	3.9	6.0

	東京V	横浜FC	松本	富山	岐阜	京都
1 クラブに愛着	89.5	78.8	63.1	69.2	79.3	56.5
2 個別で買うより安い	34.7	56.5	49.3	47.4	35.9	46.8
3 席の確保	9.7	15.3	27.6	10.5	21.7	29.0
4 同じ仲間と応援	8.1	11.2	12.3	10.5	8.7	23.4
5 特典が魅力	4.0	5.9	9.9	9.0	5.4	12.9
6 その他	4.8	5.3	3.4	2.3	1.1	4.8

	G大阪	神戸	鳥取	岡山	徳島	愛媛
1 クラブに愛着	73.9	80.4	80.9	70.4	70.7	65.6
2 席の確保	47.3	51.4	33.0	41.3	39.4	47.3
3 個別で買うより安い	46.9	34.1	17.0	40.4	25.7	35.5
4 同じ仲間と応援	23.5	17.3	9.6	16.5	16.1	18.3
5 特典が魅力	19.5	16.2	8.5	11.7	10.4	14.0
6 その他	7.1	5.6	0.0	3.0	1.6	2.2

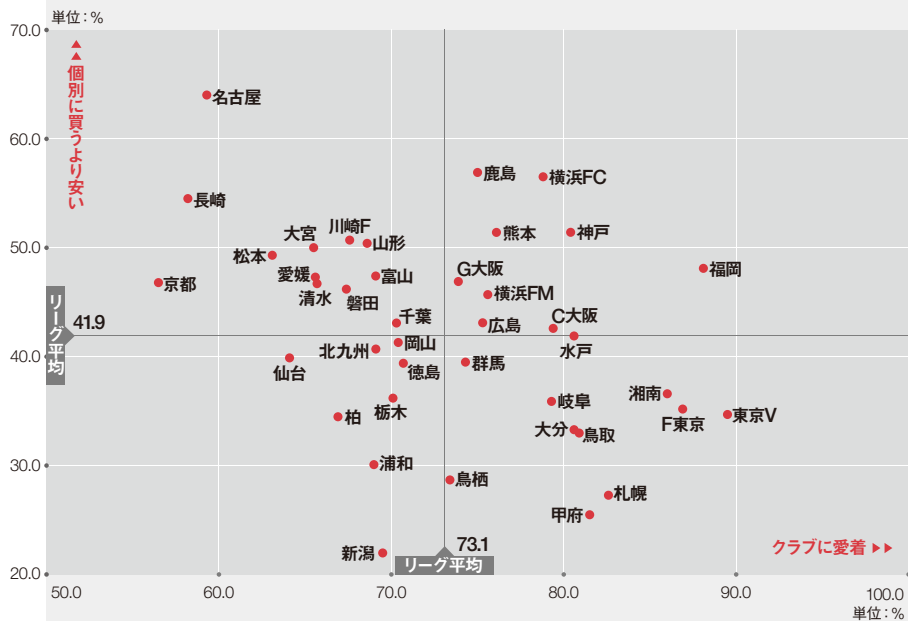
	福岡	北九州	長崎	熊本
1 クラブに愛着	88.1	69.1	58.2	76.1
2 個別で買うより安い	48.1	40.7	54.5	51.4
3 席の確保	23.8	38.3	31.8	17.0
4 同じ仲間と応援	19.5	19.8	6.4	11.0
5 特典が魅力	9.0	6.2	4.5	9.2
6 その他	2.4	1.2	3.6	1.4

集計対象：ホームクラブ応援者(n=6,388)  
\*シーズンチケット購入者への下位設問



### 63 シーズンチケット購入理由(クラブへの愛着×経済性)

集計対象：ホームクラブ応援者(n=6,315)

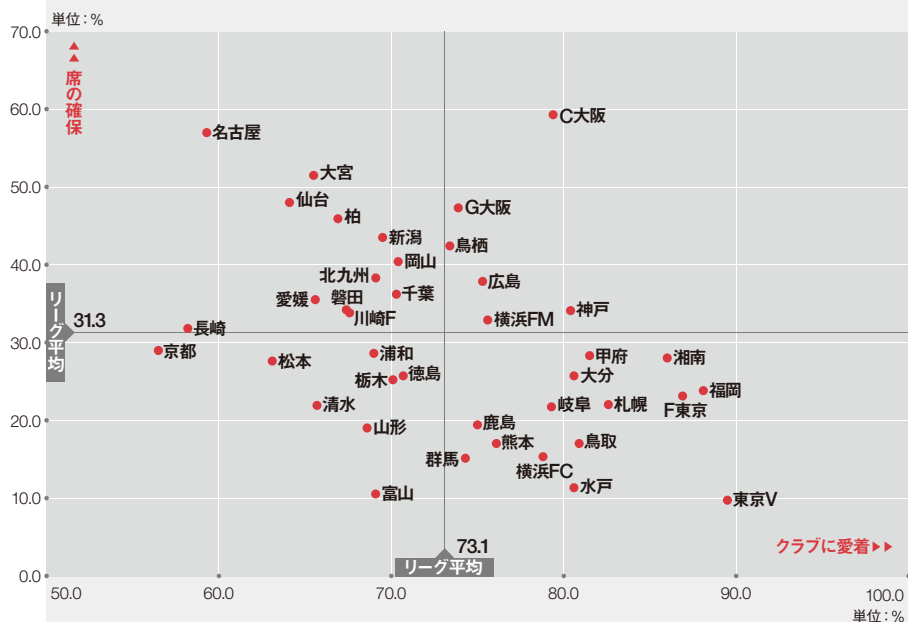


クラブへの愛着を  
購入理由に挙げる人が  
多いクラブは、  
東京V、福岡、F東京、湘南。

◀◀シーズンチケット購入の理由は、「クラブに愛着があるから」(73.1%)が主たるものであり、次いで「個別に買うより安いから」(41.9%)である。購入理由に「クラブに愛着があるから」を挙げる割合が高いクラブは、東京V(89.5%)、福岡(88.1%)、F東京(86.9%)、湘南(86.0%)である。

### 64 シーズンチケット購入理由(クラブへの愛着×席の確保)

集計対象：ホームクラブ応援者(n=6,315)



スタジアム観戦者調査2013調査票  
(リーグ共通項目抜粋)

## アンケート調査へのご協力をお願い

このアンケートは、今後のJリーグの試合およびクラブの運営を検討するための情報を収集することを目的に、本日、Jリーグをご観戦の皆様を対象にして実施しております。ご回答は匿名でいただき、すべて統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた皆様にご迷惑をおかけすることは絶対にございません。

以上の主旨をご理解いただき、率直なご回答とご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

(公社)日本プロサッカーリーグ

クラブ名○○○○○○○

以下に回答をご記入ください

1) 性別	1. 男性 2. 女性
2) 年齢	( )歳
3) お住まい	( )都・道・府・県 ( )市・郡・区・町・村
4) ご家族	1. 独身 2. 既婚 → お子さんは 1. いない 2. いる → ( )歳 ※一番下のお子さんの年齢をご記入ください
5) 昨年のスタジアム観戦回数 ※J1はリーグ戦/ナビスコカップ ※J2はリーグ戦のみ	① J1: リーグ戦 およそ( )試合 ナビスコカップ およそ( )試合 ② J2: リーグ戦 およそ( )試合
6) あなたはホームクラブのファンですか。もし、そうであれば、応援して何年目ですか	1. はい (応援して 年目) ※今シーズンから応援するようになった方は「1年目」として下さい 2. いいえ → A. アウェイクラブのファン B. その他のJクラブ( )のファン 3. 応援しているクラブは特になし
7) スタジアムまでの所要時間(片道)および交通手段	片道およそ( )分 利用した主な交通手段(ひとつだけ) 1. 公共交通機関 2. シャトルバス 3. 団体ツアーバス 4. 自転車・オートバイ 5. 車 6. 徒歩 7. その他(タクシー等)
8) 今日は合計何人で来ましたか	あなたご自身を含めて ( )人
9) あなたは今日、誰と観戦に来ましたか (いくつでも)	1. ひとり 2. 友人 3. 家族 4. その他( ) → 3. 家族を選んだ方でお子さんがご一緒の場合、一番下のお子さんの年齢:( )歳
10) 「Jリーグ」の情報は、主にどこから入手していますか(いくつでも)	1. 新聞(一般紙) 2. スポーツ新聞 3. テレビ 4. ラジオ 5. サッカー雑誌 6. 一般の雑誌 7. 友人・知人・家族 8. マッチデープログラム 9. Jリーグホケットスケジュール 10. ポスター 11. チラシ・パンフレット等の配布物 12. クラブの会報 13. 街頭ビジョン 14. その他 (具体的に: _____) 【ウェブサイト/スマートフォンサイト】 15. クラブ公式ホームページ 16. Jリーグ公式ホームページ 17. J's GOAL 18. Jリーグ公式アプリ 19. ファンブログ 20. その他 (サイト名: _____) 【携帯電話情報サイト】 21. モバイルJ's GOAL 22. クラブ公式携帯サイト 23. その他 (サイト名: _____) 【ソーシャルメディア】 ※以下は各クラブに対応しカスタマイズします。(FC東京を例にしました) 24. twitter ※該当する方は以下の<a~b>のうち1つに○印をつけてください → a. FC東京公式twitter (FC東京広報部 @fctokyo_express b. その他のtwitterアカウント 25. Facebook ※該当する方は以下の<a~b>のうち1つに○印をつけてください → a. FC東京公式Facebookファンページ(FC東京 / F.C.TOKYO) b. その他のFacebookファンページ 26. mixi ※該当する方は以下の<a~b>のうち1つに○印をつけてください → a. FC東京公式mixiページ(FC東京 / F.C.TOKYO) b. その他のmixiページ 27. 掲示板(BBS) 28. その他のソーシャルメディア(サイト名: _____)
11) 情報入手に使用しているモバイル端末(機器)はありますか	1. 携帯電話 2. スマートフォン(iphoneなど) 3. タブレット(ipadなど) 4. モバイルパソコン 5. その他(_____)

12) 本日も持ち前のチケットについて	① あなたはもてのチケットをどのように購入(入手)しましたか 1. シーズンチケットを購入した 2. ココにて購入した 3. クラブ公式ホームページで購入した 4. リーグチケットで購入した 5. プレイガイドウェブサイトで購入した 6. プレイガイド店頭で購入した 7. 携帯電話WEBサイトで購入した 8. 電話で購入した 9. チケットをもらった 10. スタジアムで購入した 11. その他(具体的に: _____) ② 上の①で「シーズンチケットを購入した」とお答えの方に シーズンチケット(シーズンパス、年間パスなど、クラブにより名称は異なります)を購入した理由はどのようなものでしたか?(いくつでも) 1. 席を確保しておきたいから 2. クラブに愛着があるから 3. いつも同じ仲間と応援したいから 4. 個別で買うよりまとめて購入したほうが安いから 5. 特典が魅力だから 6. その他( _____ )
13) IACL (AFCチャンピオンズリーグ)の情報をどこで入手しますか(いくつでも)	1. 新聞 2. テレビ 3. テレビ(有料放送) 4. サッカー専門誌 5. クラブ公式ホームページ 6. リーグ・JFA公式ホームページ 7. J's GOAL 8. AFC公式ホームページ 9. Facebook 10. twitter 11. その他( _____ )
14) リーグの試合のテレビ放送について	① テレビ観戦の頻度についてお答え下さい。 → 1. よく見る 2. 時々見る 3. 見ない ② 上の①で「よく見る」とお答えの方は、時々見る理由をお答え下さい リーグの試合をテレビ観戦する際に見るチャンネル(メディア)はどこですか 1. スカパー！(テレビサービス) 2. スカパー！(オンデマンド) 3. NHK(地方局を含む) 4. NHK-BS 5. TBS(BS-TBS含む) 6. その他民放局(局名: _____) 7. ケーブルテレビ 8. NODTV 9. その他( _____ ) ③ スカパー！で観戦されていない方に ・スカパー！をご契約されない理由はどのようなものでしょうか?(いくつでも) 1. アンテナ設置不可 2. 視聴料が高い 3. スタジアム観戦で満足 4. その他(理由: _____) ・パソコンやモバイル端末等でリーグ戦試合をLIVEで観られる「スカパー！オンデマンド」を知っていますか 1. 知っている 2. 知らない
15) よく見るサッカー(ニュース)番組(いくつでも)	1. リーグマッヂデーハイライト(スカパー!) 2. リーグタイム 3. スーパーサッカー 4. すぽると 5. やべっちFC 6. サッカーアース 7. FOOT×BRAIN 8. その他( _____ )
16) リーグスポンサー・パートナーの企業名を知っていますか	1. 知っている(企業名(主なもの): _____) 2. 知らない
17) 1ヶ月の自由観戦所得(おこづかい)	およびその円 ※差し支えなければ、あなたひとりがレジャー活動や趣味等に、1ヶ月間で自由に使える金額をご記入下さい。
18) リーグの試合をスタジアムで直接観戦するようになって、どのくらいたちまますか	1. 1992年以前 から(リーグ開幕前の日本サッカーリーグ時代から) 2. 1993～1995年頃 (1996年リーグ開幕とその後のシーズン(はいから)) 3. 1996～1998年頃 (アトランタオリンピックフランスワールドカップ頃) 4. 1999～2002年頃 (フランス大会以降～日韓ワールドカップ頃) 5. 2003～2006年頃 (日韓大会以降～ドイツワールドカップ頃) 6. 2007～2012年頃 (ドイツ大会以降～昨シーズンから) 7. 今シーズンから (2013年～)
19) サッカーをしたことがありますか	(部活動やクラブ・サークルなどで) 1. している 2. 過去にしていた 3. したことはない
20) フットサルをしたことがありますか	(部活動やクラブ・サークルなどで) 1. している 2. 過去にしていた 3. したことはない
21) 現在、「日本サッカー協会(JFA)」に登録をしていますか	1. 登録している → そのジャンル(いくつでも) A. サッカー B. フットサル C. 指導者 D. 審判員 2. 登録していない 3. わからない
22) リーグ観戦に周囲の人を誘いますか	1. よく誘う 2. 時々誘う 3. あまり誘わない 4. まったく誘わない
23) 周囲の人からリーグ観戦を誘われますか	1. よく誘われる 2. 時々誘われる 3. あまり誘われない 4. まったく誘われない
24) スタジアムで会う応援仲間	1. いない 2. いる → a. いつも会う b. よく会う c. たまに会う
25) ネット上で交流する応援仲間	1. いない 2. いる → a. いつも交流している b. よく交流している c. たまに交流している

## Jリーグ スタジアム観戦者調査2013 サマリーレポート

Q1. この試合を観戦された理由として、以下のものは、どの程度あてはまりますか。

※右のように、あてはまる番号を1つだけ選択してください

大いにあてはまる 5 4 3 2 1  
どちらでもない 5 4 3 2 1  
あてはめてはまらない

- ① 応援しているクラブの成績が良いから 5-----4-----3-----2-----1 ①  
② 友人や家族に誘われたから 5-----4-----3-----2-----1 ②  
③ 地元クラブだから 5-----4-----3-----2-----1 ③  
④ スケジュールの都合がよかつたから 5-----4-----3-----2-----1 ④  
⑤好きなクラブを応援したいから 5-----4-----3-----2-----1 ⑤  
⑥ サッカー観戦が好きだから 5-----4-----3-----2-----1 ⑥  
⑦好きな選手を応援したいから 5-----4-----3-----2-----1 ⑦  
⑧ 周囲で盛んに話題になっているから 5-----4-----3-----2-----1 ⑧  
⑨ チケットをもらったから 5-----4-----3-----2-----1 ⑨  
⑩ 今日の対戦相手との試合が魅力的だから 5-----4-----3-----2-----1 ⑩  
⑪ 応援しているクラブが地域に貢献しているから 5-----4-----3-----2-----1 ⑪  
⑫ レジャーとして楽しいから 5-----4-----3-----2-----1 ⑫  
⑬ スタジアムでのイベント・グルメ企画が楽しそうだから 5-----4-----3-----2-----1 ⑬

Q2. あなたは、以下の意見をどのように思いますか。

大いにあてはまる 5 4 3 2 1  
どちらでもない 5 4 3 2 1  
あてはめてはまらない

- ① サッカー選手は、社会の模範として重要な役割を果たしている 5-----4-----3-----2-----1 ①  
② Jリーグは、それぞれのホームタウンで重要な役割を果たしている 5-----4-----3-----2-----1 ②  
③ サッカーは、若い人たちの生活に、いい影響を与えることができる 5-----4-----3-----2-----1 ③  
④ (ホームクラブ名)は、ホームタウンで大きな貢献をしている 5-----4-----3-----2-----1 ④

Q3. あなたは、以下について、どの程度あてはまりますか。

大いにあてはまる 5 4 3 2 1  
どちらでもない 5 4 3 2 1  
あてはめてはまらない

- ① あなたは自分のことを真の(クラブ名)ファンだと思う 5-----4-----3-----2-----1 ①  
② もし(クラブ名)ファンを止めなければならないとしたら、あなたは喪失感を味わうだろう 5-----4-----3-----2-----1 ②  
③ (クラブ名)のファンであることは、あなたにとってとても重要である 5-----4-----3-----2-----1 ③

発行日 2013年12月26日  
 発行人 大東 和美  
 発行所 公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)  
 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス9階  
 TEL: 03-3830-2006(代表)  
 FAX: 03-3830-2007  
 http://www.j-league.or.jp  
 監修 公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)  
 青山 優香  
 筑波大学体育系准教授  
 仲澤 眞  
 協力 Jリーグ40クラブ  
 写真 Jリーグフォト株式会社  
 制作・編集 株式会社博報堂D Yメディアパートナーズ  
 株式会社博報堂D Yスポーツマーケティング  
 (編集協力: 有限会社高山広告編集所)

